資料3

令和６年度
鏡野町まちづくりに関する
町民アンケート調査報告書

令和７年３月

鏡野町

《目次》

第１章　調査方法 1

第２章　調査結果 2

１　あなたご自身のことについておたずねします。 2

２　まちづくりの評価と期待についておたずねします。 9

３　鏡野町での住みやすさについておたずねします。 13

４　高齢者や子育て、障害者（児）施策についておたずねします。 22

５　ICT（情報通信技術）分野についておたずねします。 29

６　コミュニティ活動、参画、協働についておたずねします。 35

７　地方創生の取組についておたずねします。 45

８　災害及び防災・災害対策についておたずねします。 79

９　町行政についておたずねします。 82

10　その他のご意見・ご提言 86

第１章　調査方法

１．調査の目的

鏡野町では、平成 28 年度から 10 年間の取組を進めてきた「鏡野町第２次総合計画」が令和７年度で計画期間を終了し、新たなまちづくりの指針となる「鏡野町第３次総合計画」を策定することになります。

つきましては、鏡野町が進むべき方向性について、町民のみなさまのお考えをお聞きし、計画の見直しに反映させていくため、アンケート調査を実施することとしました。

２．実施概要

〇調査対象者　：町内在住の 18 歳以上の方の中から無作為に抽出
〇対象数　　：町民 2,000 人
〇調査期間　　：令和７年１月９日～令和７年２月７日まで
〇調査方法　　：郵送による配布回収またはネット回答

３．回収結果

配布数	紙回収数	ネット回答数	合計回答数	回収率
2,000 件	513 件	160 件	673 件	33.7%

４．調査集計にあたっての留意事項

〇回答結果は小数点以下第２位を四捨五入しています。このため、単回答（複数の選択肢から１つだけを選ぶ形式）の場合、合計値が「100.0」にならない場合があります。

〇複数回答（２つ以上の回答を選ぶ形式）における割合の単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計すると「100.0」を超える場合があります。

〇本報告書における「ｎ」「ＳＡ」「ＭＡ」「ＦＡ」「数量」は、それぞれ
「ｎ」　　＝サンプル数のこと
「ＳＡ」　　＝単回答のこと（Single Answer の略）
「ＭＡ」　　＝複数回答のこと（Multiple Answer の略）
「ＦＡ」　　＝自由回答のこと（Free Answer の略）
「数量」　　＝数量回答のこと
を示します。

〇図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。

〇本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。

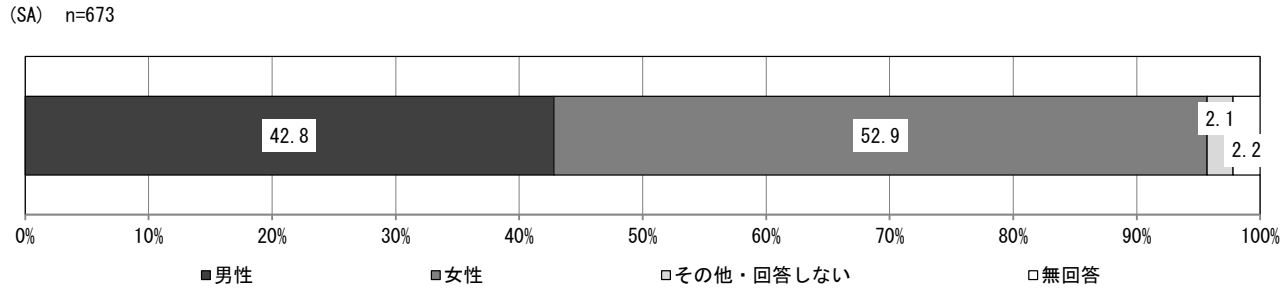
〇本報告書において 100%横棒グラフでの表示は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（3.0%未満）は数値の表示を省略しているものがあります。

第２章　調査結果

１　あなたご自身のことについておたずねします。

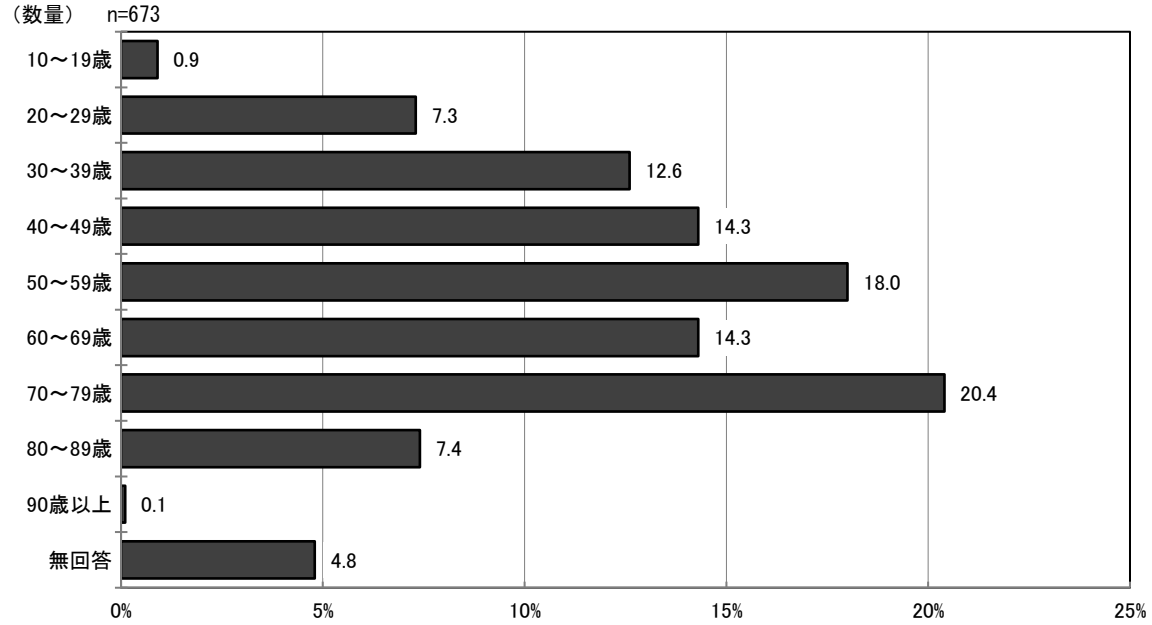
問１（１）　あなたご自身の「性別」について、お答えください。(SA)

「女性」が 52.9%、「男性」が 42.8%を占めています。



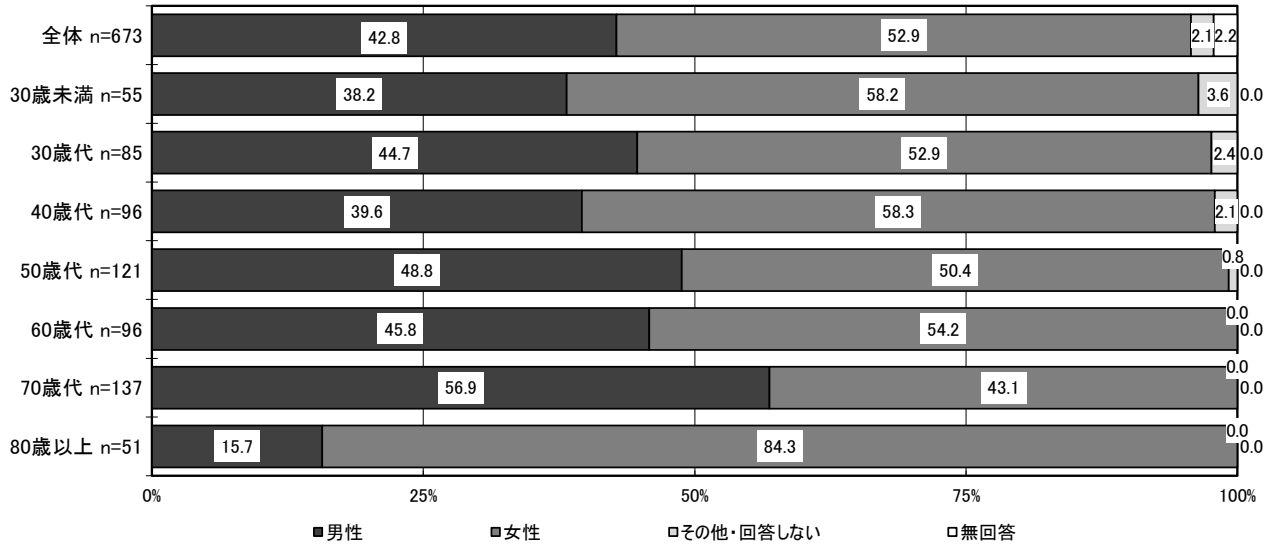
問１（２）　あなたご自身の「年齢」について、お答えください。2025 年１月１日現在で（何）歳ですか。（数量）

「70～79 歳」が 20.4%で最も高くなっています。次いで「50～59 歳」が 18.0%、「40～49 歳」が 14.3%で続いています。



【性別　×　年齢　クロス集計】

“80 歳以上”では、「女性」の割合が高くなっています。



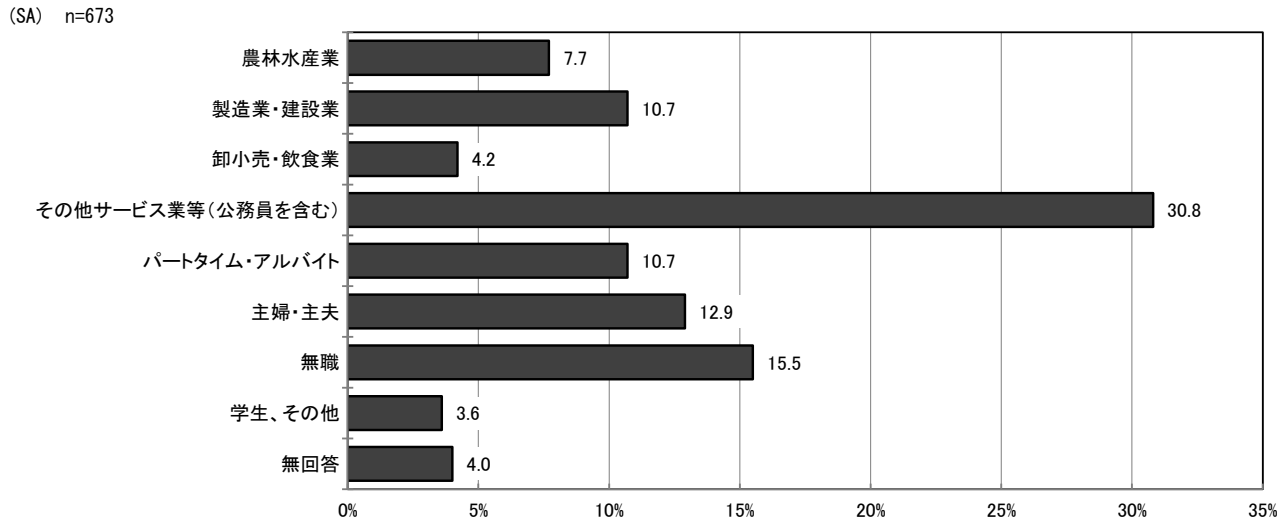
【年齢　×　エリア　クロス集計】

“上齋原”“富”では、「50～59 歳」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
10～19歳	0.9	0.7	－	2.7	2.4
20～29歳	7.3	7.4	10.7	8.1	－
30～39歳	12.6	14.6	－	2.7	12.2
40～49歳	14.3	14.8	10.7	18.9	9.8
50～59歳	18.0	18.3	14.3	24.3	22.0
60～69歳	14.3	14.9	14.3	13.5	14.6
70～79歳	20.4	20.7	28.6	21.6	22.0
80～89歳	7.4	7.0	17.9	5.4	12.2
90歳以上	0.1	－	－	－	2.4
無回答	4.8	1.7	3.6	2.7	2.4

問１（３）　あなたご自身の「職業」について、お答えください。(SA)

「その他サービス業等(公務員を含む)」が 30.8%で突出しています。「無職」が 15.5%、「主婦・主夫」が 12.9%で続いています。



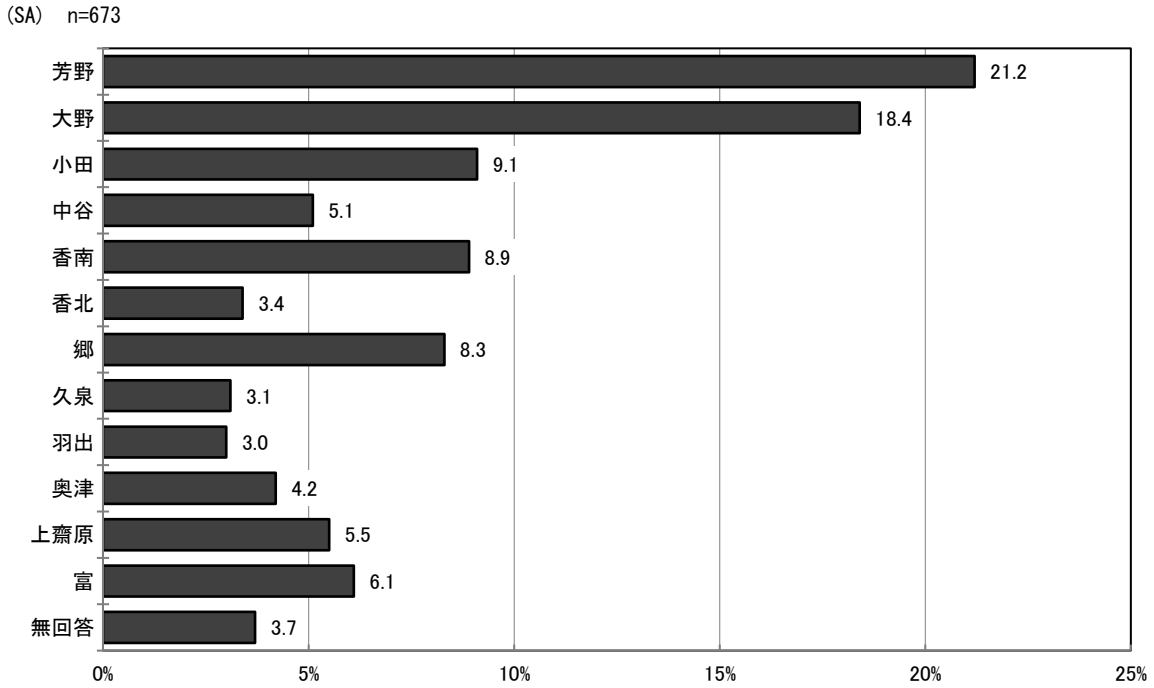
【職業　×　年齢　クロス集計】

“60 歳代”“70 歳代”で、農林水産業が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
農林水産業	7.7	1.8	1.2	2.1	5.8	11.5	19.7	5.9
製造業・建設業	10.7	10.9	22.4	18.8	12.4	5.2	5.8	－
卸小売・飲食業	4.2	9.1	4.7	6.3	8.3	－	1.5	－
その他サービス業等(公務員を含む)	30.8	34.5	44.7	45.8	52.1	28.1	6.6	3.9
パートタイム・アルバイト	10.7	9.1	14.1	14.6	13.2	14.6	7.3	2.0
主婦・主夫	12.9	5.5	10.6	4.2	1.7	21.9	22.6	29.4
無職	15.5	1.8	1.2	4.2	4.1	15.6	33.6	56.9
学生、その他	3.6	27.3	1.2	2.1	1.7	1.0	1.5	－
無回答	4.0	－	－	2.1	0.8	2.1	1.5	2.0

問１（４）　あなたご自身の「住んでいる地域」について、お答えください。(SA)

「芳野」が 21.2%で最も高くなっています。次いで「大野」が 18.4%、「小田」が 9.1%で続いています。



【地域　×　年齢　クロス集計】

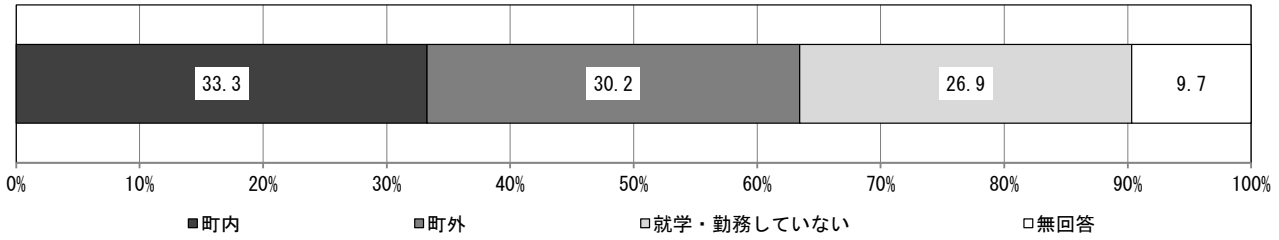
“80 歳以上”で、「郷」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
芳野	21.2	21.8	28.2	21.9	20.7	20.8	19.7	25.5
大野	18.4	20.0	27.1	19.8	15.7	24.0	15.3	7.8
小田	9.1	5.5	10.6	11.5	8.3	12.5	10.2	3.9
中谷	5.1	3.6	4.7	2.1	5.0	7.3	6.6	7.8
香南	8.9	5.5	8.2	10.4	12.4	6.3	11.7	5.9
香北	3.4	3.6	4.7	4.2	3.3	3.1	2.9	2.0
郷	8.3	10.9	5.9	7.3	11.6	4.2	8.8	15.7
久泉	3.1	7.3	2.4	2.1	2.5	1.0	3.6	2.0
羽出	3.0	1.8	1.2	4.2	2.5	5.2	2.9	3.9
奥津	4.2	5.5	－	3.1	3.3	4.2	5.8	9.8
上齋原	5.5	7.3	1.2	7.3	7.4	5.2	5.8	3.9
富	6.1	1.8	5.9	4.2	7.4	6.3	6.6	11.8
無回答	3.7	5.5	－	2.1	－	－	－	－

問１（５）　あなたご自身の「就学先・勤務先」について、お答えください。(SA)

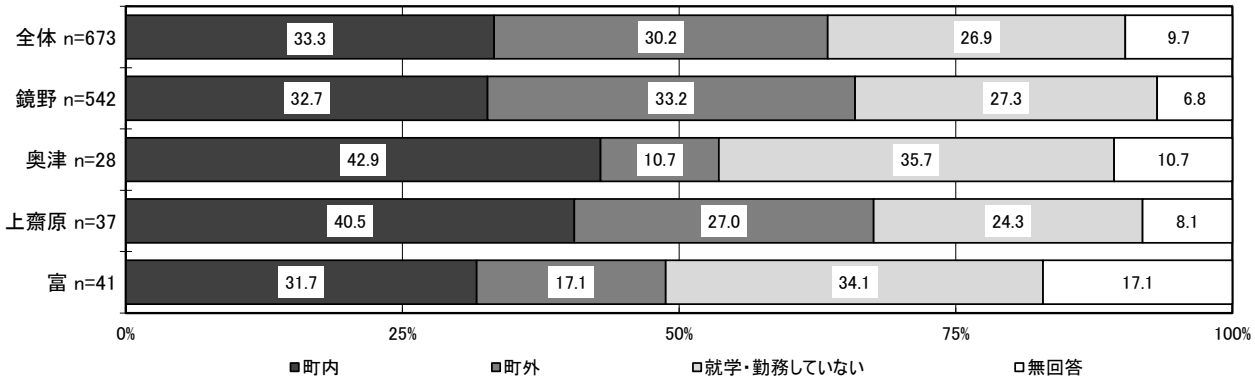
「町内」が 33.3%で最も高く、次いで「町外」が 30.2%となっています。

(SA)　n=673



【就学先・勤務先　×　エリア　クロス集計】

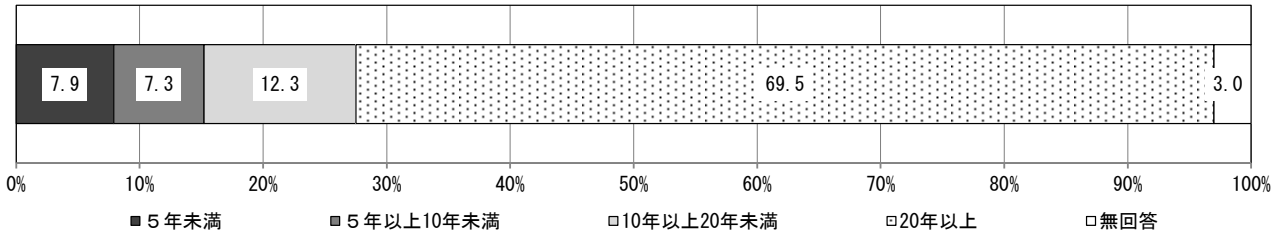
“鏡野”で、「町外」が比較的高くなっています。



問１（６）　あなたご自身の「鏡野町の在住期間」について、お答えください。(SA)

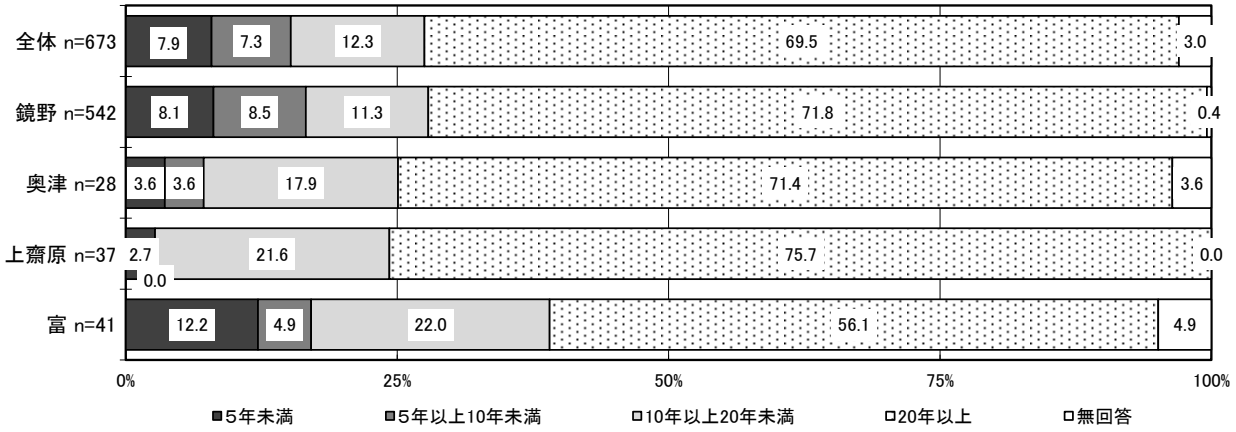
「20 年以上」が 69.5%を占めています。

(SA)　n=673



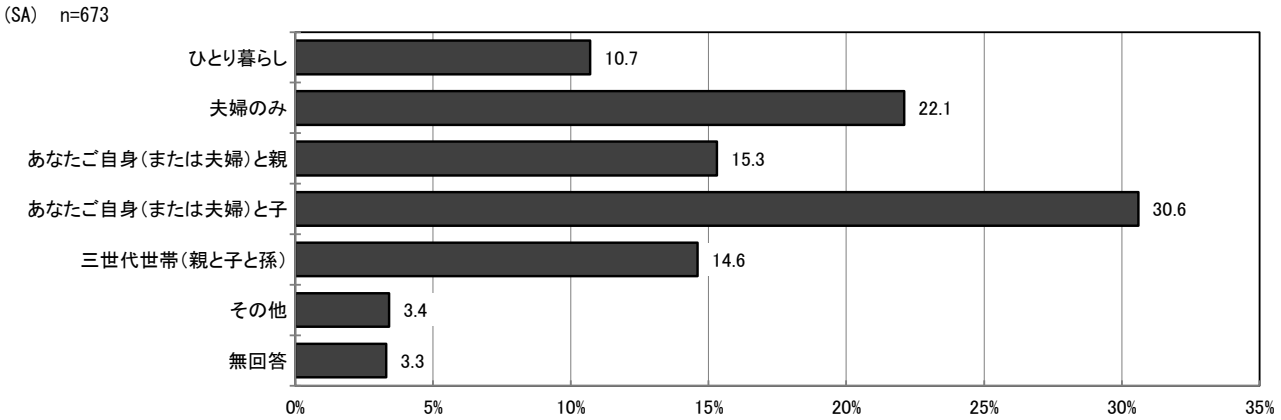
【在住期間　×　エリア　クロス集計】

“富”で、「5年未満」が比較的高くなっています。



問１（７）　あなたご自身の「家族構成」について、お答えください。(SA)

「あなたご自身(または夫婦)と子」が 30.6%で最も高くなっています。次いで「夫婦のみ」が 22.1%、「あなたご自身(または夫婦)と親」が 15.3%で続いています。



その他回答		
兄	四世代世帯	自身と祖父母
今は町外で一人暮らし	四世代世帯	親、自身夫婦、子
弟と二人	四世代世帯、祖母と親と子どもと孫	祖母、彼女
自身の夫婦と子と親	両親と兄弟	夫婦と子と親
施設入所中	姉弟で暮らしている	夫婦と弟
夫婦と子と孫		

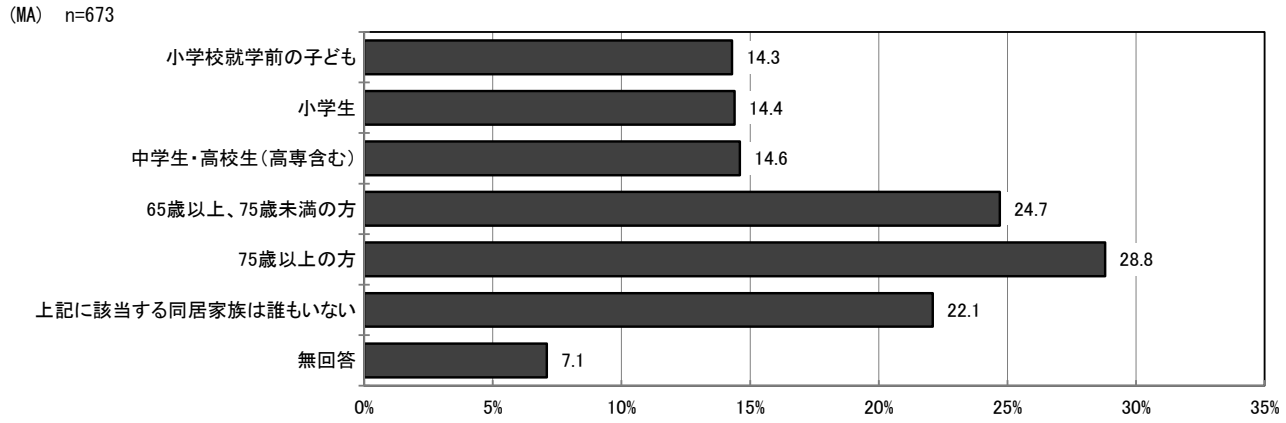
【家族構成　×　年齢　クロス集計】

“60 歳代以上”で、「夫婦のみ」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
ひとり暮らし	10.7	14.5	3.5	2.1	9.1	11.5	15.3	29.4
夫婦のみ	22.1	3.6	4.7	5.2	15.7	37.5	46.7	31.4
あなたご自身（または夫婦）と親	15.3	25.5	14.1	17.7	27.3	17.7	3.6	－
あなたご自身（または夫婦）と子	30.6	18.2	63.5	56.3	22.3	18.8	22.6	19.6
三世代世帯（親と子と孫）	14.6	23.6	11.8	14.6	19.8	11.5	8.8	17.6
その他	3.4	10.9	2.4	2.1	5.8	1.0	2.9	2.0
無回答	3.3	3.6	－	2.1	－	2.1	－	－

問２　あなたの同居家族についてお伺いします。次のような方はいますか。（MA）

「75 歳以上の方」が 28.8％で最も高くなっています。次いで「65 歳以上、75 歳未満の方」が 24.7％、「1～5に該当する同居家族は誰もいない」が 22.1％で続いています。



【同居家族　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「小学校就学前の子ども」が特に高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
小学校就学前の子ども	14.3	21.8	65.9	15.6	5.0	3.1	2.2	－
小学生	14.4	9.1	35.3	42.7	5.8	4.2	5.1	2.0
中学生・高校生（高専含む）	14.6	9.1	5.9	40.6	19.8	6.3	8.0	7.8
65歳以上、75歳未満の方	24.7	18.2	18.8	26.0	7.4	38.5	43.1	9.8
75歳以上の方	28.8	21.8	8.2	22.9	50.4	26.0	29.9	35.3
上記に該当する同居家族は誰もいない	22.1	32.7	14.1	8.3	24.8	32.3	23.4	33.3
無回答	7.1	3.6	－	－	4.1	6.3	5.8	21.6

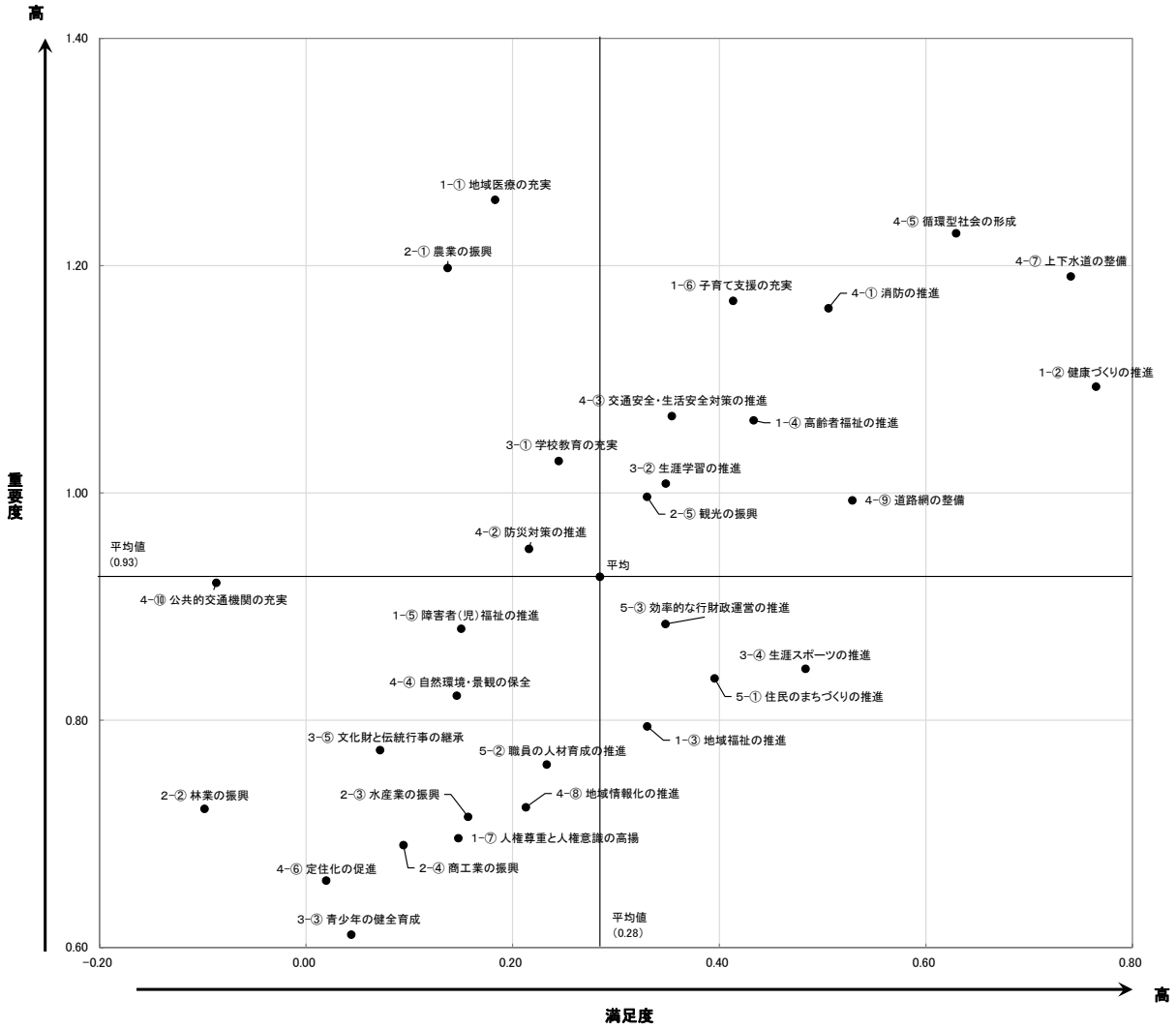
２　まちづくりの評価と期待についておたずねします。

問３　町で取り組んでいる施策についての、あなたの満足度と重要度を教えてください。
（各SA）

※ ポートフォリオ
重要度と満足度の算出方法は下記計算式を用いています。

$$満足度＝\frac{（満足）×2＋（どちらかといえば満足）×1＋（どちらともいえない）×0＋（どちらかといえば不満）×（－1）＋（不満）×（－2）}{（有効回収数）－（無回答）}$$

$$重要度＝\frac{（重要）×2＋（やや重要）×1＋（どちらともいえない）×0＋（あまり重要でない）×（－1）＋（重要でない）×（－2）}{（有効回収数）－（無回答）}$$



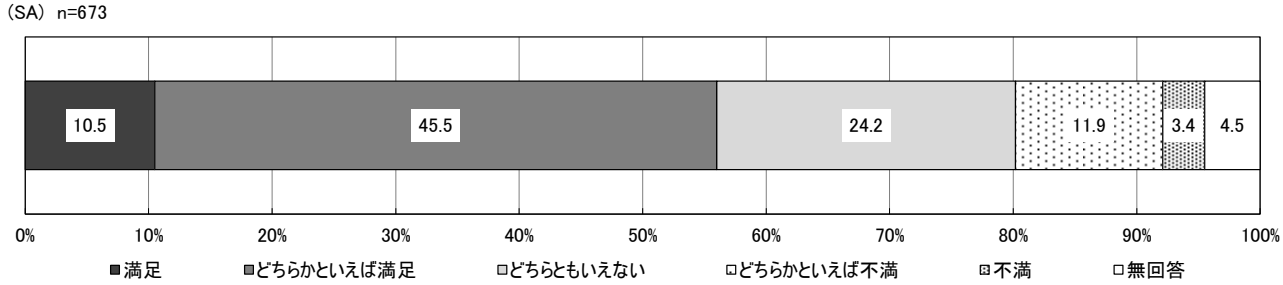
重点維持項目：満足度も重要度も高い項目→このまま維持を続けていきたい項目
現状維持項目：満足度が高いものの、重要度はあまり高くない項目→このまま維持を続けていきたい項目
重点改善項目：重要度が高いにも関わらず、満足度が低い項目→早急に対策を講じる必要がある項目
改善項目：満足度も重要度も高くない項目→優先度は低いものの、対策を講じる必要が出てくる項目

重点維持項目は、「1-① 地域医療の充実」「2-① 農業の振興」「3-① 学校教育の充実」「4-② 防災対策の推進」の4項目であり、優先的に取り組んでいくことが求められています。

重点改善項目	重点維持項目
1-① 地域医療の充実 2-① 農業の振興 3-① 学校教育の充実 4-② 防災対策の推進	1-② 健康づくりの推進 1-④ 高齢者福祉の推進 1-⑥ 子育て支援の充実 2-⑤ 観光の振興 3-② 生涯学習の推進 4-① 消防の推進 4-③ 交通安全・生活安全対策の推進 4-⑤ 循環型社会の形成 4-⑦ 上下水道の整備 4-⑨ 道路網の整備
改善項目	**現状維持項目**
1-⑤ 障害者（児）福祉の推進 1-⑦ 人権尊重と人権意識の高揚 2-② 林業の振興 2-③ 水産業の振興 2-④ 商工業の振興 3-③ 青少年の健全育成 3-⑤ 文化財と伝統行事の継承 4-④ 自然環境・景観の保全 4-⑥ 定住化の促進 4-⑧ 地域情報化の推進 4-⑩ 公共的交通機関の充実 5-② 職員の人材育成の推進	1-③ 地域福祉の推進 3-④ 生涯スポーツの推進 5-① 住民のまちづくりの推進 5-③ 効率的な行財政運営の推進

問４　お住まいの地域について、現在の生活実感からみた総合的な暮らしやすさを５段階で教えてください。(SA)

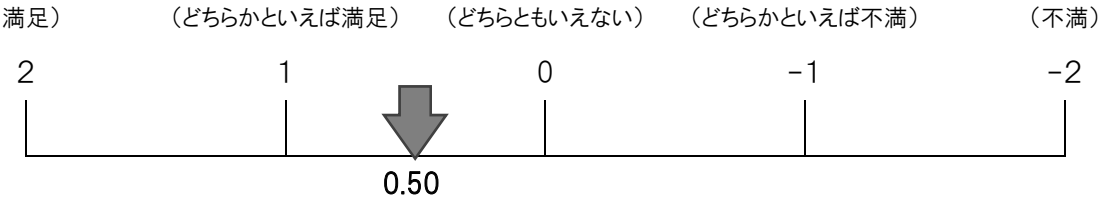
「どちらかといえば満足」が 45.5%で突出しています。「どちらともいえない」が 24.2%、「どちらかといえば不満」が 11.9%で続いています。



※ 満足度係数算出方法

$$\text{満足度係数} = \frac{(\text{満足})\times 2 + (\text{どちらかといえば満足})\times 1 + (\text{どちらともいえない})\times 0 + (\text{どちらかといえば不満})\times(-1) + (\text{不満})\times(-2)}{(\text{回答者数}) - (\text{無回答者数})}$$

※ 満足係数



【暮らしやすさ　×　年齢　クロス集計】

“30 歳未満”で、「不満」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
満足	10.5	9.1	18.8	12.5	9.1	5.2	10.2	11.8
どちらかといえば満足	45.5	45.5	57.6	46.9	44.6	41.7	47.4	35.3
どちらともいえない	24.2	16.4	12.9	25.0	24.8	32.3	27.0	29.4
どちらかといえば不満	11.9	9.1	5.9	12.5	16.5	11.5	11.7	13.7
不満	3.4	12.7	3.5	2.1	2.5	3.1	2.2	2.0
無回答	4.5	7.3	1.2	1.0	2.5	6.3	1.5	7.8

【暮らしやすさ　×　エリア　クロス集計】

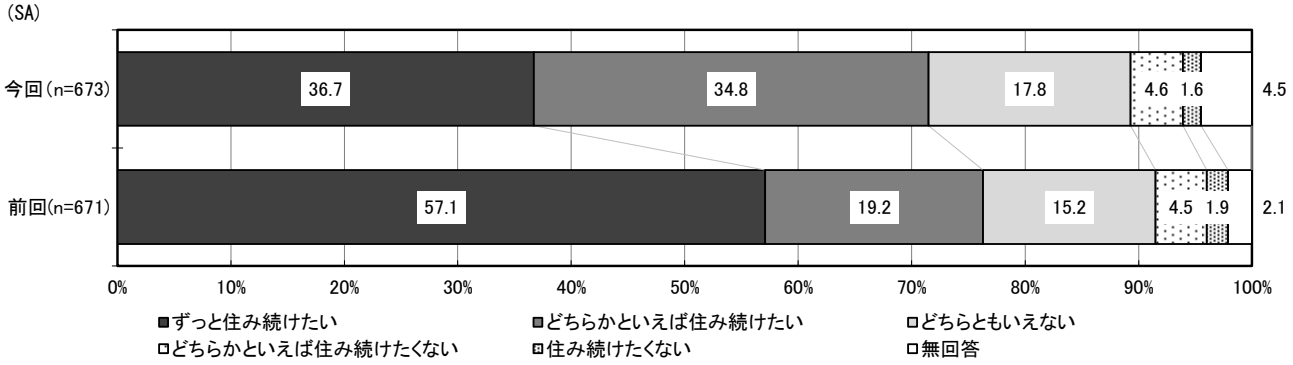
“上齋原”で、「どちらかといえば不満」「不満」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
満足	10.5	11.6	7.1	－	9.8
どちらかといえば満足	45.5	48.5	32.1	40.5	29.3
どちらともいえない	24.2	22.9	46.4	27.0	31.7
どちらかといえば不満	11.9	11.1	7.1	18.9	9.8
不満	3.4	2.8	3.6	10.8	7.3
無回答	4.5	3.1	3.6	2.7	12.2

3　鏡野町での住みやすさについておたずねします。

問５　あなたは、今後も鏡野町に住み続けたいですか。(SA)

「ずっと住み続けたい」が 36.7%、「どちらかといえば住み続けたい」が 34.8%で群を抜いて高くなっています。
前回に比べて、「ずっと住み続けたい」が減少しています。



※前回調査では「ずっと住み続けたい」ではなく「住みたい」という選択肢だったため、厳密な比較はできません。

【在住希望　×　年齢　クロス集計】

“30 歳未満”で、「ずっと住み続けたい」が比較的低くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
ずっと住み続けたい	36.7	21.8	42.4	29.2	29.8	40.6	46.0	49.0
どちらかといえば住み続けたい	34.8	41.8	35.3	39.6	43.8	25.0	34.3	25.5
どちらともいえない	17.8	20.0	16.5	24.0	14.9	26.0	9.5	11.8
どちらかといえば住み続けたくない	4.6	7.3	4.7	3.1	8.3	3.1	2.2	5.9
住み続けたくない	1.6	3.6	1.2	2.1	1.7	3.1	0.7	－
無回答	4.5	5.5	－	2.1	1.7	2.1	7.3	7.8

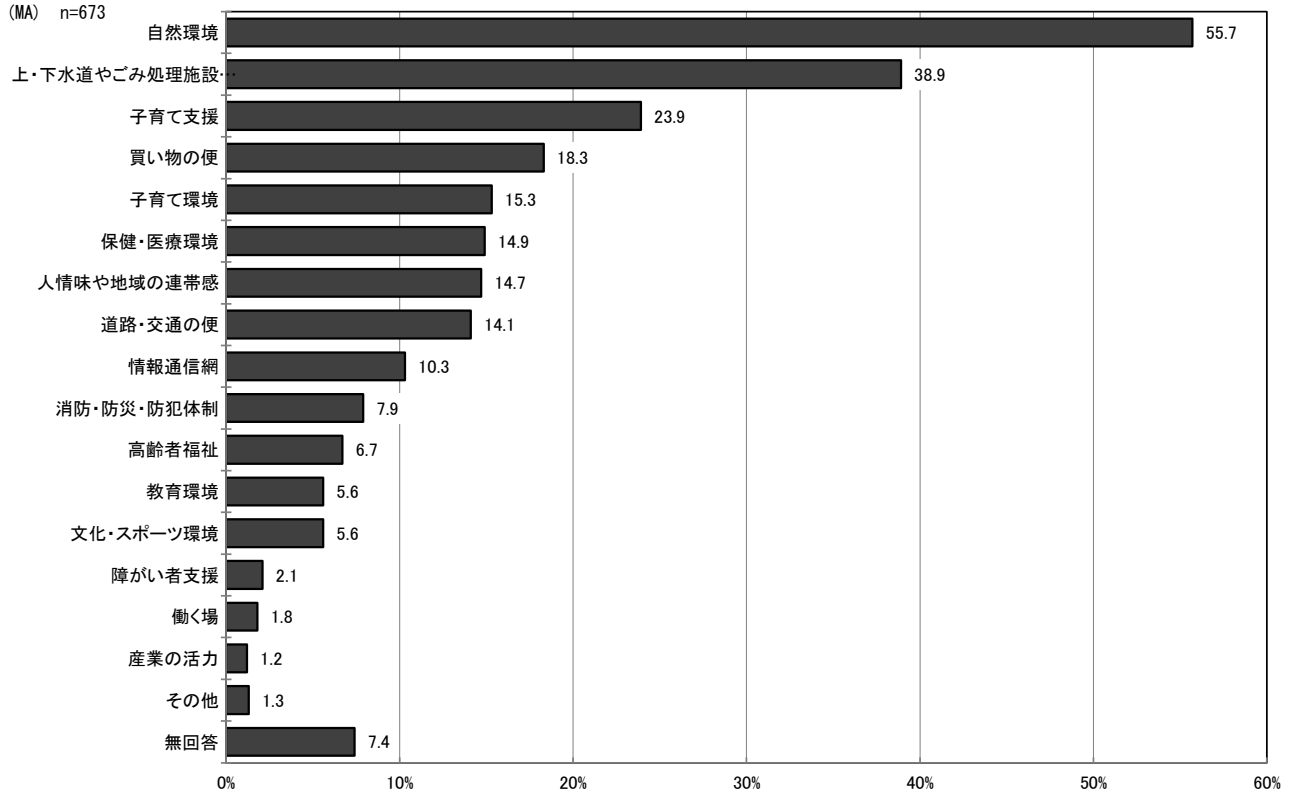
【在住希望　×　エリア　クロス集計】

“鏡野”で、「ずっと住み続けたい」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
ずっと住み続けたい	36.7	39.3	21.4	27.0	24.4
どちらかといえば住み続けたい	34.8	34.9	39.3	37.8	39.0
どちらともいえない	17.8	16.4	35.7	18.9	24.4
どちらかといえば住み続けたくない	4.6	4.8	3.6	8.1	－
住み続けたくない	1.6	1.3	－	2.7	7.3
無回答	4.5	3.3	－	5.4	4.9

問６（１）　鏡野町の環境として「良い・整っている」と思うこと教えてください。(MA)

「自然環境」が 55.7%で最も高くなっています。次いで「上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設」が 38.9%、「子育て支援」が 23.9%で続いています。



その他回答 （類似回答数）	
なし　3	オムツ代など子育てに必要な物品の補助制度は助かりました
土地が比較的安い	

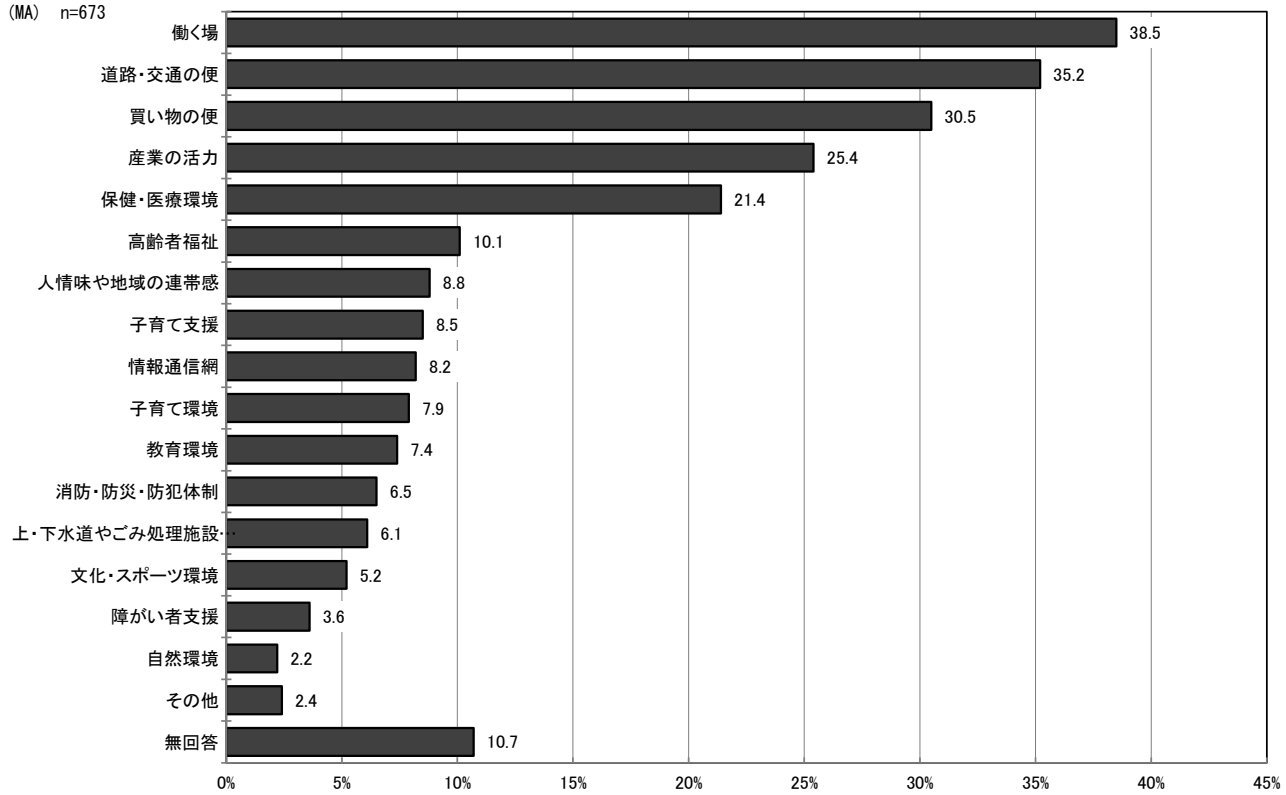
【良い環境　×　エリア　クロス集計】

“鏡野以外”で、「人情味や地域の連帯感」が高くなっています。
“奥津”で、「保険・医療環境」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
自然環境	55.7	53.1	64.3	78.4	70.7
上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設	38.9	37.6	50.0	51.4	51.2
子育て支援	23.9	26.2	17.9	8.1	9.8
買い物の便	18.3	21.6	3.6	5.4	4.9
子育て環境	15.3	17.5	3.6	2.7	2.4
保健・医療環境	14.9	16.2	21.4	2.7	7.3
人情味や地域の連帯感	14.7	12.2	25.0	29.7	24.4
道路・交通の便	14.1	15.9	3.6	13.5	2.4
情報通信網	10.3	9.6	7.1	21.6	14.6
消防・防災・防犯体制	7.9	7.0	10.7	13.5	12.2
高齢者福祉	6.7	6.3	7.1	16.2	4.9
教育環境	5.6	5.7	10.7	－	9.8
文化・スポーツ環境	5.6	6.1	7.1	－	4.9
障がい者支援	2.1	2.4	3.6	－	－
働く場	1.8	1.8	－	2.7	2.4
産業の活力	1.2	1.1	－	－	2.4
その他	1.3	1.7	－	－	－
無回答	7.4	6.8	10.7	－	9.8

問６（２）　鏡野町の環境として「悪い・不十分」と思うことを教えてください。(MA)

「働く場」が 38.5%で最も高くなっています。次いで「道路・交通の便」が 35.2%、「買い物の便」が 30.5%で続いています。



その他回答
空き家対策
耕作放棄地解消への取り組み
子どもの遊び場、映画館など
ゴミ収集場所の見直しをしてほしい。高齢者に冷たい
娯楽がない
地域格差が激しい
通学路の安全、歩道がない、危険な横断歩道、横断歩道の不足、道路のスピード標識不足、集団通学がない
なし
年配の人で連帯感のない人がいたら、全体の連帯感がなくなる。差し置いて前に出ることはできない
保育園に入れない
地域の行事では拘束時間が長く、子ども会なども強制参加の雰囲気で子育て世代には辛い。子ども会は役員の押し付け合いで誰もやりたがっていないと思う
通学路の安全性
無駄なところに金を使っている

【悪い環境　×　エリア　クロス集計】

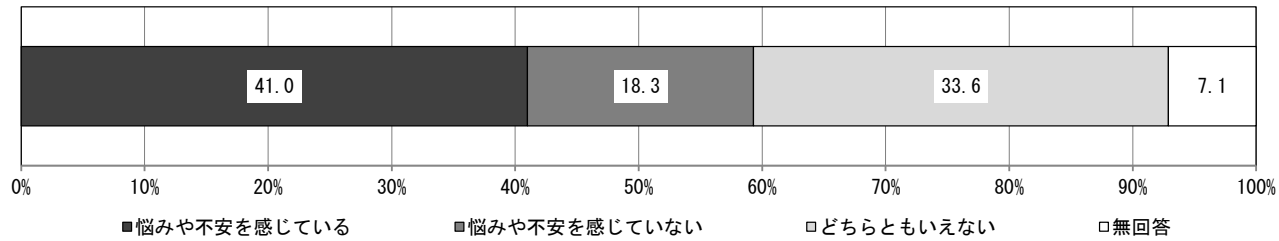
“富”で、「買い物の便」が比較的高くなっています。
“上齋原”で、「保険・医療環境」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
働く場	38.5	36.9	46.4	48.6	53.7
道路・交通の便	35.2	33.6	46.4	40.5	51.2
買い物の便	30.5	26.4	46.4	40.5	58.5
産業の活力	25.4	25.8	28.6	29.7	17.1
保健・医療環境	21.4	19.2	25.0	40.5	31.7
高齢者福祉	10.1	11.1	7.1	8.1	4.9
人情味や地域の連帯感	8.8	10.0	3.6	2.7	4.9
子育て支援	8.5	9.4	7.1	－	7.3
情報通信網	8.2	8.7	7.1	2.7	7.3
子育て環境	7.9	7.9	10.7	5.4	9.8
教育環境	7.4	7.9	－	8.1	4.9
消防・防災・防犯体制	6.5	6.3	7.1	10.8	7.3
上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設	6.1	6.5	－	2.7	4.9
文化・スポーツ環境	5.2	6.3	－	－	－
障がい者支援	3.6	3.9	3.6	－	2.4
自然環境	2.2	2.2	－	5.4	－
その他	2.4	2.2	3.6	5.4	－
無回答	10.7	10.7	3.6	5.4	9.8

問７　日頃の暮らしの中で悩みや不安を感じていますか。(SA)

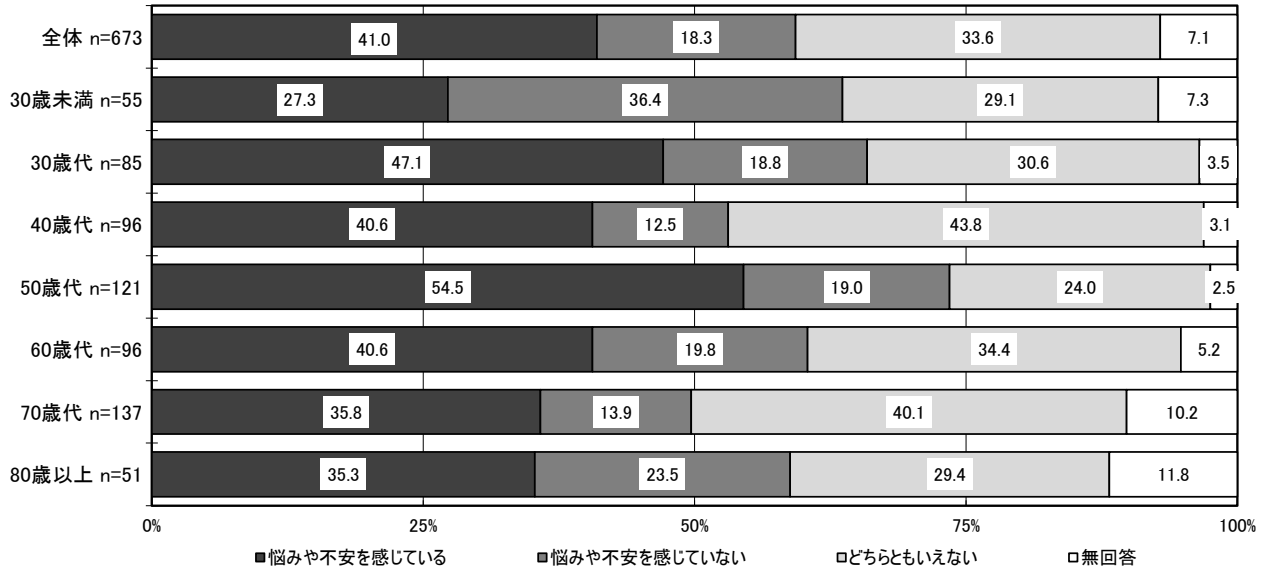
「悩みや不安を感じている」が 41.0％で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 33.6％となっています。

(SA)　n=673



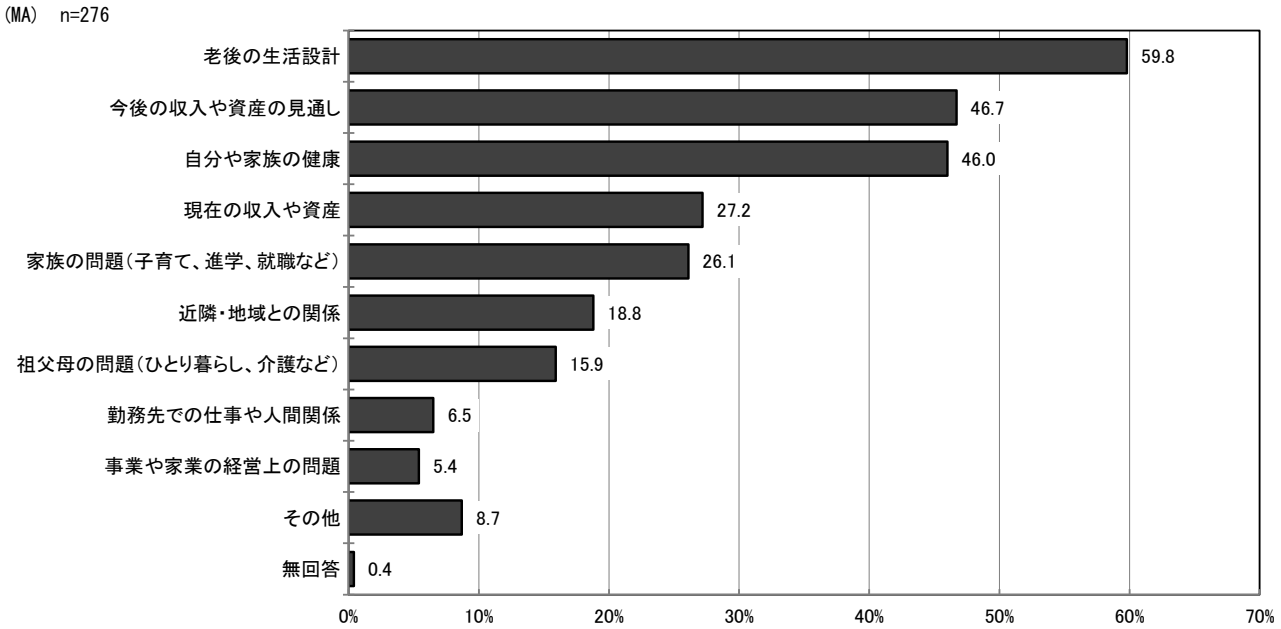
【悩み・不安　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”“50 歳代”で、「悩みや不安を感じている」が比較的高くなっています。



問８　どのようなことで不安を感じていますか。(MA)

「老後の生活設計」が 59.8%で最も高くなっています。次いで「今後の収入や資産の見通し」が 46.7%、「自分や家族の健康」が 46.0%で続いています。



その他回答
運転免許証返納後の移動手段
親との関係
親の介護

その他回答
害獣が多い
ガソリン代が高い
居住地周辺の問題
結婚につながる出会いがあるか
後継者不在
子どもの通学の安全性、小学校、中学校、高校
山林の保全管理
仕事する場所がない
森林、田畑の維持管理
生活の質、楽しみ
地域外の子どもが勝手に敷地で遊んでいる
電気、ガス、水道などの生活必要費の値上げなど
同調圧力。以前、コロナなどでマスクなど
なし
病院
風力発電の事業が行われることによる自然破壊、災害、健康被害
マスク強要、ワクチン推進など不安
老後の買い物場所など
愛育委員等の役が回ってくると思うと不安に感じて暮らしている
管理されない、荒れる土地
執行部の舵取り
住宅ローンの返済
川が近いため豪雨災害が心配
息子が定職に就けないこと
町内小児科医師の高齢化
風力発電
物価高

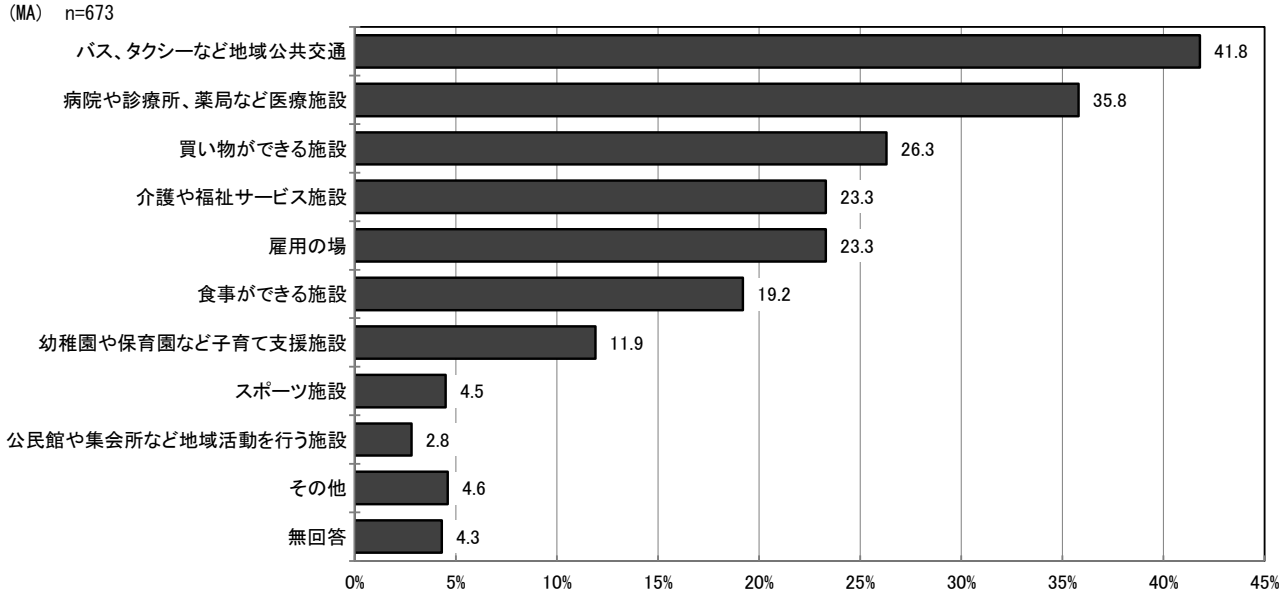
【悩み・不安の理由　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代以下”で、「家族の問題」が比較的高くなっています。
“70 歳代以上”で、「自分や家族の健康」が比較的高くなっています。

	全体 n=276	30歳未満 n=15	30歳代 n=40	40歳代 n=39	50歳代 n=66	60歳代 n=39	70歳代 n=49	80歳以上 n=18
老後の生活設計	59.8	26.7	30.0	53.8	65.2	79.5	73.5	61.1
今後の収入や資産の見通し	46.7	40.0	55.0	48.7	47.0	51.3	42.9	27.8
自分や家族の健康	46.0	40.0	32.5	38.5	42.4	35.9	67.3	66.7
現在の収入や資産	27.2	40.0	32.5	38.5	27.3	23.1	18.4	16.7
家族の問題（子育て、進学、就職など）	26.1	53.3	55.0	33.3	24.2	15.4	10.2	5.6
近隣・地域との関係	18.8	－	10.0	10.3	16.7	28.2	32.7	27.8
祖父母の問題（ひとり暮らし、介護など）	15.9	6.7	20.0	10.3	28.8	15.4	6.1	11.1
勤務先での仕事や人間関係	6.5	33.3	10.0	2.6	9.1	－	－	－
事業や家業の経営上の問題	5.4	13.3	2.5	5.1	4.5	7.7	4.1	11.1
その他	8.7	6.7	10.0	17.9	9.1	7.7	4.1	－
無回答	0.4	－	－	－	－	－	－	5.6

問９　今後も鏡野町に住み続けるためには、どのような場が必要だと思いますか。(MA)

「バス、タクシーなど地域公共交通」が 41.8%で最も高くなっています。次いで「病院や診療所、薬局など医療施設」が 35.8%、「買い物ができる施設」が 26.3%で続いています。



その他回答
179 号線にコンビニ
2つには絞れない。現状で生活していくうえで全て必要だと感じている
空き家が増えているため、その活用。移住者を増やす。このままだと部落がなくなっていくと思われる
カーシェアなど
過疎地域の空き家対策や移住フォロー
ガソリンスタンド
ガソリン代を安くしてほしい
頑張っている人、子どもへの支援
キャンプ場や登山などアウトドアが楽しめる場所
グリーンヒルズ、ゆったりした広場
高校への通学手段
子どもが朝夕、安全に登校できる環境 夢広場西の横断歩道は突っ込む車が多い。警察や町が登下校時見守れないか 179 線は飛ばす車多い。文化センターにつながるところに横断歩道を設置できないか。セブンイレブンのところまで老人は横断歩道のために、歩いて行かれない セブンイレブンから横断歩道を渡って、入木石油から中学校まで歩道がない。通学路なら整備するべき
集会所はあっても話し合いの場がない。年配の人がいて、新しい人の声を聞ける環境ではない。新しいことはなかなか進んでいかない
人口が鏡野地域に集中しているので、奥津、上齋原、富地域にも人が集まるように盛り上げる場
人口と金
人生の楽しみの場
多ジャンルでの不安の打ち明け、相談ができる場

その他回答
地域の交流
町営住宅の拡大
都市交流と宿泊施設
年代が集う場所
ボランティアの軽減
マスクを強要しない病院。ワクチン薬害を勧めないトップ。
夢や希望が持てる施策。施設だけではない
温泉等の観光地
高齢者等買い物難民の買い物支援
仕事場
世界的企業の誘致
道路網の整備

【暮らしに必要な場　×　年齢　クロス集計】

“50 歳代”を除いて、年齢が高くなるほど、「バス、タクシーなど地域公共交通」が高くなる傾向があります。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
バス、タクシーなど地域公共交通	41.8	29.1	31.8	39.6	33.9	46.9	54.0	58.8
病院や診療所、薬局など医療施設	35.8	25.5	34.1	44.8	38.8	38.5	34.3	29.4
買い物ができる施設	26.3	32.7	23.5	25.0	29.8	21.9	26.3	29.4
介護や福祉サービス施設	23.3	12.7	5.9	10.4	25.6	28.1	35.8	41.2
雇用の場	23.3	23.6	29.4	26.0	34.7	27.1	13.9	5.9
食事ができる施設	19.2	29.1	25.9	21.9	13.2	13.5	23.4	7.8
幼稚園や保育園など子育て支援施設	11.9	23.6	40.0	13.5	5.0	8.3	2.2	2.0
スポーツ施設	4.5	10.9	9.4	4.2	4.1	3.1	2.2	－
公民館や集会所など地域活動を行う施設	2.8	－	2.4	3.1	2.5	1.0	5.1	3.9
その他	4.6	3.6	4.7	8.3	8.3	4.2	2.2	－
無回答	4.3	3.6	－	2.1	1.7	1.0	6.6	13.7

【暮らしに必要な場　×　エリア　クロス集計】

“富”で、「買い物ができる施設」が特に高くなっています。
“奥津”“上齋原”で、「雇用の場」が比較的高くなっています。

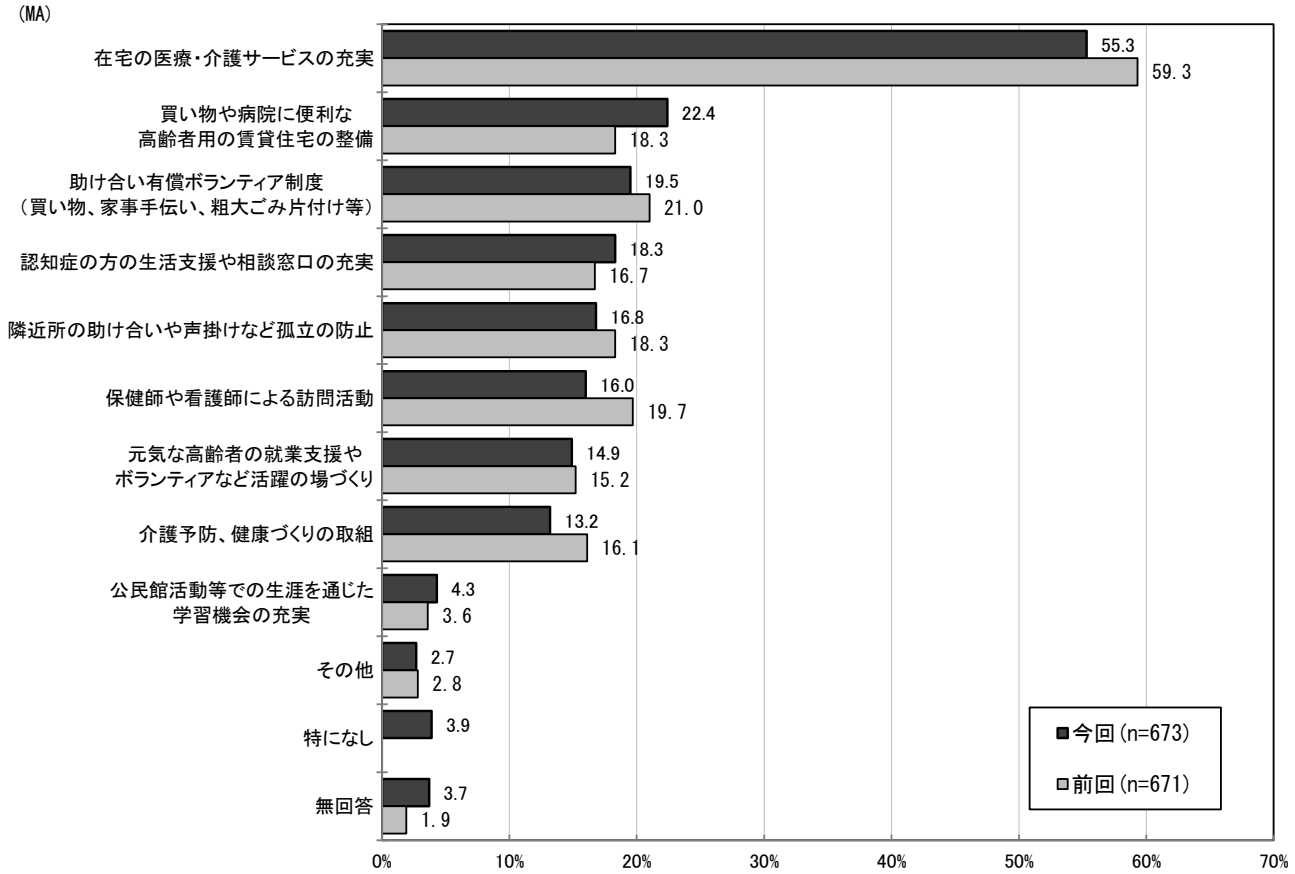
	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
バス、タクシーなど地域公共交通	41.8	41.1	50.0	51.4	43.9
病院や診療所、薬局など医療施設	35.8	36.2	25.0	43.2	41.5
買い物ができる施設	26.3	22.0	39.3	43.2	61.0
介護や福祉サービス施設	23.3	23.8	17.9	27.0	17.1
雇用の場	23.3	22.3	35.7	32.4	19.5
食事ができる施設	19.2	21.2	3.6	13.5	12.2
幼稚園や保育園など子育て支援施設	11.9	13.7	7.1	2.7	2.4
スポーツ施設	4.5	5.0	－	5.4	－
公民館や集会所など地域活動を行う施設	2.8	3.1	－	2.7	－
その他	4.6	5.0	7.1	2.7	2.4
無回答	4.3	3.5	3.6	－	7.3

4　高齢者や子育て、障害者（児）施策についておたずねします。

問 10　高齢の方やあなたが高齢になったとき、どのような支援や制度の充実が必要と思いますか。(MA)

「在宅の医療・介護サービスの充実」が 55.3%で突出しています。「買い物や病院に便利な高齢者用の賃貸住宅の整備」が 22.4%、「助け合い有償ボランティア制度（買い物、家事手伝い、粗大ごみ片付け等）」が 19.5%で続いています。

前回と同様の傾向となっています。



※前回調査では「特になし」の選択肢はありません。

その他回答
「助け合い有償ボランティア制度」に付随しますが、強盗やボランティアによる事件も多く、他人を家にあげる、頼ることが怖い世の中になってきた為、行政が身元を保証、万が一の時のケアもしてくれるボランティアなら多少は安心してボランティアさんを頼れるのかなと思いました
家の周りの草刈（自分でできない人）
インスタの「くろまめさん」のような施設。高齢者から子どもまで集える施設
車がなくても買い物に行ける仕組み
経済的支援
公立家事支援。現在の家事支援は高額すぎる
根本的な健康に対する認識を覆す機会

その他回答
全て
生存確認
タクシーなど交通の足の整備
通院、買い物などの補助
通院や買い物、外出時の公共交通機関
病院
まず、まともな人材が福祉に携わって欲しい。
昔の親は大変でもできた。今は国が手を出しすぎている
迷惑をかけるだけなので別になし
気軽に参加できるスポーツクラブ(シニアのサッカーとか)
免許を返納した際の交通の利便性や支援制度

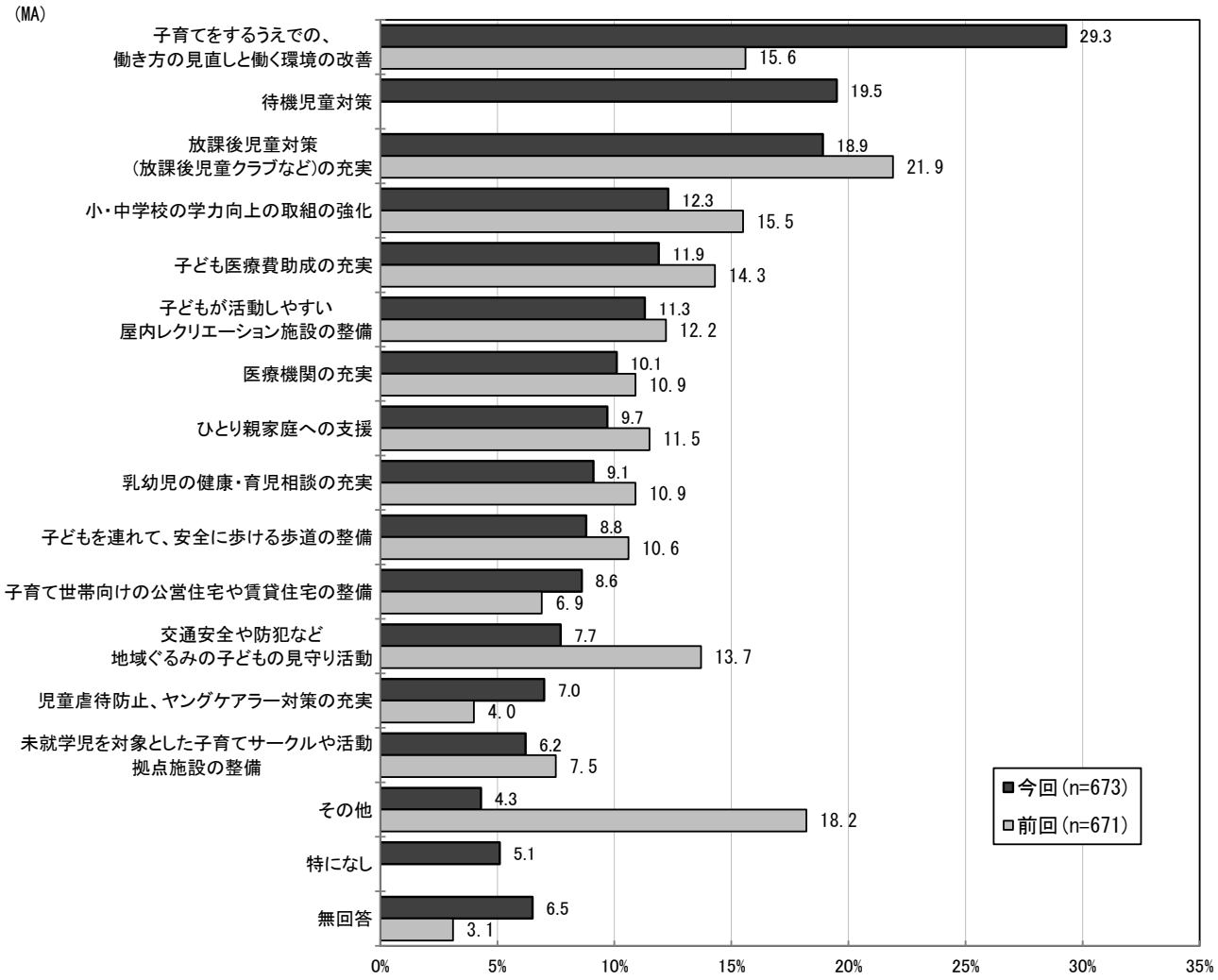
【高齢者に必要な支援　×　年齢　クロス集計】

“70 歳代以上”では、他の年代と異なり、「保健師や看護師による訪問活動」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
在宅の医療・介護サービスの充実	55.3	49.1	54.1	61.5	57.9	49.0	63.5	47.1
買い物や病院に便利な高齢者用の賃貸住宅の整備	22.4	29.1	31.8	33.3	24.0	19.8	13.1	5.9
助け合い有償ボランティア制度（買い物、家事手伝い、粗大ごみ片付け等）	19.5	14.5	23.5	19.8	23.1	20.8	15.3	19.6
認知症の方の生活支援や相談窓口の充実	18.3	20.0	15.3	18.8	19.8	21.9	16.1	17.6
隣近所の助け合いや声掛けなど孤立の防止	16.8	23.6	15.3	12.5	14.9	18.8	16.8	21.6
保健師や看護師による訪問活動	16.0	14.5	10.6	12.5	15.7	14.6	20.4	25.5
元気な高齢者の就業支援やボランティアなど活躍の場づくり	14.9	9.1	20.0	22.9	14.9	18.8	8.0	11.8
介護予防、健康づくりの取組	13.2	16.4	11.8	13.5	14.9	10.4	13.9	11.8
公民館活動等での生涯を通じた学習機会の充実	4.3	－	1.2	6.3	5.8	5.2	5.1	3.9
その他	2.7	－	1.2	8.3	1.7	1.0	2.9	－
特になし	3.9	5.5	9.4	2.1	0.8	4.2	2.2	5.9
無回答	3.7	－	1.2	2.1	1.7	4.2	5.1	7.8

問 11　子育て世帯が住みやすいまちにするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(MA)

「子育てをするうえでの、働き方の見直しと働く環境の改善」が 29.3%で最も高くなっています。次いで「待機児童対策」が 19.5%、「放課後児童対策(放課後児童クラブなど)の充実」が 18.9%で続いています。



※前回調査とは複数か所選択肢が異なるため、厳密な比較はできません。

医療機関の充実:希望する診療科目　(類似回答数)		
小児科	21	外科
耳鼻科	14	耳鼻咽喉科、心療内科
眼科	3	耳鼻科(毎日診療しているところ)
整形外科	3	耳鼻科、整形外科が午後からも診察がしてもらえるようにしてほしい
内科	3	泌尿器科
産婦人科	2	病児(病後)保育
皮膚科	2	歯科

その他回答
2つには絞れない
2 つ以上選択する必要がある
2人目が生まれた時、1人目が3歳未満の場合退園のこと。3歳未満でも時短保育できるようにしてほしい
2 人目が産まれても保育園に預けられる制度
空き家を利用したシェアハウスなど
新しく地域に住んでくれる人を探して、住みやすいまちづくりをしてほしい
あまり子どもに構いすぎ。老人のこともしてほしい
行きたい幼稚園やこども園に入れるようにしてほしい
頑張っている子どもへの支援、子どもの人数は関係なく
教育の充実
経済的支援
高校通学のバスの本数が少なすぎる。高校進学で津山に移住することを考える人が多いと思う
娯楽、映画、コストコ誘致
支援金の充実
仕事
就職
出生から高校卒業まで、奈義町並みの助成
情報交換の場 広域の保育園（所）の充実。現在、広域幼児を受け入れていないこども園の幼稚園部に通っている。町から助成を受けているが、保育の時間の制限（延長料金が必要になる）、春夏秋冬休みに通うため持ち出しがいる。助成金の金額の検討や、広域保育の他市町村との協議をしてほしい
全家庭への支援
地域との交流
何でもできる広場がいろいろなところにほしい
ファミリーサポートの充実
リターンの援助
ワクチンを推進しない小児科医
縁故で役人を採用しないで欲しい
給食費の無償化
子育て助成金
親の教育
奈義町のような在宅育児支援手当

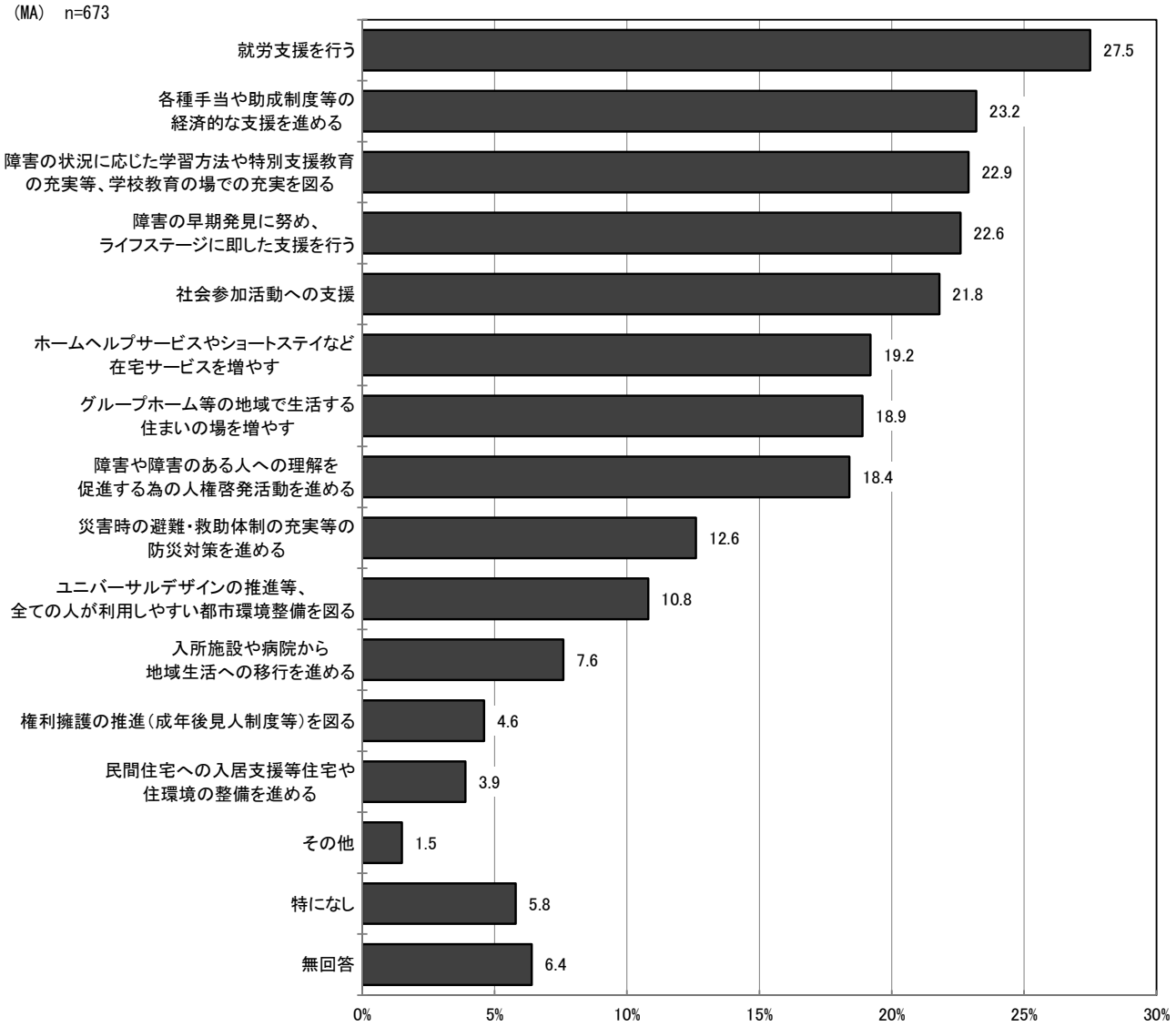
【子育て世帯に必要な支援　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「待機児童対策」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
子育てをするうえでの、働き方の見直しと働く環境の改善	29.3	32.7	30.6	36.5	33.9	26.0	27.0	23.5
待機児童対策	19.5	25.5	41.2	21.9	19.8	15.6	10.9	5.9
放課後児童対策(放課後児童クラブなど)の充実	18.9	9.1	16.5	21.9	17.4	26.0	21.9	13.7
小・中学校の学力向上の取組の強化	12.3	7.3	10.6	19.8	14.0	9.4	12.4	3.9
子ども医療費助成の充実	11.9	18.2	11.8	8.3	10.7	11.5	8.8	21.6
子どもが活動しやすい屋内レクリエーション施設の整備	11.3	16.4	21.2	13.5	10.7	8.3	5.8	7.8
医療機関の充実	10.1	7.3	11.8	11.5	9.9	10.4	8.0	7.8
ひとり親家庭への支援	9.7	5.5	8.2	11.5	13.2	9.4	10.9	2.0
乳幼児の健康・育児相談の充実	9.1	16.4	7.1	5.2	5.8	10.4	13.1	3.9
子どもを連れて、安全に歩ける歩道の整備	8.8	10.9	9.4	9.4	6.6	8.3	8.8	7.8
子育て世帯向けの公営住宅や賃貸住宅の整備	8.6	7.3	9.4	11.5	7.4	10.4	9.5	3.9
交通安全や防犯など地域ぐるみの子どもの見守り活動	7.7	7.3	3.5	6.3	7.4	11.5	8.0	11.8
児童虐待防止、ヤングケアラー対策の充実	7.0	10.9	3.5	11.5	6.6	9.4	3.6	7.8
未就学児を対象とした子育てサークルや活動拠点施設の整備	6.2	5.5	4.7	5.2	8.3	5.2	10.2	2.0
その他	4.3	1.8	7.1	9.4	3.3	2.1	2.9	－
特になし	5.1	5.5	2.4	3.1	5.0	7.3	3.6	13.7
無回答	6.5	－	－	2.1	5.0	5.2	10.2	23.5

問 12　今後、鏡野町が推進する障害者（児）施策について、特に力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。(MA)

「就労支援を行う」が 27.5%で最も高くなっています。次いで「各種手当や助成制度等の経済的な支援を進める」が 23.2%、「障害の状況に応じた学習方法や特別支援教育の充実等、学校教育の場での充実を図る」が 22.9%で続いています。



その他回答
グループホームなどについては、閉校した学校など空き家を活用するのもよいかもしれない
各保育園、幼稚園に療育専門員を配属する
障がい者が一人残ったら後はどのようになるのか対策
障がい者にはよくしてほしい。健常者はもっと努力してほしい
相談窓口の充実、医療機関との連携
そもそも役人がいかれている
迷惑をかけるだけなので別になし

その他回答
小中学生の頃から、障害のある人もない人も、同じ学校に通い、助け合って一緒に生活するものだということを子どもの頃から経験しておく。
早期発見、早期療育の必要性と他機関の連携などの体制づくり（専門性の高い児発、放デイ。医療とこども園や教育機関、療育の連携、保健師や保育士や教諭、小児科医の知識や質の向上

【注力すべき障害者施策　×　年齢　クロス集計】

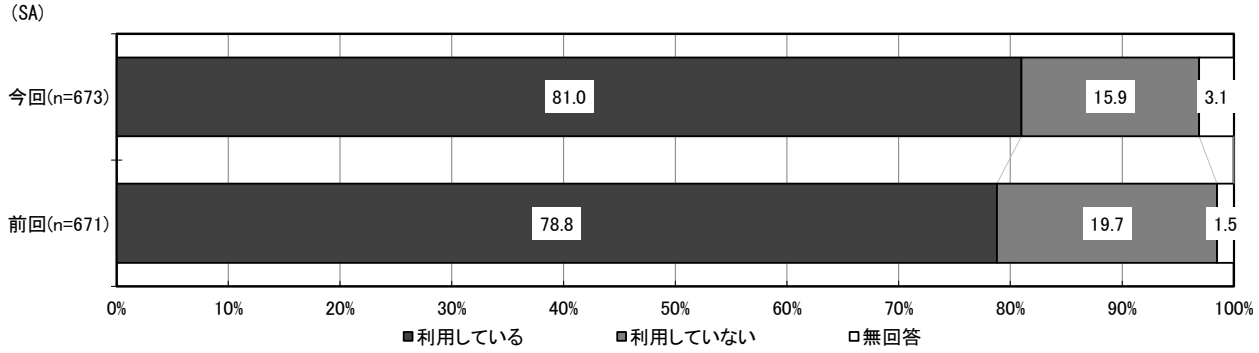
“60 歳代”で、「障害の状況に応じた学習方法や特別支援教育の充実等、学校教育の場での充実を図る」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
就労支援を行う	27.5	29.1	24.7	33.3	30.6	30.2	27.7	17.6
各種手当や助成制度等の経済的な支援を進める	23.2	27.3	21.2	28.1	24.8	26.0	25.5	5.9
障害の状況に応じた学習方法や特別支援教育の充実等、学校教育の場での充実を図る	22.9	10.9	20.0	30.2	17.4	31.3	24.1	25.5
障害の早期発見に努め、ライフステージに即した支援を行う	22.6	18.2	22.4	26.0	28.1	26.0	19.0	15.7
社会参加活動への支援	21.8	16.4	23.5	14.6	23.1	22.9	27.0	15.7
ホームヘルプサービスやショートステイなど在宅サービスを増やす	19.2	16.4	11.8	19.8	24.0	15.6	22.6	17.6
グループホーム等の地域で生活する住まいの場を増やす	18.9	16.4	22.4	17.7	16.5	16.7	20.4	21.6
障害や障害のある人への理解を促進する為の人権啓発活動を進める	18.4	14.5	18.8	17.7	18.2	19.8	16.8	23.5
災害時の避難・救助体制の充実等の防災対策を進める	12.6	10.9	9.4	12.5	6.6	15.6	14.6	15.7
ユニバーサルデザインの推進等、全ての人が利用しやすい都市環境整備を図る	10.8	16.4	18.8	15.6	10.7	11.5	3.6	3.9
入所施設や病院から地域生活への移行を進める	7.6	9.1	8.2	5.2	7.4	9.4	8.8	5.9
権利擁護の推進（成年後見人制度等）を図る	4.6	3.6	5.9	4.2	4.1	2.1	8.0	－
民間住宅への入居支援等住宅や住環境の整備を進める	3.9	1.8	－	6.3	4.1	5.2	4.4	2.0
その他	1.5	－	－	5.2	－	1.0	0.7	－
特になし	5.8	14.5	9.4	6.3	4.1	2.1	2.2	11.8
無回答	6.4	3.6	2.4	2.1	5.8	3.1	9.5	19.6

5　ICT（情報通信技術）分野についておたずねします。

問 13　現在、インターネット（パソコン･スマートフォン等）を利用していますか。(SA)

「利用している」が 81.0%を占めています。
前回に比べて「利用している」が増加しています。



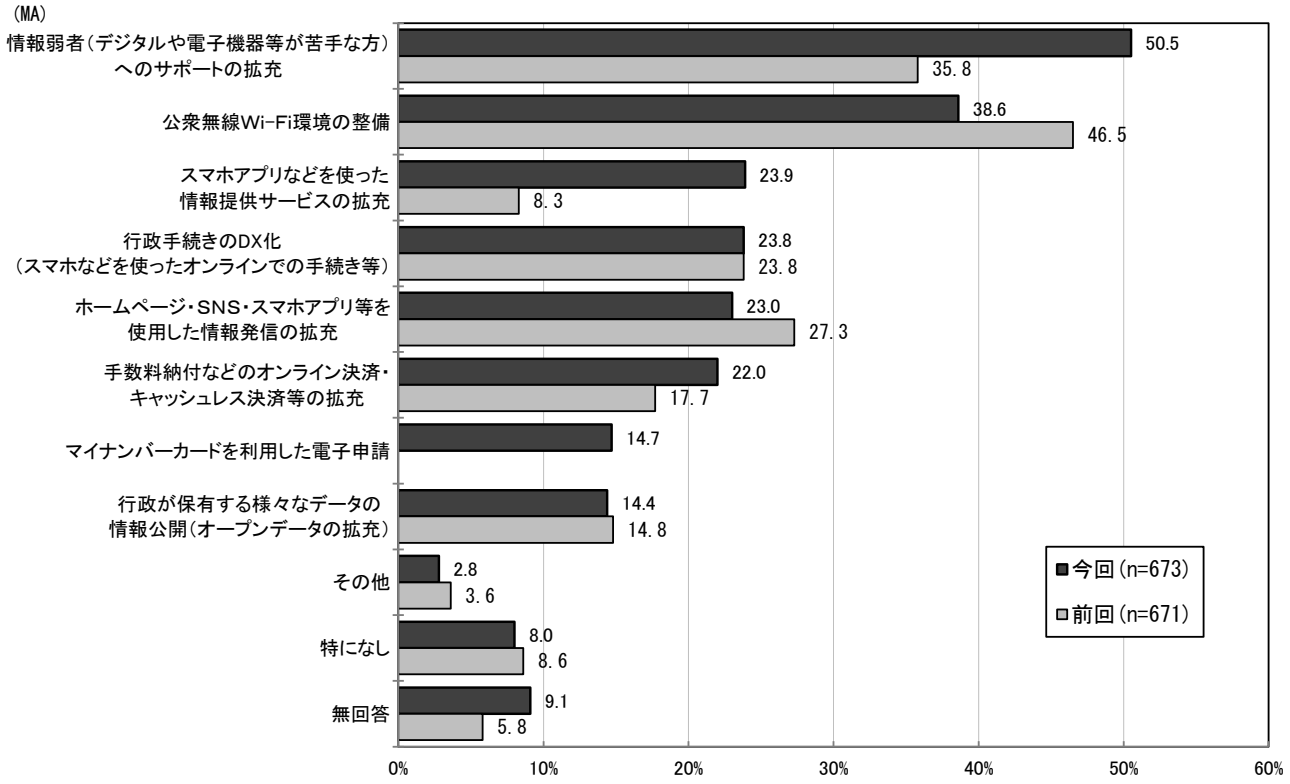
【インターネット利用　×　年齢　クロス集計】

“60 歳代”で、「利用している」が 84.4%、“70 歳代”で 62.0%となっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
利用している	81.0	98.2	100.0	93.8	95.0	84.4	62.0	33.3
利用していない	15.9	1.8	－	5.2	5.0	13.5	35.0	51.0
無回答	3.1	－	－	1.0	－	2.1	2.9	15.7

問 14　行政サービスの向上のために必要だと思うことはどのようなことですか。(MA)

「情報弱者(デジタルや電子機器等が苦手な方)へのサポートの拡充」が 50.5%で最も高くなっています。次いで「公衆無線Wi-Fi環境の整備」が 38.6%、「スマホアプリなどを使った情報提供サービスの拡充」が 23.9%で続いています。



※前回調査とは複数か所選択肢が異なるため、厳密な比較はできません。

その他回答
NTT の通信網の整備
インターネットの整備
インターネットの光通信化
動けないため来宅無理だろうか
オンラインばかりで老人はできない
鏡野町ホームページにつなごうとするとセキュリティがない危険だと出る
高齢者はスマートフォンの取り扱いがわからない
他事業所の回線を使えるようにしてほしい
使い方があまり理解できない
使えない。使おうとしないからいらない
バス、タクシー利用へ活用
光回線の整備
光通信網の他社選択がほしい
リスクの高いマイナカードを勧めないこと

その他回答
光通信の拡充（町内ローカル回線網）だけでなく、NTT光回線などもあると、企業の情報回線のインフラが整えば、企業誘致しやすくなる。と思う。
通信インフラの更新　通信速度向上
通信環境の自由化
年寄りの役人はさっさと役所を去って欲しい

【行政サービスに必要なこと　×　年齢　クロス集計】

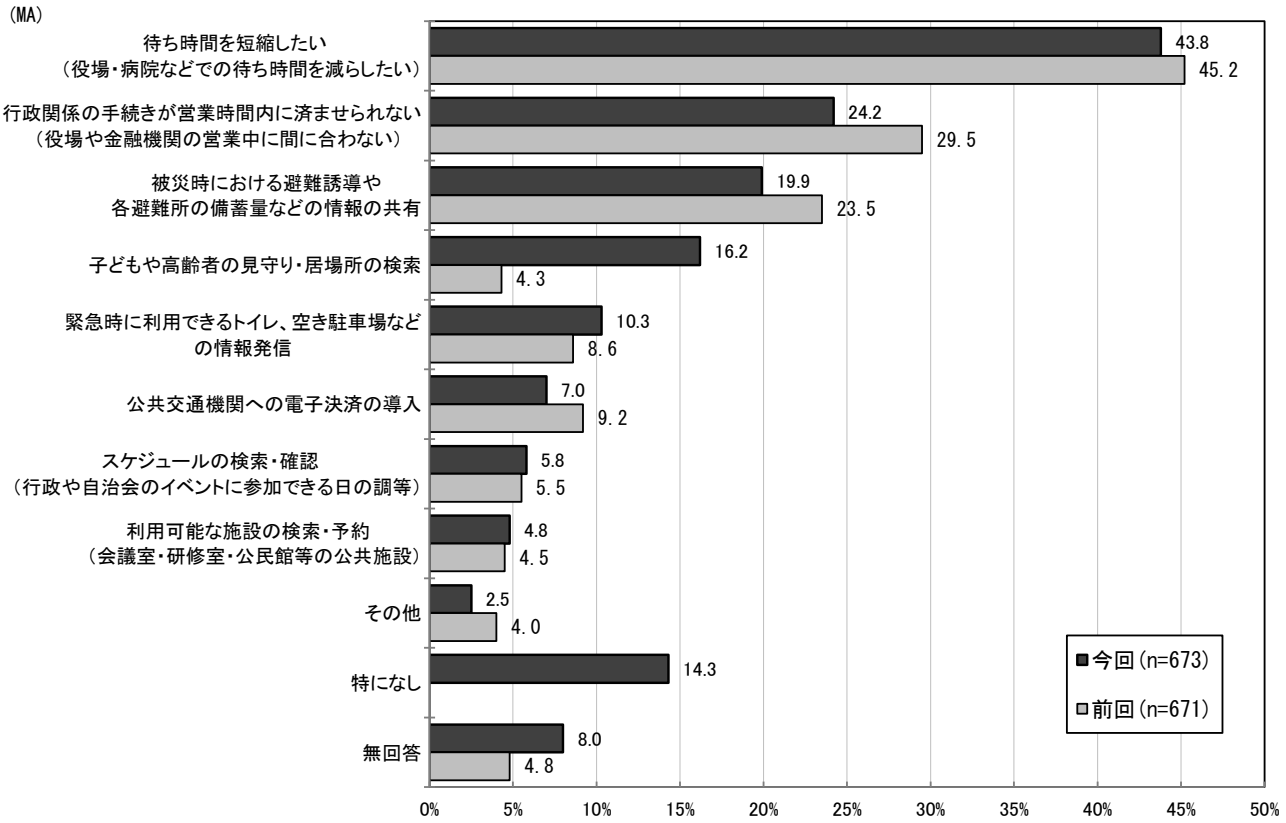
“30 歳代”では、「行政手続きの DX 化」が 49.4%で最も高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
情報弱者（デジタルや電子機器等が苦手な方）へのサポートの拡充	50.5	41.8	45.9	54.2	49.6	54.2	57.7	43.1
公衆無線Wi-Fi環境の整備	38.6	38.2	38.8	50.0	54.5	47.9	26.3	5.9
スマホアプリなどを使った情報提供サービスの拡充	23.9	20.0	43.5	29.2	24.0	18.8	19.0	13.7
行政手続きのDX化（スマホなどを使ったオンラインでの手続き等）	23.8	30.9	49.4	27.1	32.2	14.6	8.8	11.8
ホームページ・SNS・スマホアプリ等を使用した情報発信の拡充	23.0	20.0	38.8	32.3	27.3	16.7	16.8	5.9
手数料納付などのオンライン決済・キャッシュレス決済等の拡充	22.0	25.5	45.9	35.4	24.0	13.5	8.8	7.8
マイナンバーカードを利用した電子申請	14.7	16.4	22.4	21.9	19.8	7.3	10.2	3.9
行政が保有する様々なデータの情報公開（オープンデータの拡充）	14.4	9.1	14.1	15.6	19.8	15.6	16.8	2.0
その他	2.8	1.8	3.5	2.1	5.0	1.0	2.2	2.0
特になし	8.0	7.3	8.2	5.2	3.3	4.2	11.7	23.5
無回答	9.1	－	1.2	1.0	4.1	12.5	13.1	27.5

問 15　今、生活のなかで、不便である、使いやすくしてほしいと感じていることはありますか。(MA)

「待ち時間を短縮したい （役場・病院などでの待ち時間を減らしたい）」が 43.8%で突出しています。「行政関係の手続きが営業時間内に済ませられない（役場や金融機関の営業中に間に合わない）」が 24.2%、「被災時における避難誘導や各避難所の備蓄量などの情報の共有」が 19.9%で続いています。

前回に比べて、「子どもや高齢者の見守り・居場所の検索」が大きく増加しています。



※前回調査から削除した選択肢があります。前回調査では「特になし」の選択肢はありません。

その他回答
動けないため来宅無理だろうか
可燃ゴミの収集日を増やしてほしい
携帯の電波がつながらない場所がある。事故などの時連絡ができない
公共料金が高すぎる。冬は特に暖房料金が高いのでなんとかしてほしい
子どもには注意力を身につけてほしい
ゴミの収集が週1回は本当に困る。年末年始などゴミを2週間も家に置いておくなんてできない。夏もにおいなど、問題が多い。しかしゴミ袋が高くなるのも困る
ゴミの収集日数の増加、光通信網
バス停留所の見直し
光回線の導入
ほしい情報が得られないのでホームページの見直し、こまめな更新
補助金のある事業など一部の人が知っていて得をするのではなく、もっとみんなに PR、知らせてほしい

その他回答
真庭市との行政など共用できるものがあれば増やしてほしい。現在は救急車、他になにかできないか
公共交通機関の拡充
書類での手続きが多い
病院の診療科目が少ない、診療時間が限られる。
芳野病院のお見舞い予約システムが良くない　予約がストックできない　見舞い時間が少ない

【生活の不便　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”では、他の年代と異なり、「行政関係の手続きが営業時間内に済ませられない」が 45.9%で最も高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
待ち時間を短縮したい （役場・病院などでの待ち時間を減らしたい）	43.8	40.0	37.6	43.8	42.1	56.3	42.3	45.1
行政関係の手続きが営業時間内に済ませられない（役場や金融機関の営業中に間に合わない）	24.2	23.6	45.9	35.4	32.2	18.8	8.8	2.0
被災時における避難誘導や各避難所の備蓄量などの情報の共有	19.9	12.7	15.3	17.7	19.0	29.2	24.8	13.7
子どもや高齢者の見守り・居場所の検索	16.2	18.2	17.6	14.6	10.7	19.8	17.5	23.5
緊急時に利用できるトイレ、空き駐車場などの情報発信	10.3	3.6	9.4	16.7	12.4	9.4	8.0	11.8
公共交通機関への電子決済の導入	7.0	18.2	11.8	6.3	7.4	6.3	3.6	2.0
スケジュールの検索・確認 （行政や自治会のイベントに参加できる日の調整等）	5.8	7.3	14.1	5.2	6.6	2.1	3.6	－
利用可能な施設の検索・予約 （会議室・研修室・公民館等の公共施設）	4.8	7.3	3.5	12.5	6.6	3.1	1.5	－
その他	2.5	1.8	1.2	3.1	5.0	1.0	2.2	－
特になし	14.3	14.5	12.9	11.5	12.4	8.3	18.2	23.5
無回答	8.0	－	1.2	4.2	4.1	7.3	15.3	15.7

【生活の不便　×　エリア　クロス集計】

“奥津”“富”で、「行政関係の手続きが営業時間内に済ませられない」が比較的低く、“奥津”で、「被災時における避難誘導や各避難所の備蓄量などの情報の共有」が比較的低くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
待ち時間を短縮したい （役場・病院などでの待ち時間を減らしたい）	43.8	44.6	42.9	43.2	39.0
行政関係の手続きが営業時間内に済ませられない（役場や金融機関の営業中に間に合わない）	24.2	26.2	14.3	24.3	12.2
被災時における避難誘導や各避難所の備蓄量などの情報の共有	19.9	20.3	10.7	24.3	22.0
子どもや高齢者の見守り・居場所の検索	16.2	16.6	10.7	16.2	17.1
緊急時に利用できるトイレ、空き駐車場などの情報発信	10.3	11.4	3.6	5.4	4.9
公共交通機関への電子決済の導入	7.0	7.4	－	13.5	4.9
スケジュールの検索・確認 （行政や自治会のイベントに参加できる日の調整等）	5.8	6.6	－	－	2.4
利用可能な施設の検索・予約 （会議室・研修室・公民館等の公共施設）	4.8	4.8	－	5.4	7.3
その他	2.5	1.7	7.1	2.7	4.9
特になし	14.3	12.9	28.6	10.8	24.4
無回答	8.0	6.8	10.7	10.8	7.3

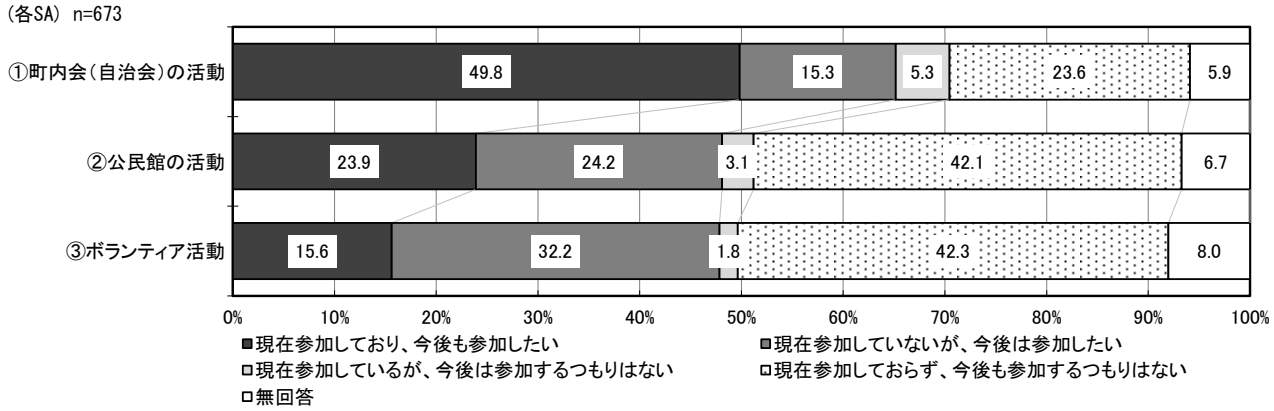
6　コミュニティ活動、参画、協働についておたずねします。

問 16　あなたの現在の各活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。
(SA)

①町内会(自治会)の活動については、「現在参加しており、今後も参加したい」が 49.8%で最も高く、次いで「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 23.6%で続いています。

②公民館の活動については、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 42.1%で最も高く、次いで「現在参加していないが、今後は参加したい」が 24.2%で続いています。

③ボランティア活動については、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 42.3%で最も高く、次いで「現在参加していないが、今後は参加したい」が 32.2%で続いています。



【①町内会の活動参加意向　×　年齢　クロス集計】

“30 歳未満”で、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
現在参加しており、今後も参加したい	49.8	16.4	45.9	50.0	51.2	63.5	61.3	43.1
現在参加していないが、今後は参加したい	15.3	29.1	15.3	21.9	14.9	13.5	8.8	5.9
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	5.3	3.6	3.5	6.3	6.6	5.2	7.3	3.9
現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	23.6	50.9	34.1	18.8	21.5	11.5	17.5	31.4
無回答	5.9	－	1.2	3.1	5.8	6.3	5.1	15.7

【①町内会の活動参加意向　×　エリア　クロス集計】

“鏡野”で、「現在参加しており、今後も参加したい」が比較的低くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
現在参加しており、今後も参加したい	49.8	49.1	60.7	51.4	63.4
現在参加していないが、今後は参加したい	15.3	16.2	10.7	16.2	4.9
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	5.3	5.9	7.1	2.7	－
現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	23.6	24.0	17.9	18.9	26.8
無回答	5.9	4.8	3.6	10.8	4.9

【②公民館の活動参加意向　×　年齢　クロス集計】

“50 歳代以下”で、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
現在参加しており、今後も参加したい	23.9	5.5	14.1	20.8	17.4	24.0	40.9	37.3
現在参加していないが、今後は参加したい	24.2	21.8	28.2	24.0	32.2	31.3	16.8	9.8
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	3.1	－	1.2	2.1	1.7	7.3	5.1	3.9
現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	42.1	72.7	54.1	50.0	44.6	30.2	29.2	33.3
無回答	6.7	－	2.4	3.1	4.1	7.3	8.0	15.7

【②公民館の活動参加意向　×　エリア　クロス集計】

“奥津”“富”では、「現在参加しており、今後も参加したい」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
現在参加しており、今後も参加したい	23.9	22.0	32.1	27.0	41.5
現在参加していないが、今後は参加したい	24.2	24.2	25.0	35.1	22.0
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	3.1	3.7	3.6	－	－
現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	42.1	44.5	35.7	29.7	31.7
無回答	6.7	5.7	3.6	8.1	4.9

【③ボランティア活動参加意向　×　年齢　クロス集計】

“50 歳代”“60 歳代”で、「現在参加していないが、今後は参加したい」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
現在参加しており、今後も参加したい	15.6	1.8	10.6	15.6	15.7	15.6	26.3	15.7
現在参加していないが、今後は参加したい	32.2	29.1	31.8	36.5	43.8	38.5	21.9	15.7
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	1.8	－	2.4	－	－	5.2	2.9	2.0
現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	42.3	67.3	52.9	46.9	36.4	30.2	38.7	45.1
無回答	8.0	1.8	2.4	1.0	4.1	10.4	10.2	21.6

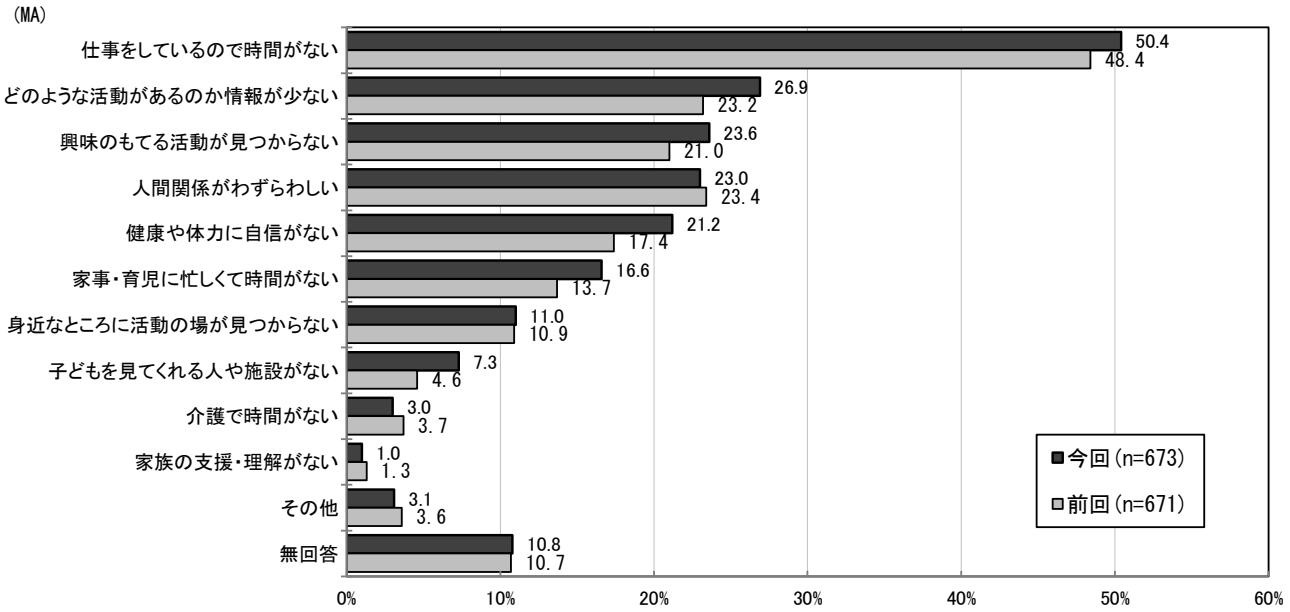
【③ボランティア活動参加意向　×　エリア　クロス集計】

“上齋原”で、「現在参加していないが、今後は参加したい」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
現在参加しており、今後も参加したい	15.6	15.3	10.7	18.9	19.5
現在参加していないが、今後は参加したい	32.2	31.4	39.3	45.9	31.7
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	1.8	2.0	－	－	2.4
現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	42.3	44.8	42.9	24.3	36.6
無回答	8.0	6.5	7.1	10.8	9.8

問 17　あなたは、地域活動に参加する上で、支障になることがありますか。(MA)

「仕事をしているので時間がない」が 50.4%で突出しています。「どのような活動があるのか情報が少ない」が 26.9%、「興味のもてる活動が見つからない」が 23.6%で続いています。
前回と同様の傾向となっています。



その他回答 （類似回答数）	
特になし　2	地元の人がメインで入りにくい
あの世行き近し	知らないことが多すぎて
田舎特有の男性社会が続いている	世話人が固定化している
運転免許証がない	単身で家事全てをしていて時間が少ない
現在鏡野にいないので	近くのこども園に入園できずとても不便
高齢で足の便がない	可能な限り参加しています
時間がない	学校ある
自分がだんだん年がいくので	役人が息子の就職活動に妨害をかける

【地域活動での支障　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「家事・育児に忙しくて時間がない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
仕事をしているので時間がない	50.4	56.4	75.3	77.1	77.7	38.5	19.0	2.0
どのような活動があるのか情報が少ない	26.9	29.1	34.1	33.3	28.1	31.3	21.2	7.8
興味のもてる活動が見つからない	23.6	27.3	22.4	29.2	26.4	26.0	21.9	9.8
人間関係がわずらわしい	23.0	20.0	27.1	31.3	28.1	24.0	17.5	5.9
健康や体力に自信がない	21.2	5.5	3.5	10.4	19.0	26.0	36.5	45.1
家事・育児に忙しくて時間がない	16.6	21.8	55.3	31.3	13.2	2.1	2.2	－
身近なところに活動の場が見つからない	11.0	14.5	8.2	10.4	9.1	13.5	12.4	9.8
子どもを見てくれる人や施設がない	7.3	7.3	36.5	10.4	1.7	1.0	－	－
介護で時間がない	3.0	1.8	－	3.1	4.1	5.2	2.2	2.0
家族の支援・理解がない	1.0	1.8	2.4	－	2.5	－	0.7	－
その他	3.1	7.3	1.2	1.0	0.8	3.1	3.6	7.8
無回答	10.8	1.8	－	5.2	5.0	8.3	20.4	31.4

【地域活動での支障　×　エリア　クロス集計】

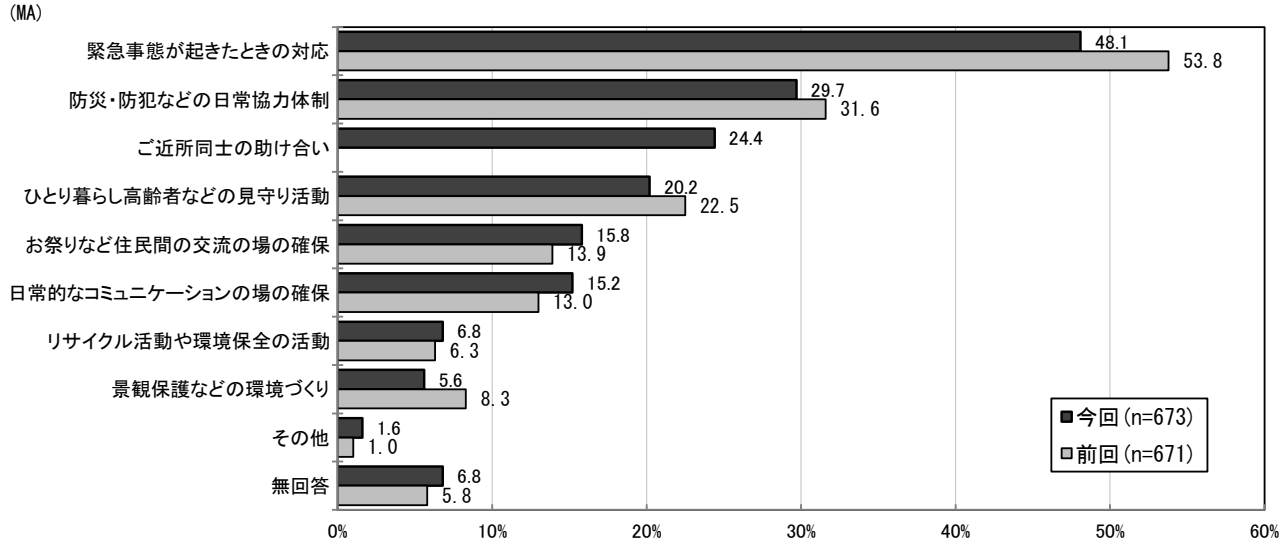
“奥津”で、「人間関係がわずらわしい」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
仕事をしているので時間がない	50.4	50.9	39.3	54.1	51.2
どのような活動があるのか情報が少ない	26.9	28.6	14.3	21.6	26.8
興味のもてる活動が見つからない	23.6	25.6	10.7	18.9	19.5
人間関係がわずらわしい	23.0	23.4	21.4	16.2	22.0
健康や体力に自信がない	21.2	21.2	17.9	18.9	31.7
家事・育児に忙しくて時間がない	16.6	19.0	7.1	5.4	7.3
身近なところに活動の場が見つからない	11.0	11.1	14.3	13.5	7.3
子どもを見てくれる人や施設がない	7.3	8.9	－	－	2.4
介護で時間がない	3.0	3.0	－	2.7	2.4
家族の支援・理解がない	1.0	0.7	3.6	－	4.9
その他	3.1	2.6	10.7	5.4	2.4
無回答	10.8	10.1	7.1	13.5	9.8

問 18　あなたは、自治会などご自身の地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。(MA)

「緊急事態が起きたときの対応」が 48.1%で最も高くなっています。次いで「防災・防犯などの日常協力体制」が 29.7%、「ご近所同士の助け合い」が 24.4%で続いています。

前回と同様の傾向となっています。



※前回調査では「ご近所同士の助け合い」の選択肢はありません。

その他回答 （類似回答数）			
特に期待していない	3	伝統行事の伝承	
上記のことをしたいが人が集まらない		不参加でも何も言わないでほしい	
そもそも役場が自治会に頼ろうとしている ことがおかしい		募金を押し付けられないこと	
多様性への理解			

【地域コミュニティに期待すること　×　年齢　クロス集計】

“30 歳未満”で、「お祭りなど住民間の交流の場の確保」が比較的高くなっています。
“80 歳以上”で、「ご近所同士の助け合い」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
緊急事態が起きたときの対応	48.1	50.9	52.9	47.9	43.8	53.1	48.2	39.2
防災・防犯などの日常協力体制	29.7	10.9	36.5	41.7	35.5	30.2	23.4	15.7
ご近所同士の助け合い	24.4	27.3	23.5	15.6	27.3	19.8	27.7	35.3
ひとり暮らし高齢者などの見守り活動	20.2	12.7	10.6	20.8	22.3	24.0	21.9	31.4
お祭りなど住民間の交流の場の確保	15.8	30.9	18.8	24.0	14.9	10.4	12.4	2.0
日常的なコミュニケーションの場の確保	15.2	10.9	17.6	12.5	14.0	15.6	21.9	9.8
リサイクル活動や環境保全の活動	6.8	5.5	5.9	3.1	5.8	10.4	7.3	9.8
景観保護などの環境づくり	5.6	5.5	1.2	9.4	5.0	7.3	8.0	2.0
その他	1.6	1.8	1.2	3.1	2.5	1.0	0.7	－
無回答	6.8	3.6	3.5	3.1	6.6	6.3	7.3	17.6

【地域コミュニティに期待すること　×　エリア　クロス集計】

“上齋原”で、「防災・防犯などの日常協力体制」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
緊急事態が起きたときの対応	48.1	49.8	50.0	45.9	36.6
防災・防犯などの日常協力体制	29.7	29.3	25.0	40.5	31.7
ご近所同士の助け合い	24.4	24.5	25.0	27.0	22.0
ひとり暮らし高齢者などの見守り活動	20.2	19.7	14.3	24.3	26.8
お祭りなど住民間の交流の場の確保	15.8	17.0	14.3	10.8	4.9
日常的なコミュニケーションの場の確保	15.2	15.1	21.4	13.5	19.5
リサイクル活動や環境保全の活動	6.8	7.0	3.6	2.7	9.8
景観保護などの環境づくり	5.6	5.0	－	8.1	14.6
その他	1.6	1.1	7.1	－	4.9
無回答	6.8	6.5	7.1	2.7	7.3

問 19　あなたは、次の①～④ことについて、どのようにお考えですか。(SA)

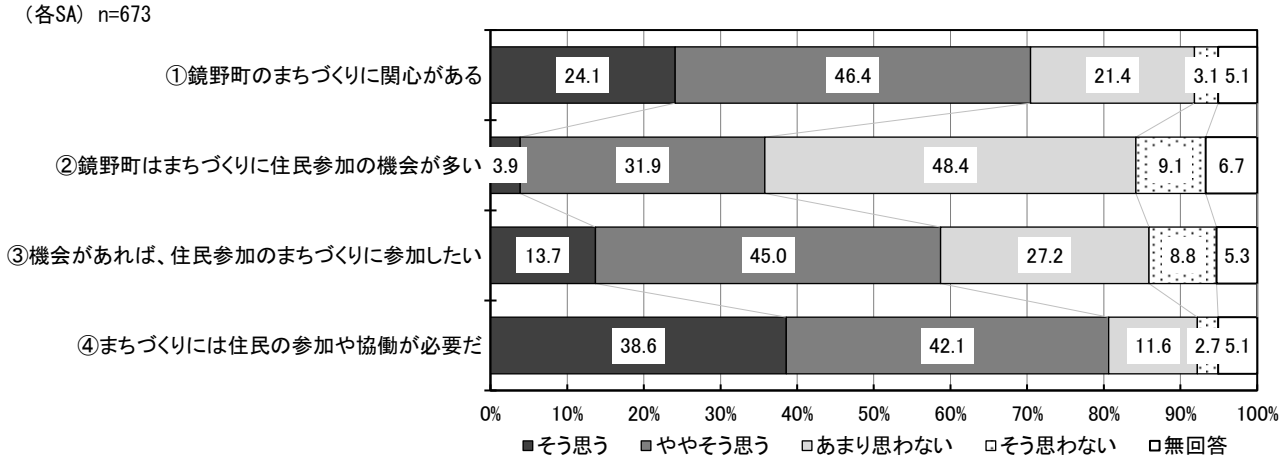
①まちづくりへの関心については、「ややそう思う」が 46.4%で最も高く、次いで「そう思う」が 24.1%、「あまり思わない」が 21.4%で続いています。

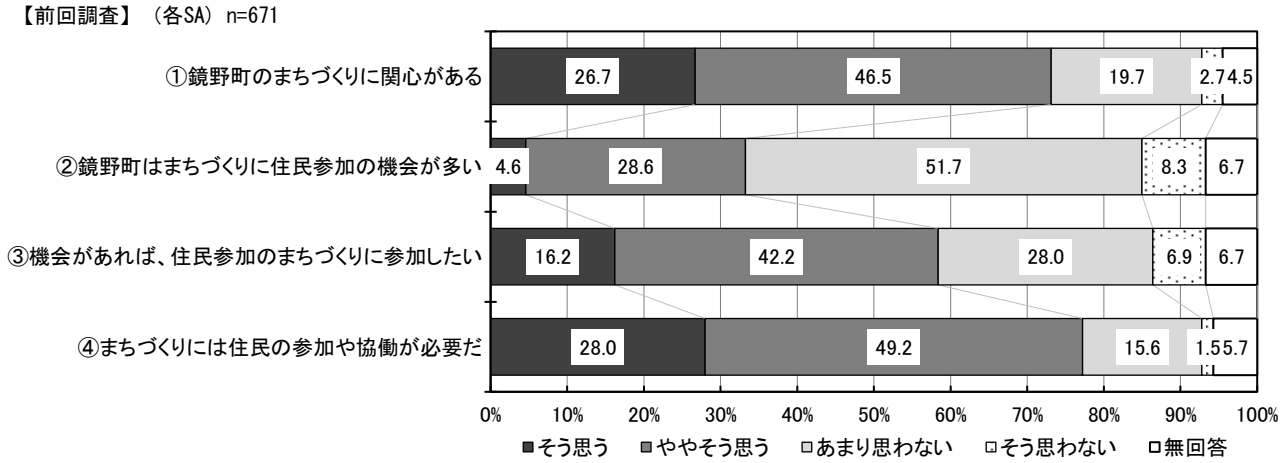
②住民参加の機会が多いについては、「あまり思わない」が 48.4%で最も高く、次いで「ややそう思う」が 31.9%、「そう思わない」が 9.1%で続いています。

③機会があればまちづくりに参加したいについては、「ややそう思う」が 45.0%で最も高く、次いで「あまり思わない」が 27.2%、「そう思う」が 13.7%で続いています。

④まちづくりには協働が必要だについては、「ややそう思う」が 42.1%で最も高く、次いで「そう思う」が 38.6%、「あまり思わない」が 11.6%で続いています。

前回に比べて、④まちづくりには協働が必要だにおける「そう思う」が増加しています。





【①まちづくりへの関心　×　年齢　クロス集計】

すべての年代で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて7割前後となっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
そう思う	24.1	18.2	25.9	30.2	19.8	17.7	27.7	31.4
ややそう思う	46.4	52.7	44.7	41.7	47.1	55.2	44.5	37.3
あまり思わない	21.4	21.8	25.9	22.9	24.0	25.0	18.2	13.7
そう思わない	3.1	7.3	2.4	3.1	5.0	1.0	1.5	5.9
無回答	5.1	－	1.2	2.1	4.1	1.0	8.0	11.8

【①まちづくりへの関心　×　エリア　クロス集計】

“富”で、「そう思う」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
そう思う	24.1	24.5	17.9	24.3	29.3
ややそう思う	46.4	45.9	57.1	51.4	39.0
あまり思わない	21.4	23.1	10.7	18.9	14.6
そう思わない	3.1	3.0	3.6	－	7.3
無回答	5.1	3.5	10.7	5.4	9.8

【②住民参加の機会　×　年齢　クロス集計】

“30 歳未満”“80 歳以上”で、「そう思わない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
そう思う	3.9	7.3	4.7	2.1	2.5	2.1	5.1	5.9
ややそう思う	31.9	29.1	36.5	41.7	38.8	32.3	20.4	25.5
あまり思わない	48.4	49.1	48.2	42.7	43.0	58.3	56.9	37.3
そう思わない	9.1	12.7	9.4	9.4	10.7	5.2	7.3	15.7
無回答	6.7	1.8	1.2	4.2	5.0	2.1	10.2	15.7

【②住民参加の機会　×　エリア　クロス集計】

“鏡野”で、「そう思わない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
そう思う	3.9	3.9	－	5.4	7.3
ややそう思う	31.9	31.2	39.3	35.1	34.1
あまり思わない	48.4	50.2	46.4	48.6	39.0
そう思わない	9.1	10.0	3.6	2.7	7.3
無回答	6.7	4.8	10.7	8.1	12.2

【③まちづくりへの参加意向　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代以下”で、「そう思わない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
そう思う	13.7	12.7	16.5	13.5	10.7	15.6	13.1	15.7
ややそう思う	45.0	54.5	37.6	45.8	47.1	42.7	51.8	33.3
あまり思わない	27.2	20.0	31.8	26.0	28.9	32.3	23.4	27.5
そう思わない	8.8	12.7	12.9	11.5	9.9	7.3	2.9	9.8
無回答	5.3	－	1.2	3.1	3.3	2.1	8.8	13.7

【③まちづくりへの参加意向　×　エリア　クロス集計】

“富”で、「そう思う」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
そう思う	13.7	13.1	17.9	10.8	24.4
ややそう思う	45.0	44.8	42.9	62.2	39.0
あまり思わない	27.2	29.2	17.9	21.6	17.1
そう思わない	8.8	9.2	10.7	－	7.3
無回答	5.3	3.7	10.7	5.4	12.2

【④協働の必要性　×　年齢　クロス集計】

“70 歳代以上”で、「そう思う」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
そう思う	38.6	32.7	35.3	37.5	34.7	38.5	48.9	43.1
ややそう思う	42.1	54.5	44.7	42.7	43.8	47.9	36.5	25.5
あまり思わない	11.6	7.3	16.5	13.5	13.2	11.5	8.0	11.8
そう思わない	2.7	5.5	2.4	2.1	5.0	1.0	－	5.9
無回答	5.1	－	1.2	4.2	3.3	1.0	6.6	13.7

【④協働の必要性　×　エリア　クロス集計】

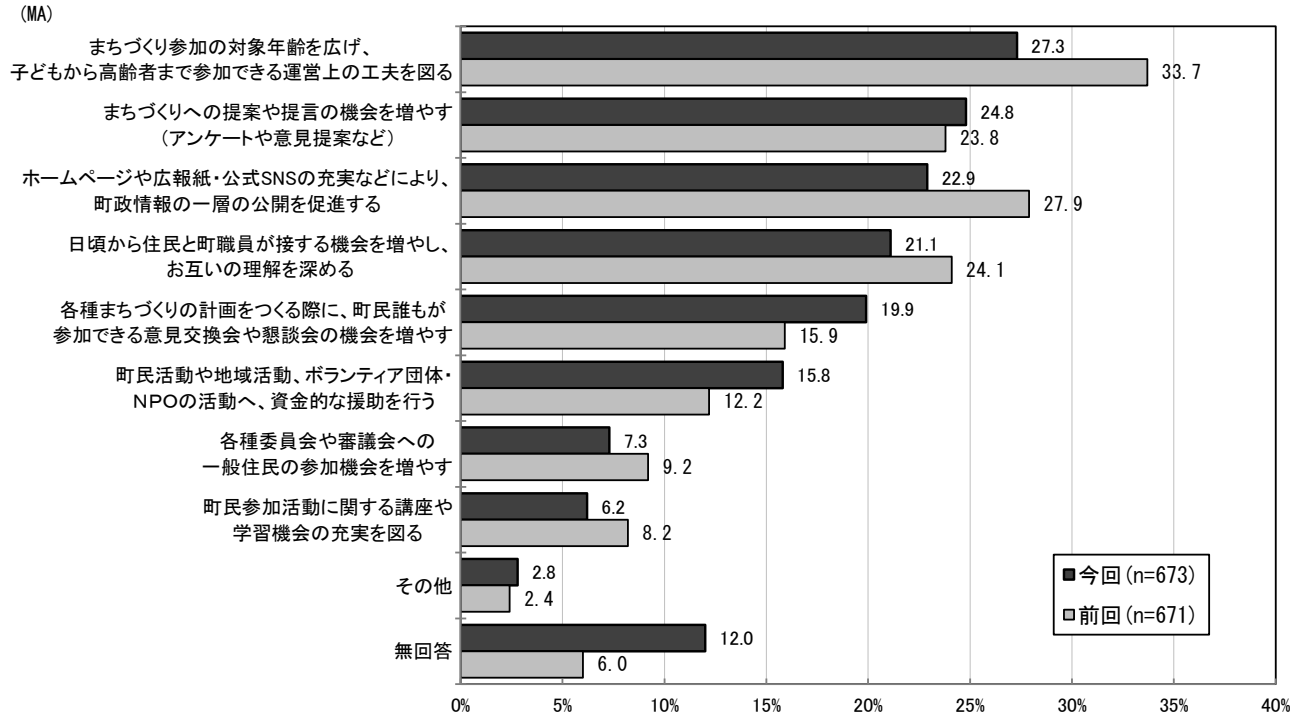
“上齋原”で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて 91.9%と比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
そう思う	38.6	39.5	42.9	35.1	39.0
ややそう思う	42.1	42.1	39.3	56.8	29.3
あまり思わない	11.6	12.2	3.6	5.4	14.6
そう思わない	2.7	2.8	3.6	－	4.9
無回答	5.1	3.5	10.7	2.7	12.2

問 20　あなたは、まちづくりへの住民参加の手法として、どのような取組が必要だと思いますか。(MA)

「まちづくり参加の対象年齢を広げ、子どもから高齢者まで参加できる運営上の工夫を図る」が 27.3%で最も高くなっています。次いで「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす(アンケートや意見提案など)」が 24.8%、「ホームページや広報紙・公式 SNS の充実などにより、町政情報の一層の公開を促進する」が 22.9%で続いています。

前回に比べて、「まちづくり参加の対象年齢を広げ、子どもから高齢者まで参加できる運営上の工夫を図る」や「ホームページや広報紙・公式 SNS の充実などにより、町政情報の一層の公開を促進する」が減少しています。



その他回答
ID 発行して、携帯などで参加できるようにしたほうがよい
インターネットでのアンケート
お金
各地域で開催する
各地域のボランティアグループを年に1回程度表彰してはどうだろうか
広報誌を賃貸のアパートなどにも配布して活動を呼びかけてほしい
高齢者で参加できない
自分はもう参加できないと思う
まず、役人がまちづくりに積極的に参加するべき
役場の職員は親切
やる、やらないことについて、自由に選択できる
わからない。やりたい人がやればよいと思う
私は役場の人間だ、という顔をしない
募金を絡ませないこと

【まちづくり参加に必要な取組　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
まちづくり参加の対象年齢を広げ、子どもから高齢者まで参加できる運営上の工夫を図る	27.3	34.5	21.2	29.2	28.9	31.3	24.8	17.6
まちづくりへの提案や提言の機会を増やす（アンケートや意見提案など）	24.8	29.1	45.9	30.2	17.4	16.7	24.1	15.7
ホームページや広報紙・公式SNSの充実などにより、町政情報の一層の公開を促進する	22.9	20.0	36.5	20.8	29.8	17.7	20.4	11.8
日頃から住民と町職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める	21.1	20.0	24.7	17.7	22.3	17.7	19.7	33.3
各種まちづくりの計画をつくる際に、町民誰もが参加できる意見交換会や懇談会の機会を増やす	19.9	9.1	18.8	22.9	15.7	20.8	24.1	25.5
町民活動や地域活動、ボランティア団体・NPOの活動へ、資金的な援助を行う	15.8	10.9	14.1	22.9	15.7	19.8	15.3	9.8
各種委員会や審議会への一般住民の参加機会を増やす	7.3	7.3	2.4	9.4	7.4	12.5	5.8	5.9
町民参加活動に関する講座や学習機会の充実を図る	6.2	－	1.2	4.2	9.1	12.5	7.3	5.9
その他	2.8	－	4.7	3.1	2.5	3.1	2.9	2.0
無回答	12.0	9.1	3.5	8.3	11.6	11.5	13.9	23.5

【まちづくり参加に必要な取組　×　エリア　クロス集計】

“奥津”で、「日頃から住民と町職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める」が比較的高くなっています。

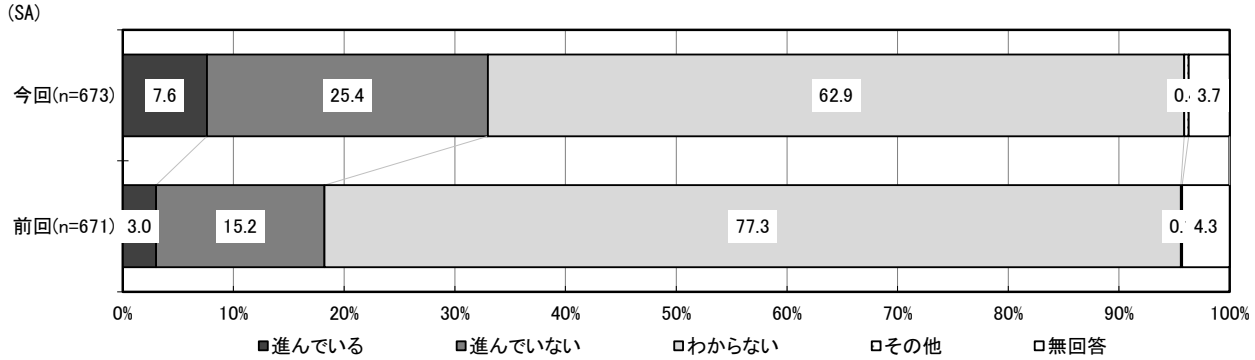
“上齋原”で、「各種まちづくりの計画をつくる際に、町民誰もが参加できる意見交換会や懇談会の機会を増やす」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
まちづくり参加の対象年齢を広げ、子どもから高齢者まで参加できる運営上の工夫を図る	27.3	28.4	14.3	13.5	31.7
まちづくりへの提案や提言の機会を増やす（アンケートや意見提案など）	24.8	26.0	21.4	24.3	22.0
ホームページや広報紙・公式SNSの充実などにより、町政情報の一層の公開を促進する	22.9	24.2	17.9	13.5	26.8
日頃から住民と町職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める	21.1	21.8	28.6	10.8	17.1
各種まちづくりの計画をつくる際に、町民誰もが参加できる意見交換会や懇談会の機会を増やす	19.9	17.9	14.3	40.5	31.7
町民活動や地域活動、ボランティア団体・NPOの活動へ、資金的な援助を行う	15.8	16.4	7.1	16.2	14.6
各種委員会や審議会への一般住民の参加機会を増やす	7.3	7.4	7.1	2.7	14.6
町民参加活動に関する講座や学習機会の充実を図る	6.2	6.5	7.1	8.1	4.9
その他	2.8	2.6	7.1	2.7	2.4
無回答	12.0	10.5	21.4	16.2	9.8

7　地方創生の取組についておたずねします。

問 21　鏡野町の地方創生施策は進んでいると感じますか。(SA)

「わからない」が 62.9%を占めています。
前回に比べて、「進んでいる」も「進んでいない」も増加し、「わからない」が減少しています。



その他回答
これまでは進んでいたように思うが他市町に追い抜かれたように感じる
特区制度を指定すること

【地方創生施策の進捗　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「進んでいない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
進んでいる	7.6	12.7	11.8	8.3	5.0	3.1	6.6	13.7
進んでいない	25.4	27.3	34.1	30.2	27.3	25.0	19.7	13.7
わからない	62.9	60.0	52.9	59.4	66.1	65.6	67.2	66.7
その他	0.4	－	1.2	－	0.8	1.0	－	－
無回答	3.7	－	－	2.1	0.8	5.2	6.6	5.9

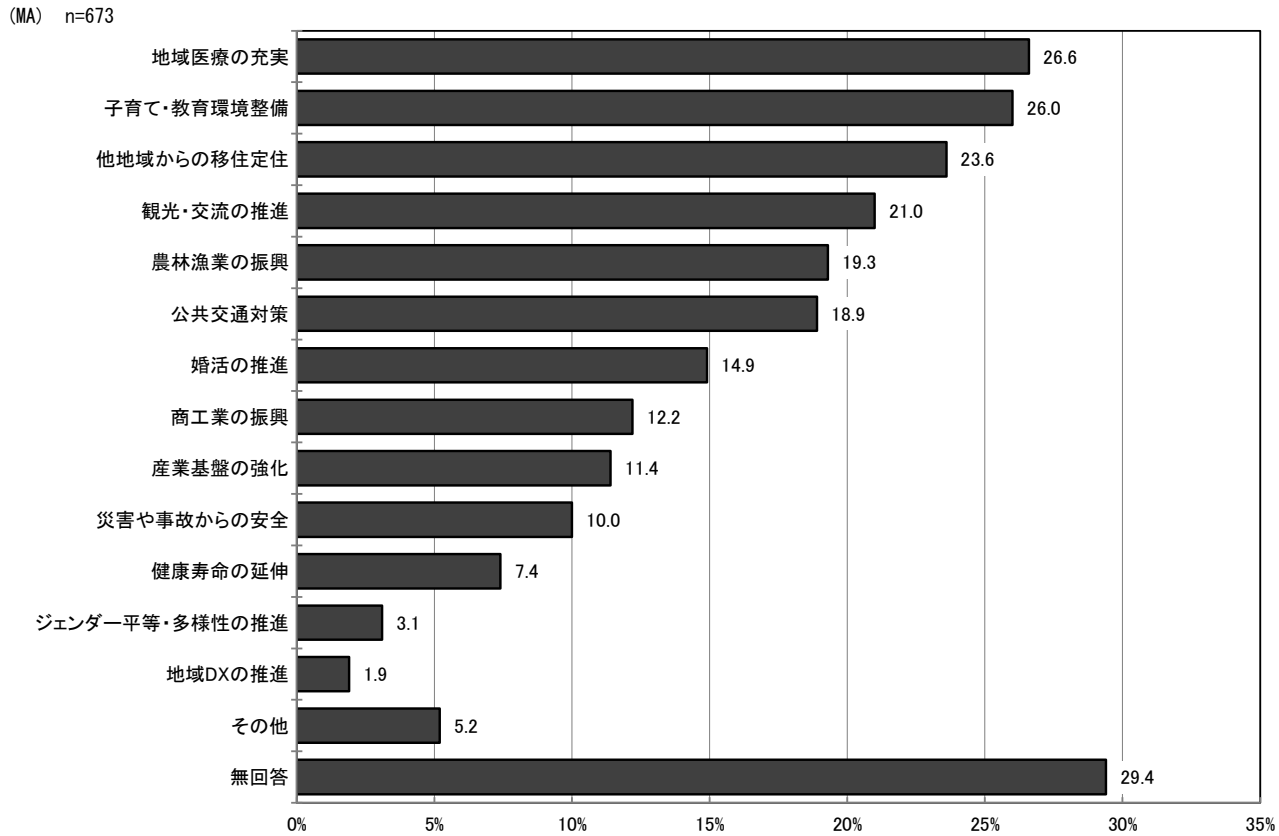
【地方創生施策の進捗　×　エリア　クロス集計】

“奥津”で、「進んでいない」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
進んでいる	7.6	8.1	－	8.1	7.3
進んでいない	25.4	24.9	39.3	32.4	19.5
わからない	62.9	63.8	46.4	56.8	70.7
その他	0.4	0.4	3.6	－	－
無回答	3.7	2.8	10.7	2.7	2.4

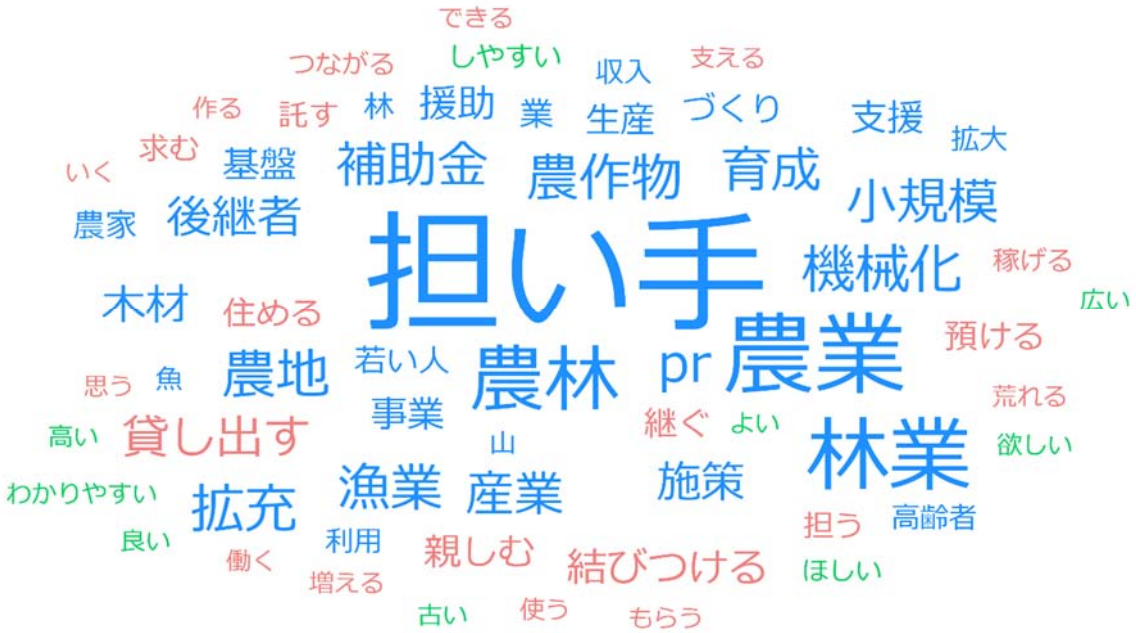
問 22　鏡野町ではどんな地方創生施策・人口減少対策を行うとよいと思いますか。(MA)

「地域医療の充実」が 26.6%で最も高くなっています。次いで「子育て・教育環境整備」が 26.0%、「他地域からの移住定住」が 23.6%で続いています。



1. 農林漁業の振興についての追加回答

＜ワードクラウド＞

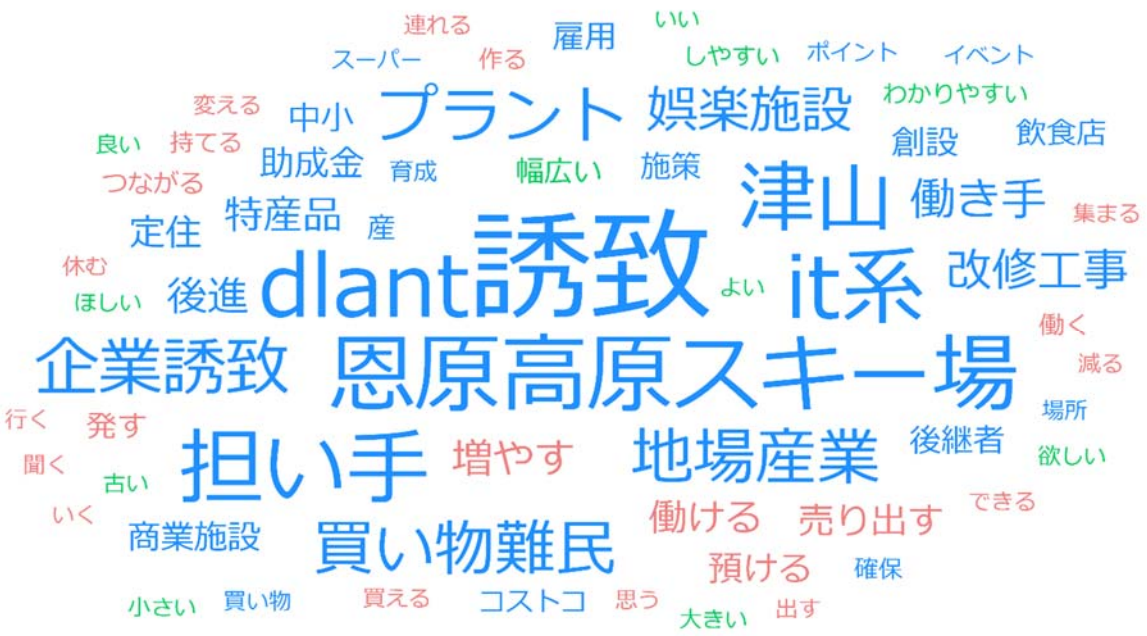


1．農林漁業の振興についての追加回答	
＜AI による要約＞	
若者の農林業参入を促進する施策	農業の機械化と効率化の推進
農業機械のリース制度の導入	農業の自給率向上への取り組み
農地の有効活用と貸出制度	農業の収支改善と国の支援
小規模農家への支援と補助金	農業の労働対価の適正化
農業の担い手育成と後継者確保	農業の特産物創製とブランド化
林業振興と CLT 技術の普及	農業の環境整備と支援体制
農業の収入向上と生活保障	農業の安定収入と就業者増加
地域資源を活用した産業振興	農業の食の安全と広報活動
農業と観光の連携による活性化	農業の耕作放棄地対策の強化
農林業の魅力を若者に伝える	農業の地域資源の有効活用
ジェンダー平等・多様性の推進につながる。1次産業の育成、サポート。	
空き地の貸出	
安定した収入により就業者が増えるようにする	
猪、鹿対策、農業の担い手	
営農組織の強化、補助金など、就業の場にもなる	
家族の小規模な農家支援	
家族の小さな農、林、漁業でも採算が取れるようにしてほしい	
環境整備も重要	
近年の建築物は木材にスポットが当たっている様子。町内の木材を使用した施設、備品生産	
渓流魚の繁殖など	
後進の育成	
子育てしている人でも子どもを預け働くことができる場を作ること。休んだり預けることができなくても、一緒に連れて働くことができればよい。理解があるとよい	
魚などの産物の町へ導入拡大	
自給率を上げる取り組みをしてほしい	
集約農業の推進を早期に進める	
小規模農業者に対しても機械化の援助がほしい	
食の安全を前面に出した農作物の生産、ブランド化、広報	
それぞれの産業を体験、親しんでもらう企画をする	
たくさんの農地があるが、高齢者で荒れ地になっていっている。この土地を使って産業を起こしていくことも大切かなと思う	
淡水魚の漁業（養殖）の基盤を作る	
地域が荒れると住民が住めない	
地域で耕作放棄地が増えないような対策を早めにする事業	
地方の資源の有効化	
使っていない田んぼの利用、山や林など手入れの仕方	
特産物の創製	
特長を抽出し町民への PR	
どんなことに力を入れているのか、わかりやすく簡単に理解しやすくしてもっと広く知ってもらう	
担い手、機械化	

1．農林漁業の振興についての追加回答
担い手、後継者の育成。現役とのマッチングをしっかり行ってほしい
担い手の育成
担い手の育成
担い手の充実、補助金の充実
担い手の人にどのような施策が必要か聞いたらよいのではないだろうか
農家の収支は毎年赤字だ。国土を保全している。国民の主食を生産している。国全体で支えてほしい
農業、林業と続けていくことのできない世代となっていくのは避けられないと思う。多くのその田畑、山を誰かに託す時、ハードルが高い行政問題があると思う
農業、林業は衰退の一途。増える放棄地の活用。観光と結びつけるなど。阪神地区あたりの都市生活者の市民農園的な存在になる
農業機械などがリースできるようになればよいと思う
農業で生活ができるほどの収入がほしい
農業において、水路、農道などの継続に対する支援
農業の拡充、支援
農業の担い手づくり。また町営農場を作る
農作物を自由に売れるマルシェがあるとよいと思う
農地の管理事業、後継者がいない
農用地の利用拡大
農林業の活性化や楽しさを若者に伝える
バイオマス発電設備の拡充
山仕事、畑、稲作り、高齢化、高額な機械が古くなり故障など、後を継ぐ若い人の育成や保障
遊休農地などの利活用を。耕作してもらうために町が貸し出して、利用できるようにしてはどうだろうか また、機械購入補助金の創設
林業を基盤としたまちづくり
労働対価が見合わない
若い人がいないので増やしてほしい
休耕地等の活用、個人から会社組織へ
給料補償
鏡野町ブランド米生産
高齢者農業支援、小規模農業の援助
山林事業
若者が農林業に定着するような施策を。
食料の安定供給を担う農林漁業従事者の所得を保証する
担い手の育成
担い手育成
中山間地域の農業
農業、林業の有効活用
農業しやすい環境をつくる
農業地を利用して稼げる仕組みづくり。
農薬、遺伝子組み換え排除

1．農林漁業の振興についての追加回答
農林業の拡充
補助金支援
本気で考え、リードしてくれるプロにアドバイスを求む
夢広場はとても良い。新鮮な魚や肉が買えるスーパーや市場が欲しい
林業振興を強化、CLT技術の普及・PR、商品化

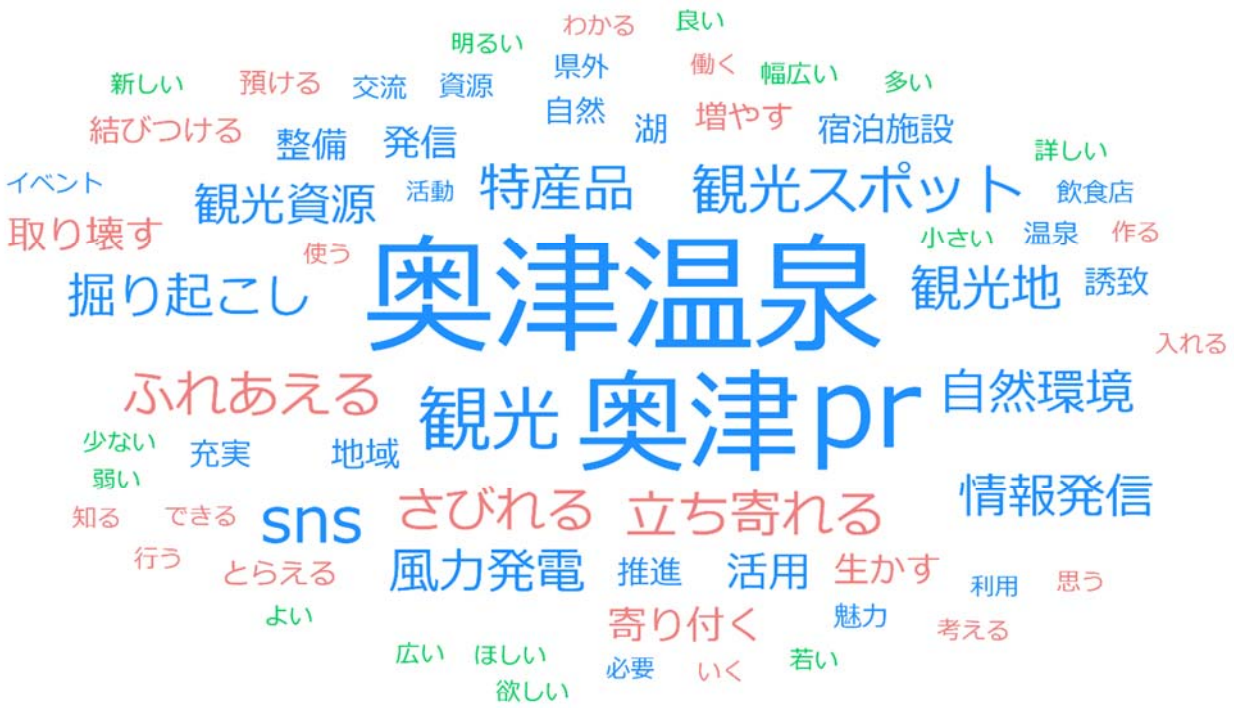
2. 商工業の振興についての追加回答
＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞	
働き口の増加と雇用の確保	特産品の魅力発信と開発
地場産業の支援と企業誘致	若者向けの施設や店舗の充実
買い物ポイント制度の導入	補助金や助成金の適正配分
商業施設や飲食店の増設	娯楽施設の誘致と設立
子育て支援と働く場の提供	後継者の育成とマッチング

農林漁業からの商工業、鏡野町産の～があるといいと思う。
IT 系など産業の誘致
飲食店のエリアを作り、出店しやすい環境を作る。ラーメンやうどん、カレーなどであれば、津山からも客は来ると思う
お店増やして。
買い物難民の解消
企業誘致
後進の育成
国内メーカーの工場を誘致する。コストコのようなストアを
子育てしている人でも子どもを預け働くことができる場を作ること。休んだり預けることができなくても、一緒に連れて働くことができればよい。理解があるとよい
商業、工業などのイベント、高校、大学などと提携したイベント
食事ができる場を増やす
助成金を適正なところへ気軽に
ショッピングモールなどを作る
スーパーDLANT5 があるが、その周りに人が集まる店があればよいと思う
小さく小出しにいろいろな物を出すのではなく、何を一番売り出したいのかをもっと明確にわかりやすくする

２．商工業の振興についての追加回答
中小の店や会社がこれ以上減らないように、希望が持てるように
特産品の魅力をもっと発し、アピールできるものを開発。３、観光、交流の推進、４、他地域からの移住定住につながる
担い手、後継者の育成。現役とのマッチングをしっかり行ってほしい
担い手の人にどのような施策が必要か聞いたらよいのではないだろうか
幅広い世代が行きたいと思う施設、商業施設、カフェ、コストコ、コンビニ
プラントの拡大。商品の種類を増やして、津山まで行かなくてもプラントで全部買えるというくらい大きくしてほしい
古い体質を変えていく
補助金の充実
町独自の買い物ポイントを作って、町内でポイント交換できるようにする
ランチなど飲食店を増やしてほしい
恩原高原スキー場の改修工事
企業の誘致
鏡野町産のブランド
娯楽施設の誘致または設立(カラオケ・映画館・ゲームセンター・室内アトラクションなど)
若い人が働ける場所の確保
若者が買い物するところがない
地場産業の支援、雇用の確保
働き口を増やす
働き手の雇用促進
働く場を
働ける場所の創設
夢広場はとても良い。新鮮な魚や肉が買えるスーパーや市場が欲しい
誘致活動

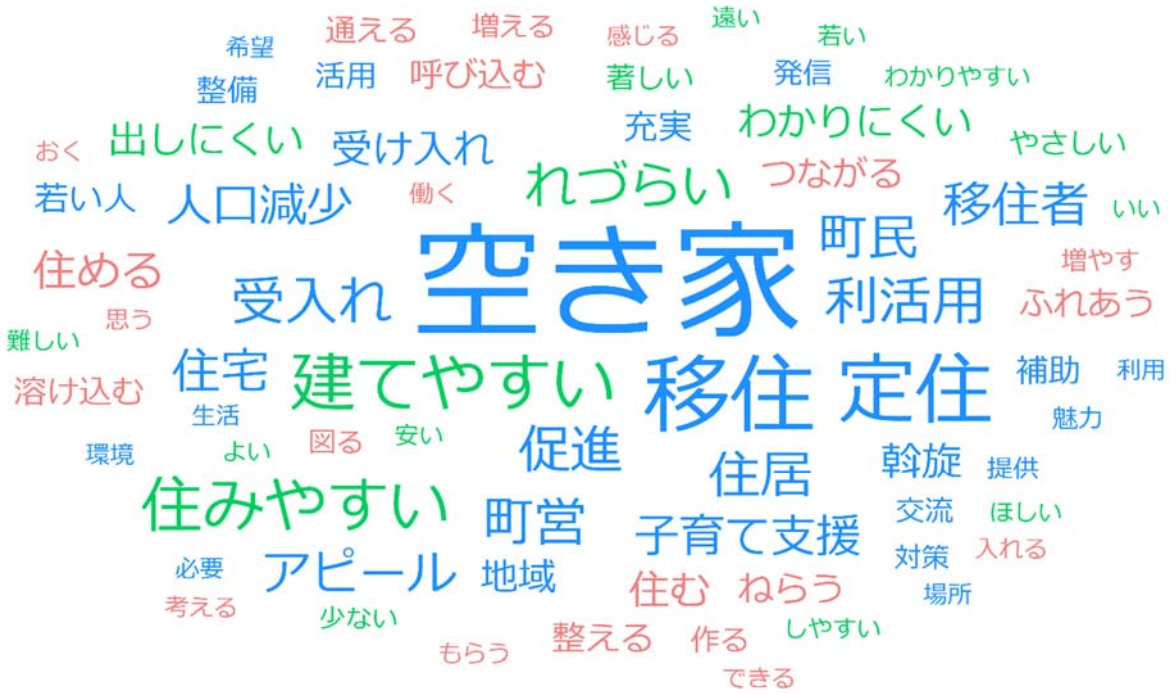
3. 観光・交流の推進についての追加回答
＜ワードクラウド＞ 
＜AI による要約＞ SNS を活用した情報発信の強化 観光地の増設と整備 地域資源の活用と PR 交通アクセスの改善 宿泊施設の充実 飲食店の増設 自然環境を活かした観光 地域交流の促進 観光イベントの開催 特産品の開発とアピール 観光 PR の統一と強化 風力発電の反対意見 文化活動の推進 観光施設のリピート促進 観光客の誘致活動 観光地のブランディング 地域協力隊の活動活発化 観光と農業の連携 観光資源の掘り起こし 観光と交流の場の創出
PR、WEB ベースにもっと力を入れるべき
SNS での発信、観光センターの利用、使いやすさ
SNS による情報発信
SNS 発信。今もしているが、もっと内容を詳しく
SNS を活用して PR する。もっと幅広く、明るく、回数を増やす。スイス国際交流活動を復活し国際交流員を募集する
安易に推進していないだろうか
維持管理をきちんと　災害時も迅速に復旧を　また、きれいな自然を壊し、災害も心配な風力発電の誘致はやめてほしい
茨木市で行っているような都市部との交流の促進
今も情報発信はしていると思うが、SNS をしっかり使いこなしていくことが大切

３．観光・交流の推進についての追加回答
インスタグラムの充実化を行い、町長へのインタビュー（人柄がわかるような） イベントの告知、マルシェの開催（地域の人も町外の人も鏡野を知ることができる）
大きな公園ができたが、周囲に飲食店がない。小さくても家族で利用できるような複合商業施設があればよいと思う
奥津以外にも鏡野のよいところがあるはず。他地域の観光も充実してほしい
奥津温泉周辺がさびれている
奥津温泉の活用
奥津温泉の整備
奥津湖など、観光をもっともっと PR したらよい
奥津湖の花火はするべき、閉館している温泉（大釣温泉）の再開を町がする
奥津地域に限らず、他地域も考えてほしい
奥津やスキー場など有名なところばかりなので。新しいところを発掘する
温泉がせっかくあっても観光場所が少ないと若い人たちはあまり寄り付かないと思う
温泉を上手に使って
鏡野町の自然をもっと PR、発信していくのなら、風力発電は真逆だと思う。安心して暮らせない
観光資源の掘り起こし
観光スポットに食事処が少ないように感じる
観光スポットをもっと作る
観光地は必要か
観光面で観光場所を作り PR する
後進の育成
国民宿舎いつきの早朝取り壊し、および新宿舎の建設をお願いしたい
越畑のもみじがきれいなので整備をしっかりしてほしい
子育てしている人でも子どもを預け働くことができる場を作ること。休んだり預けることができなくても、一緒に連れて働くことができればよい。理解があるとよい
資源を活用し導線的に観光できる
自然環境を活かして。もっと鏡野町に人を呼ぶことができる
自然を生かした観光スポットをもっと増やす。野鳥の保護活動。登山道などの整備増設
自然を生かした都市部からの体験、観光に力を入れる
自然を利用した観光地を増やす
宿泊施設、気軽に立ち寄れる飲食店の充実
せっかくのきれいな自然を生かして特産品やイベントを考える
早急な宿泊施設の再開
他市、他県の人に町の魅力を知ってもらいたい
ただの観光でなく、地元民とふれあえるツアー。インバウンドも。
他の市町に比べて発信力が弱すぎると思う。地域協力隊の活動を活発にしてほしい
地域資源の掘り起こし
地域での文化、学芸員の養成を図る
小さい観光地が少しずついろいろなところにあるので、観光地ではないところも同様に思っている人が意外と多い

３．観光・交流の推進についての追加回答
強みとなる観光素材のブランディングを強化し、広く周知する。観光素材がより魅力的で来町のきっかけになるよう磨き上げる
当町ではお勧めするところがない（温泉の見直し）
特産品の魅力をもっと発し、アピールできるものを開発。３、観光、交流の推進、４、他地域からの移住定住につながる
ドッグランの整備
農に特化し、特産品を作ってほしい。食の充実
農林漁業の振興と結びつける
バス、送迎車など交通機関の確保、奥津温泉街などの活性化、助成
人の集まる拠点づくり
ふるさと村
魅力発信をさらに充実するべき
もっとアピール
もっと観光に力を入れるべきだと思う。かなり中途半端な気がする。交通がいまいちだから、県外の人が来ないと思う
モンベルを活用
豊かな自然を活用できる施設
豊かな自然を大切にしていく
リピートしたくなる観光施設の充実。せっかく温泉があり、観光地にあるにもかかわらず、土日にカフェが休みだったりするので、また来ようと思えないのでは。
レクリエーションセンターのような交流の場を作る
若い県外からの人、海外からの人、旅行者が増えること
一昨年の花火大会は、圧巻で県南の親戚に自慢した位良かった為、継続して欲しい
奥津温泉地域に魅力があるから、もう少し盛り上がるように力を注いでほしい。
奥津湖の花火の復活
温泉等
観光PRがかなり中途半端。統一感が全くなく、方向性がわからない情報発信ではなく、鏡野町の目的を持った統一感あるPRが必要。
観光 PR の充実
観光スポット増やす。ダムの釣り開放
観光環境整備
観光客の誘致
観光地を増やす、川サウナなど
関係人口を増やす
使っていない校舎等の活用、研修、研究施設としての活用
自然環境を活用した観光や交流の場の創出
住民から好きな景色発信
森林資源を観光資源ととらえた事業化の推進
人を呼べる観光事業
入場料無料

3. 観光・交流の推進についての追加回答
魅力ある観光地やイベントをつくる
魅力的な観光施設が必要

4. 他地域からの移住定住についての追加回答
＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞	
空き家の活用促進	移住者への税制優遇
子育て支援の充実	地域コミュニティの形成
移住者への住宅提供	移住者向けの特典提供
地域の魅力発信	自然環境の魅力発信
若者の定住促進	移住者への仕事提供
移住者への補助金	町営住宅の増設
住みやすい環境づくり	移住者向けの交流イベント
地域住民の受け入れ姿勢	移住者への生活支援
移住者向けの情報発信	移住者向けの情報検索
空き家のリフォーム支援	移住者への心のケア

1年、3年などで祝い金
I ターンはもちろん、近隣市町から移住してくるような魅力的な住宅街を作る
PR、WEB ベースにもっと力を入れるべき。物件がわかりにくい
空き家対策
空き家対策として住宅設備を整え移住を進める
空き家などを整備、管理組織を作ったり、ホームステイ先を確保し、交流を図りアピールする
空き家の活用
空き家の活用、土地の無償化、新聞などで宣伝する

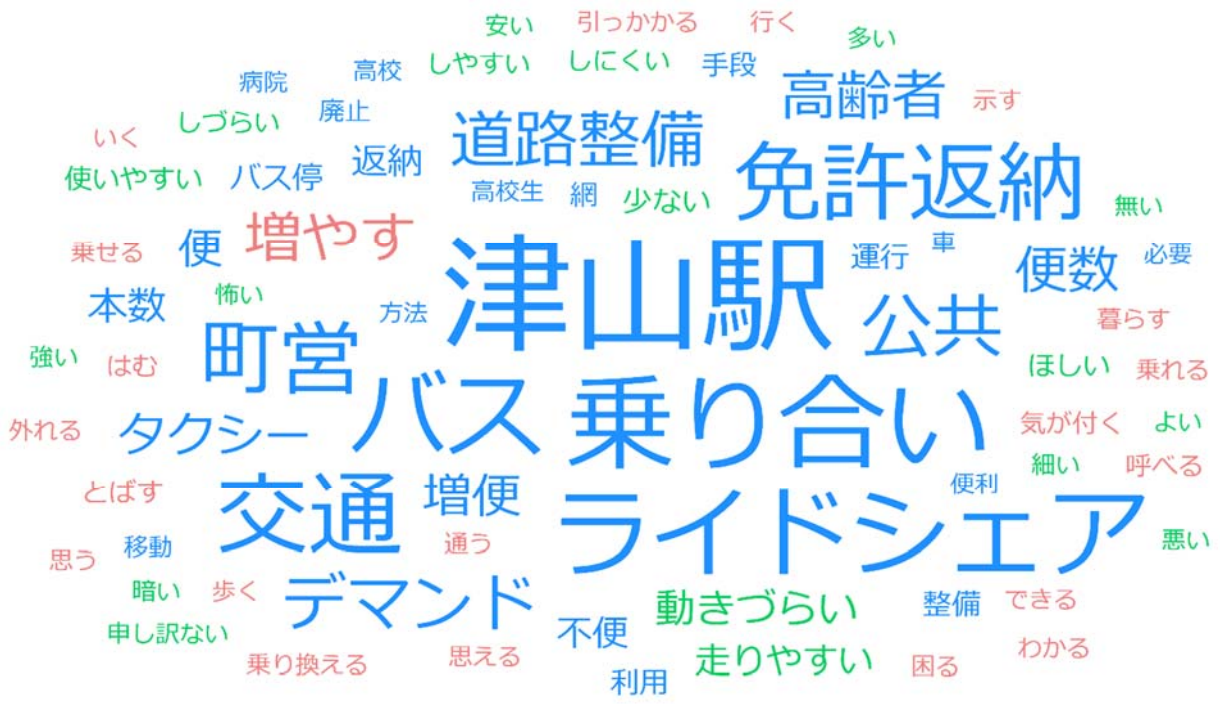
4. 他地域からの移住定住についての追加回答
空き家の情報などを検索するとすぐわかるようにする
空き家の調査、発信
空き家の利活用の方法のハードルを下げる。リフォームの補助や資材補助など
空き家の利活用や移住希望者への斡旋
空き家バンクの一般化、住まいる岡山への登録
空き家への積極的な移住促進
空き家や何も育てていない田んぼや畑の貸出
空き家をリフォームし定住できる施策
移住した時の特典の見直し
移住者へのアピール（子育てには鏡野町はやさしいと思う）
移住するお得感を作る
移住定住促進制度を作る
移住を考えている人は SNS を使って検索していると思うので、HP などを充実させて興味を持ってもらえるようにしてはどうだろうか
受入れ側の心の問題
受入れ環境の整備。移住希望者の希望に沿えるよう、環境を整えておく必要がある
鏡野町に家を建てたいという友人が複数いたが土地がないと言っていた
鏡野町に住めば同性パートナーシップ証明書を発行するなど
鏡野町の目玉を作り、よそへアピールする
県外、遠いところからの移住の人に少しでも補助、助成金のようなものがあると移住してきた人も助かり、移住を考える人も増えるかなと思う 空き家の状態が少しでもよくなるように、持ち主が改修しやすくするなど
子育て支援が充実していることなどをアピールする
子育て支援が充実すれば若い家族が来てくれるのではないだろうか 子育て中の家族が増えると待機児童が増えるので解決してほしい
仕事場、住居などを提供する
自然環境の魅力などを発信。多くある空き家を活用して移住を促進する
市民農園のような週末に都市部から通える田畑や山などを整備。いずれ移住定住につながるかもしれない。現状では住居もない
住居地のアピール。居住家のアピール
住居を提供
住民が増えること
条件を設けて、現金配布
シングルマザーが増え、住むところがないので町営住宅を作ってほしい
住みやすい環境づくりとわかりやすい窓口
住みやすさをアピール
住みやすさをアピールしたい
住んでもらうために空き家の利用促進
税金が安い、自然がよいことをアピール
税制面での考慮

４．他地域からの移住定住についての追加回答
体験者のインタビューを広報だけでなく、ホームページにも掲載する
他町がしているように転入者の住宅を安く提供してほしい
地域住民の受け入れの姿勢
町で宅地を作る
町内に住んで自己実現できる場所と思ってほしい
定住してもらうためには、若い世代を狙うのか、どの世代をねらうのか、はっきりして対策を練るべきだと思う
定年を迎える人を空き家などに斡旋してはどうだろうか、併せて農業も
特産品の魅力をもっと発し、アピールできるものを開発。観光、交流の推進、他地域からの移住定住につながる
溶け込むのは難しいと思うが、活動に参加して生活してもらうとよいと思う
西粟倉村は、移住定住が増えているらしい。子どもが出産増になるよう施策を充実してほしい
働く場、鏡野町に住む特典
働く場所が少ないので工場誘致
働く場所や生活に便利なお店などの充実
冬の除雪で車が外に出しにくくなることがある。雪の少ない地域の人には理解されづらいので、冬の生活についてあらかじめ説明をしっかりしておくべきだと思う
文教地区などにコンパクトシティを作る
ペットにもやさしい地域づくり
町の魅力をもっと発信すべきだと思う
回りの地域も人が少ないところは力を入れてきているので、今までよいとされていた鏡野もわかりにくいし、普通という感じになってきている
家賃の安く県営団地のような町営住宅を増やす
若い人がいないので増やしてほしい
若い人が住めるところを作る
若者の人口流出が、少子化、人口減少につながっていると思うので、他地域からの定住の強化が必要だと感じる
私自身が移住者。外部から受け入れ策を増やす
安全・安心な住みよい町ですと広報活動。
移住起業を考えている方の移住の推進
一軒家が建てやすい環境
引っ越し費用負担　改築費負担
空き家などが少ない
空き家の活用
空き家を住める状態に
空き家を利用、新築支援
空き家対策
空き家対策
行政サービスの充実　補助金等
支援金

４．他地域からの移住定住についての追加回答
若い人の移住
手当
受け入れ体制を整えて、町のいいところを伝える
人口減少が著しい上齋原、富、奥津、越畑等の地域に住むと移住定住促進補助金が出る等。
他地域との競争に勝てるには、１～４、６などで、特化した地域性を出す必要もある。津山圏域とも連携をさらに充実を。
地域支援
田舎独自のコミュニティがあるので、移住者が疎外感を感じないようなコミュニティ作り
旅行や短期の滞在などで、町民と交流して、まるで昔から住んでいたかのような経験をしてもらう、ツアーやイベントや施設をつくる。廃校を利用して、宿泊したり、旅人どうし交流できるカフェや居酒屋を作る。町民も使える高級マッサージ機を入れて、リラックススペースも作る。地域のお祭りやローカルなイベントにも、町外の人を積極的に呼び込んで楽しんでもらう。学校の一日体験入学があれば。とにかく町民とふれあって、どれだけたくさんしゃべる機会を作るかだと思う。

5. 公共交通対策についての追加回答

＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞

公共交通の便数を増やしてほしい	低価格の公共交通を求める
高齢者向けの交通手段が必要	バス停を増やしてほしい
高校生の通学手段を改善してほしい	夜間のタクシー利用が困難
町営バスの利用が不便	デマンド交通の導入を希望
乗り合いタクシーの導入を希望	公共交通の利便性を向上
道路整備を進めてほしい	高齢者の買い物支援が必要
津山駅への直通バスが欲しい	バスの無料化を検討してほしい
バスの本数を増やしてほしい	学生向けの交通手段を整備
ライドシェアの導入を検討	交通手段がないと不便
免許返納後の移動手段が必要	安心して免許返納できる環境

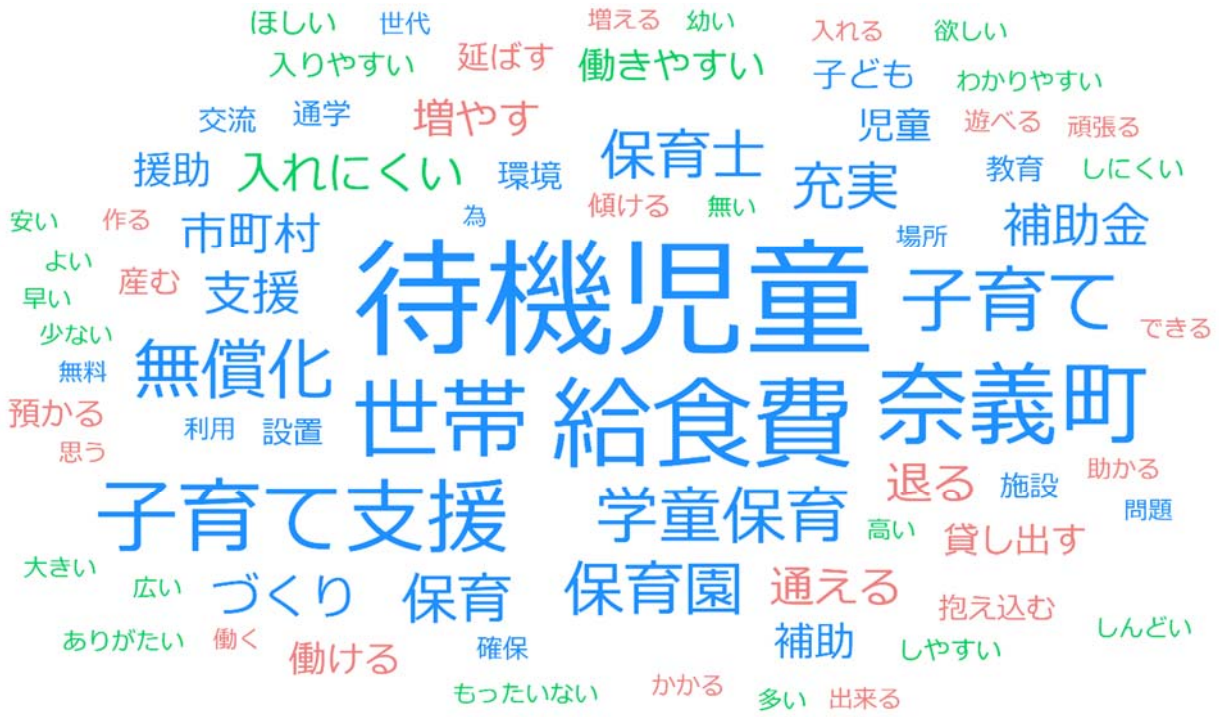
運転ができなくなることが不安である
カーシェアなどに町としても介入
学生（高校生）の通学に便利なバスの手配。今のように乗客空きのバスの運行はむだ。なぜこれがわからないのか。以前から言われているがいまだに何も変わっていない
車が使えない。乗り合って行ける手段、方法
車がないと何もできないので、もう少しバスの便など増やしてほしい
車がないと不便。高齢者や車がない人たちは生活しにくい地域だと思う
車に乗れない高齢者、高校生に便利な時間と場所整備
県道から外れた道の交通便利が悪い
公共交通機関はほとんどバスしかないし、そのバスも本数が極端に少ない
公共の交通が町全体とまではいかなくても、もう少し充実してほしい（バスの時間や本数など）
高校へ通う手段が少ないのでバスや電車などを考えてほしい

5. 公共交通対策についての追加回答
交通に不便なく暮らしたい
高齢者が多いが、バスやタクシーなどの生活の足が少なく不便
高齢者などへの買い物支援の強化
高齢者にとってはバスの便が非常に少なく困っている
高齢者の利用の便
高齢者はバスを無料にする
高齢対策がタクシーはよいが、その使い方がよくわからない場合、結局家族の負担になる
残念ながら公共交通は今のところ当てにならない。ライドシェアなどを推進していくほうがよい
仕事帰りの 18 時ごろに塾帰り、学校での自主学習後などで暗い中歩いている中学生を見かける。街灯を増やすことで車内からでも歩行者に気が付くし、歩く本人も怖い思いをしなくてもよいと思う
集落を回るバスが必要ではないか
タクシー助成率を上げる。バス網の維持。
中学生、高校生が出かけたくても、親の送迎がないと動きづらく不便。中高校生が利用しやすい交通手段がほしい
中学校まではスクールバスがあるが、高校に通うのにバスの便が少ないので増やしてほしい
町営バスが利用しづらい、不便
町営バスの増便、乗り合いバス、タクシーなどの取り入れ
町営バス廃止、乗り合いタクシー試行
津山駅までのバスの便が少ない
津山駅まで乗り換えなしで行きたい
津山市方面のバスの便を増やしてほしい
津山への直通バスの充実
低価格の公共交通
デマンド型で行きたいところへの交通支援
デマンド交通
道路整備
乗り合いなど増やす
バス、タクシーの利用券
バス停でなく、どこでも乗り降りできるバス
バスの増便
バスの便数ばかりではなく、ボランティア任せでもなく、元気な住民に協力してもらい、病院、買い物などに乗せてあげられるように
バスの本数やバス停を増やしてほしい
バスの運行方法　IT 利用
バスの便が少ない
バスの本数を増やす
バスや真庭市のまにわくんのようなものを導入してほしい
バス路線を増やす。あるいは乗り合いタクシーのようなものを活用する
バスを増やす
不便だ

５．公共交通対策についての追加回答
プラントから津山駅、高校、病院へ連絡してほしい
待ち時間のない移動しやすい時間設定
道をもう少し平らで走りやすく、ベビーカーなどを押しても引っかからないようにしてほしい
無人バス、無料化
免許を返納したら身動きが取れない。バスの便が増えてほしい
夜間、病院などへ行く必要ができた時、タクシー会社も営業していなくて困った
夜呼べるタクシーがない。救急車では申し訳ない時、何か方法はあるのか
ライドシェアを始めてほしい
利用したいと思えるような工夫が必要
安い料金でのバスやタクシーが利用できるように
安心して免許返納できるシステムづくり。それには、若い人や返納前の人も、普段から使いやすいと思えるような、交通システムがないと浸透しないと思う。
移動手段の無い所に人は住まないので、どうしていきたいかを強く明確に示す必要がある。やらないといけないからやっているだけと感じる。
過疎地の交通対策
公共交通のバス停、便数を増やす
公共施設へのアクセス改善
使いやすい公共交通にする
他地域からのアクセス向上
町外との交通機関を増やす
鉄道網がない事もあるため、公共交通網だけでなく、率先してライドシェアなどを整備してはどうだろうか。
道路の補修、安全な歩道の整備（自宅周辺の散歩で、車通りの多い細い道なのにとばす車やる高齢者の運転で怖い）
道路整備
免許返納後の移動手段確保
利便性
路線バスの廃止、タクシーの活用

6. 子育て・教育環境整備についての追加回答

＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞

待機児童の解消が求められている	保育園の入園しやすさが重要
保育士の増員と待遇改善が必要	子育て支援センターの設置が必要
子育て支援の充実が求められる	子育て世代への補助金充実が必要
出産費用の補助拡大が必要	子育てしやすい町づくりが重要
幼児教育の強化が求められる	保育士の確保と職場環境改善が必要
子育て世代への経済的支援が重要	子育て支援の情報発信が重要
保育施設の受け入れ枠拡大が必要	子育て世代への支援金拡大が必要
給食費の無償化を望む声が多い	子育て支援の無償化が求められる
子育て環境の整備が求められる	子育て世代の交流の場が必要
子育て世代の移住促進が必要	子育て支援の告知が重要

安全な遊具をいろいろ設置し、安心な公園づくり。休憩室完備 自然の中でいろいろ体験し、丈夫な体づくりなどを可能にする
行きたいこども園へ入園したい
いくらでもしてほしい
医療の充実
医療費無償など
いろんな教育が受けられるようにする
お金
環境は大変よいと思うのだが
給食費の無償化 学童保育の無償化
給食費無料

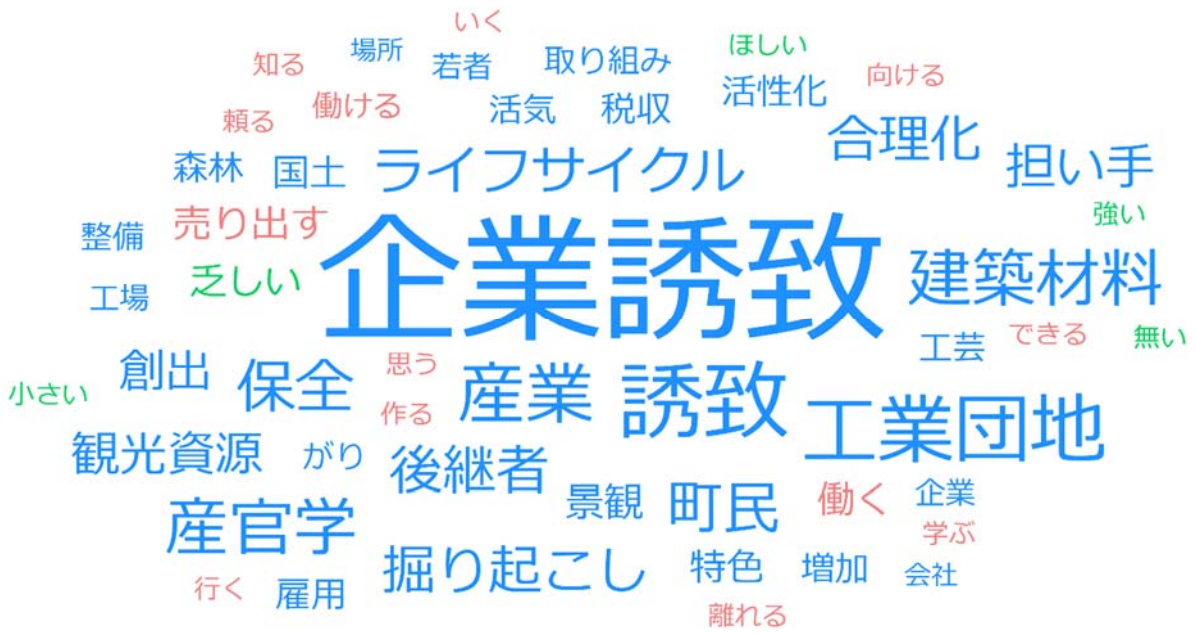
6. 子育て・教育環境整備についての追加回答
近隣市町村から移住する人が増える魅力的な子育て環境を作る
子育て、教育にかかる資金の援助
子育て支援
子育て世代が移住したくなるまちづくり 家、仕事、子どもの居場所
子育て世帯への援助の拡大（低所得やひとり親以外も）
子育て世代への支援金などの充実
子育て世帯への支援として給食費の無償の実現を願う
子育てに対しての金銭的支援はよいと他の市町村の人から言われている。今後はそれだけではなく、保育、教育の面からも内面的に充実したものがあればよいと思う。若い世代はそのようなものも求めていると思う
子育てに魅力のある町にしてほしい
子育ての交流と無償化
こども園（芳野）に入園しにくい。郷幼稚園の人数を増やしてほしい
子どもがいる世帯限定の賃貸アパートがあればよいと思う
子どもを産むというのは、思いのほか大変だと思う。しかし、少子化に拍車がかからないのであれば、ある程度夫婦次第ではないだろうか
子どもを産んでも働ける環境づくり
子どもを育てる環境、手当を増やしてほしい。大きくなってもお金や交通費などかかるため
児童館がほしい 英語教育無料化
児童館を作る 預かり保育、延長保育、放課後児童クラブの利用料助成を広げる 交通公園を作る
児童クラブの終了時間を 30 分延ばす
就学前の子どもへの支援（保育園も含めて）
住宅や人口増と並行して、保育園や学童保育の保障を考えてほしい 学校の教育に関しては、子どもの意見にしっかり耳を傾けてほしい 賭けごとの環境が広がることも心配している
出産費用補助の拡大
女性が働きながら子育てできる環境づくり
人口減少を少しでも緩やかにするために、出産率を上げてもらいたい。やはり資金援助が大切なのではないか
待機児童。子育てしやすい町だと思って鏡野町に来たのに働けない
待機児童がなくなるよう、まず保育施設の職員確保ができる体制を整える
都市に並ぶ学力の向上
奈義町にように子育て世帯に対する金銭的な支援があるのは大きいと思う
奈義町の子育て応援宣言を参考にして、それ以上に少子化対策に注力し、トップ級の出生率になるように思い切って実行してほしい
奈義など参考となる近隣地域を模範とし、子育て、教育支援をより一層拡充する

６．子育て・教育環境整備についての追加回答
習いごとができる場所、選択肢が少ない ＢＭＸやスケボーができる場所がない
人数が少ない幼稚園はいらないのでは
発達障がい児の対応、支援学級の充実
ひとり親世帯や核家族世帯が多くなるため、彼らの支援が必要
ファミリーサポートを利用しやすい環境づくり、情報発信 教員の質の向上
部活動の問題 待機児童の問題→保育士などの給与を改善していくべき
不妊治療にもっと力を入れてほしい
保育園、小学校単位で活動しているが、これを他地域との交流、または全町との交流で広い地域単位で交流。幼い頃より町を意識させる
保育園になかなか入れないので、他の市に入れている。児童クラブ代も高くて入れにくい
保育園に入りやすいこと、第２子を産んだ後も退園することなく第１子を預けられるようにすること
保育園の充実には保育士の処遇改善
保育園の待機児童が多い問題を解決をしてほしい
保育園を増やすか定員を多くしてほしい
保育施設の充実
保育士の充実、確保のためにいろいろ見直し
保育士を確保し保育園の充実
保育人材の確保（待遇改善） 高校への通学補助の充実
ママカフェのような施設を作る
よく頑張っていると思う
安いアパートを増やす。
屋内で遊べる施設がほしい
下の子が生まれたら退園しないといけない制度をなくして欲しい
学童保育の充実
環境整備が進んでいるが、労働子育て環境の兼ね合いもさらに充実が必要。
給食費無償化にしてほしい
教室を貸し出して塾や習い事が出来たらありがたいです。
経済的支援
山村留学　リターン支援
子ども連れで出かけられる場所や、食べられる場所、参加できるイベントの充実
子育て支援が充実してればＩターンＵターンも増えるかと思います。
子育て支援の拡充
子育て支援の告知
子育て支援をわかりやすく発信
子育て支援強化
子育て世代への充実した補助金など

６．子育て・教育環境整備についての追加回答
持ち家家庭への助成(永住の可能性))
小児科が無いので臨時でも先生をあてて欲しい
多子世帯への支援を増やす。または子が多いほど減税が出来るようにする。
待機児童のない環境づくり早急に
待機児童の解消
待機児童の解消、子どもの体験の場、遊べる場所を増やす
待機児童の対策
待機児童問題
大学や専門学校の誘致又は設置
通学距離に関係なく通学費の補助、給食費無料
奈義町のような在宅育児支援手当を支給する。早いうちから保育園等に通わず、親が子育てを楽しむ時間を保証する。
部活動の外部委託　給食費無償化
保育園
保育園に通えるようにする。勉強したくなるような取り組みをする。
保育園の受け入れ態勢枠を増やして欲しい
保育士増員
保育士増員
保育士増加
保護者同士が気軽に悩みなどを共感出来る場所の提供(託児あり)・オンラインを利用した悩み共有会(座談会的な)、相談会などの開催。・支援が必要な子供についての理解を深める機会を設ける
補助金を増やす。
無料で利用できる子育て支援センターの設置、流れるプール設置
約 70 人の待機児の現状を受け止め、情報開示（オムツ代の補助などの補助金を魅力に感じて子育て世代が家を建てるが、近所のこども園に通えない現状を住んでから知るのは、しんどいかも）。保育士や幼稚園教諭が働きやすく、続けられる職場環境の整備（噂を耳にして、別の市町村に就職する若者もいる為、もったいない！）。待機児童を抱える世帯、働きたくても働けない世帯への補助制度（補助金で一時預かりを利用できるかも）や心身ケア（働いてないから自分が頑張らなきゃ！と抱え込む親へのケア）を行う。自宅保育でワンオペの日に、雨天や真夏に過ごす場所に困る為、吉備中央町のキッズパークのような無料の粗大運動もできる広い室内の遊び場があると助かる。子育てなどに悩んだ時、健診や母子手帳に書いてもマニュアル対応の為、専門知識をもつスタッフの育成と具体的なサービスは繋げるなどあると助かる。母乳育児の時、津山市には助産師がいて、すぐに相談できる環境だった為、鏡野町町役場に助産師の設置。
幼児教育の強化
例えば他所の市区町村のように 3 人目出産したら町から祝い金が出るとか？

7. ジェンダー平等・多様性の推進についての追加回答
＜ワードクラウド＞
鏡野町に住めば同性パートナーシップ証明書を発行するなど
学校などで教えてほしい
カフェ、軽食など、交流の場を設け、理解を深める
共産党だけで、他の議員の活動が全く見られない
これからは変わるかもしれない
推進の必要を再検討する
積極的に進めるべきではない
当事者による具体的なアピールを発信する
不要
娘は今年、ボーイッシュが好みで男児の服を普通に着ている。逆に1歳息子は女児服を着て髪も結んでいるが、両方、先生や友達も気にしていない
学校での教育だけでなく、保護者もPTAの研修などで学ぶべき。子どもは大人の影響を受けるから。地域の集まりでもするべき。
周りを気にせず過ごせるようにする。
同性パートナーシップ

8. 産業基盤の強化についての追加回答
＜ワードクラウド＞



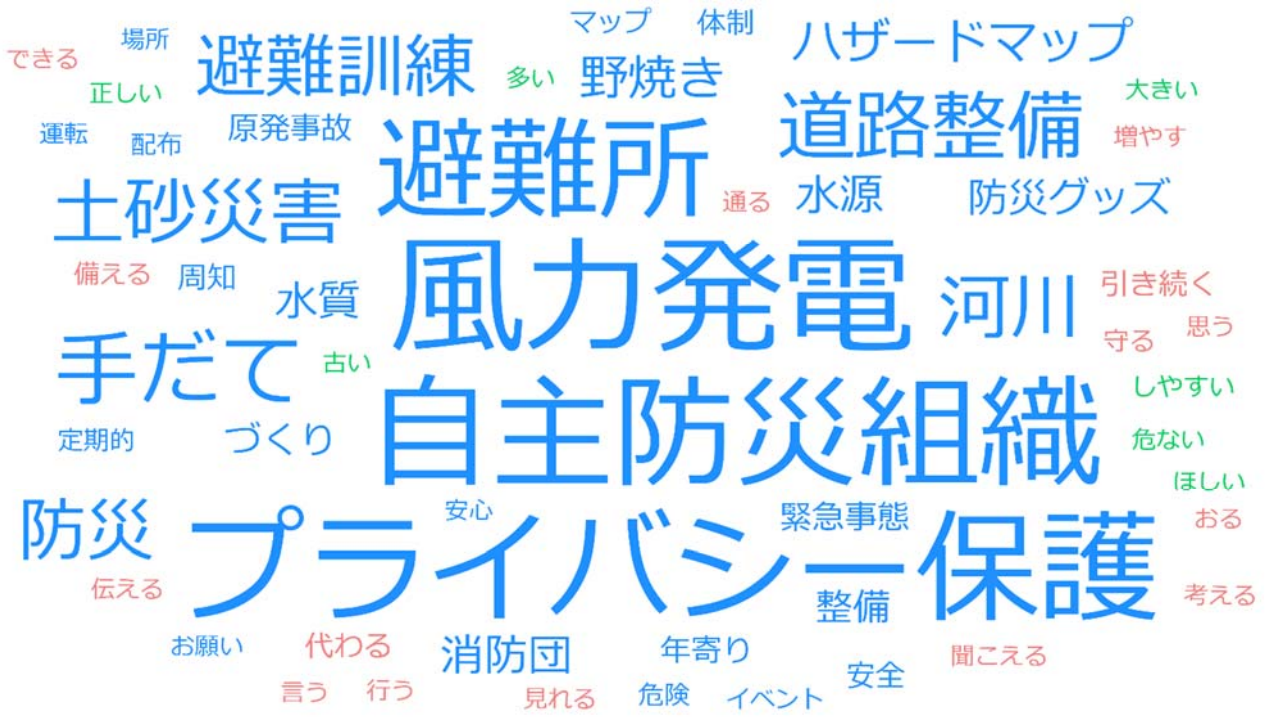
＜AI による要約＞

企業誘致による雇用創出を期待
工業団地整備で産業活性化を図る
若者の働く場を増やしたい
地域の産業を周知する必要がある
後継者不足の問題を解決したい
町民が働ける場を確保する
産官学連携で地域を活性化
森林資源を活用した取り組み強化
中心エリアの活性化を目指す
補助金に頼らない強い企業を育成

会社、工場の誘致をお願いしたい
会社を誘致して働き場を作る
鏡野の産業は何があるかあまり知らない。まずは周知だと思う
企業誘致で税収増加、雇用増加
工業団地を
後継者がいない
工場を誘致する
合理化だけではどうにもならない。町民も学ぶこと
中心エリアの活性化
町民が働ける企業誘致
どの産業を軸にどの方向に向けて売り出したいのか、中年代の人などの興味がない人も知っているくらいに主張してほしい
乏しい現状
担い手、後継者の育成。現役とのマッチングをしっかり行ってほしい
働き場所の拡大
働く場がないとどうしても若者は離れていくと思う
働く場所があれば
働く場の確保

8. 産業基盤の強化についての追加回答
北部に工業団地を誘致
補助金ばかりに頼らない小さくても強い企業を
若者の働く場所を整備してほしい
企業の誘致
企業誘致
雇用創出できる企業誘致ができるように企業誘致が必要。鏡野町工業団地整備。
産官学の連携をする。
森林資源のライフサイクルを活用した取り組み強化（建築材料、工芸品、国土保全、景観保全と観光資源化）
世界的企業の誘致。
店がない
働く場、特色ある産業、産業に活気が無い。魅力ある産業の掘り起こし。

9. 災害や事故からの安全についての追加回答
＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞

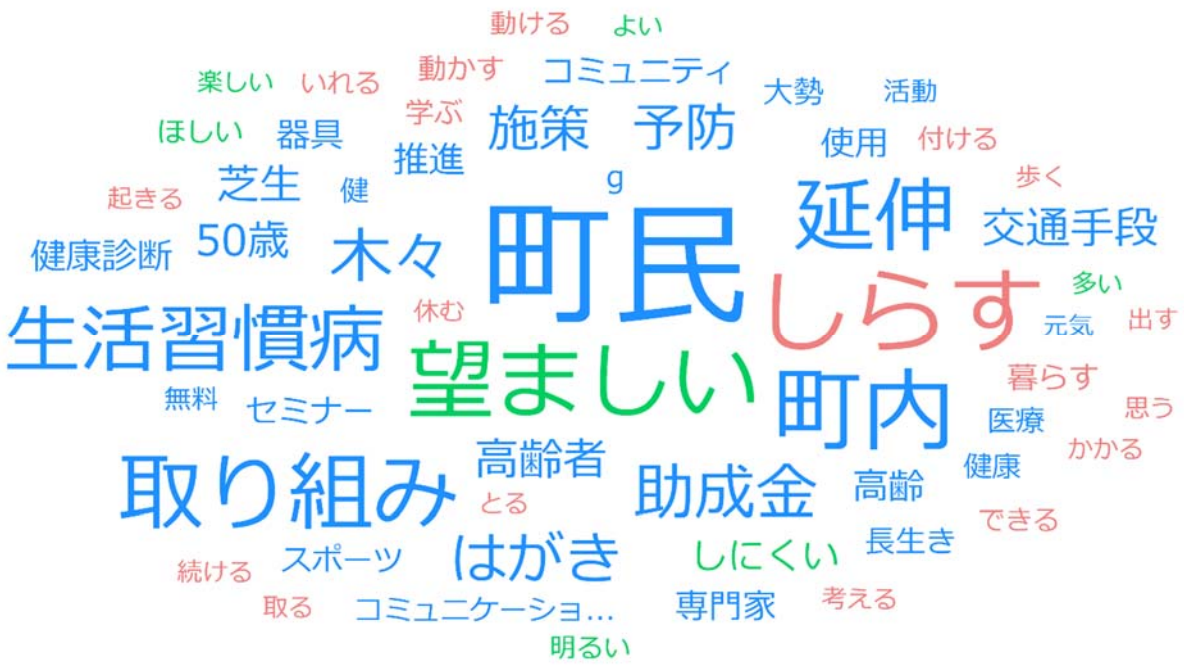
高齢者の運転に対する安全対策
避難所の設備やプライバシーの充実
防災マップの配布と活用促進
防災訓練やイベントの定期開催
河川や道路の整備強化
土砂災害防止策の強化
風力発電に対する反対意見
地域の協力体制の構築
耳の不自由な人への情報伝達
防災グッズの定期的な配布

安心できる体制づくり
河川整備

９．災害や事故からの安全についての追加回答
河川整備に予算を増やす
原発事故や災害を想定した避難訓練
高齢者の運転は危険なので、それに代わる方法を考えてはどうだろう
住民の安全を守る観点からも巨大風力発電は必要ないと町からも言ってほしい
消防団員とともに緊急事態に備えた避難訓練など、定期的に行うと安心
シルバーの運転が危ないので講習
地区での協力体制ができておらず、隣は何をしているのになっている
定期的に防災グッズや防災食を配布する、防災体験イベントをもっと大きくする
土砂災害地への手だてをお願いしたい。何もしていないのではと思う
ハード・ソフト面の整備
ハザードマップ、避難所マップの配布
場所の内容など
避難所、プライバシー保護、寝具充実
風力発電は反対。よく勉強する
古い家や年寄りも多いので、今の時期に多い野焼きからの火事や、年寄りの事故や歩道を車で通る人たちの多さも気になる
防災イベントは引き続きやってほしい
万が一の時、避難所や物資は大丈夫か点検をお願いしたい
耳の聞こえない人たちに正しく伝えるか、安全な場所を確保する
連絡しやすい環境づくり
危険地帯の明確な指定及び周知
自主防災組織を強化してところはところの方で守る
土砂災害の防止や、水源地・水質の安全
道路整備
避難所などのマップをすぐに見れるようにする。

10. 健康寿命の延伸についての追加回答

＜ワードクラウド＞



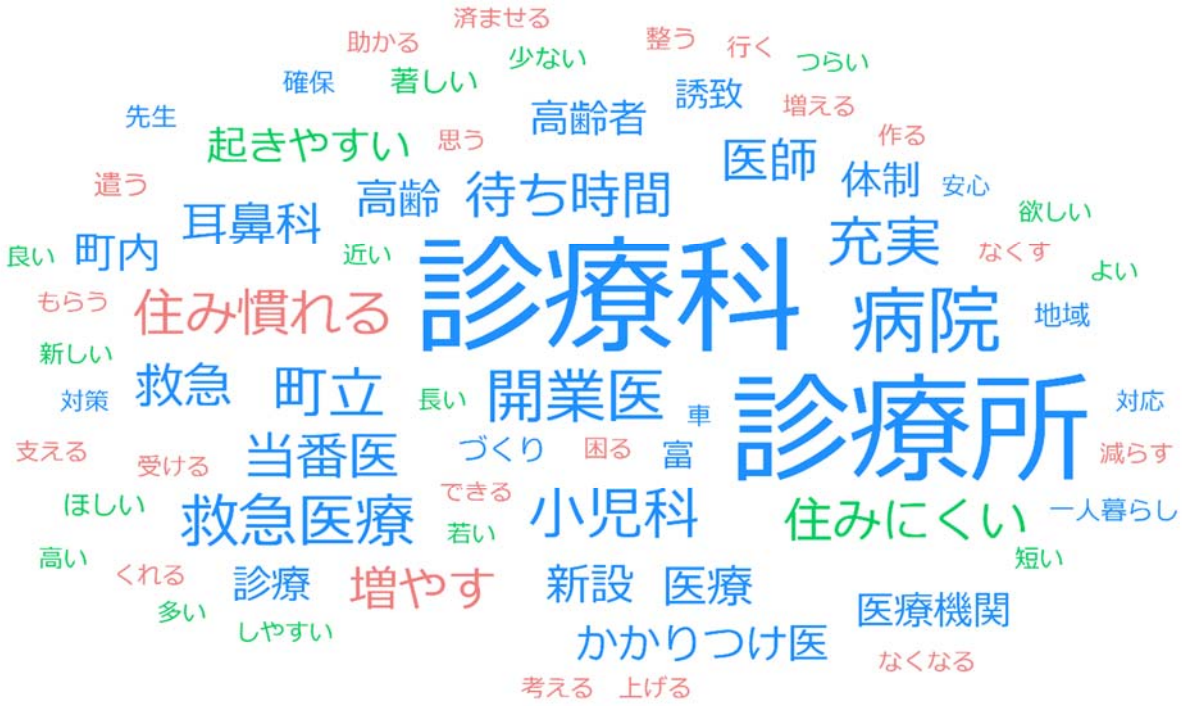
＜AI による要約＞

緑の多い場所でリラックスしたい	地域活動への助成金が望ましい
自由に使えるスポーツジムが必要	健康で楽しい生活を送りたい
やる気を引き出す方法が求められる	学ぶことの重要性を認識
自立した生活を目指したい	冬でも体力維持できる施設が必要
高齢者向けの交通手段が必要	集団健診の通知が重要

B＆G プールが1年中使用できると、冬の体力を維持できる。2ヶ月休むと復活するのに時間がかかる
大勢の意見を出すこと
活動している地域は助成金などの配慮があることが望ましい
活動の推進をお願いしたい
簡単な運動を普段しない人たちに指導する。ゆっくりで無理のない範囲で
気を付けている人は何かしらしているが、やる気が起きない人たちの気楽に取っている感じをどうにかしたい
元気で動ける高齢者が多く生活できるような交通手段やコミュニティを考えてほしい
健康診断無料の取り組みはとてもよいと思う。これからも続けてほしい
健康で明るく楽しく暮らしたい
健康に気を付けて長生きしたい
自分のことは自分でできるように
専門家のセミナーなど
大切だと思う
町民を対象にしたスポーツジム（器具がたくさんあり、自由に使用できる）
緑の多い木々があり、芝生のある歩く場所がほしい
無料の健康診断や町民でコミュニケーションをとり、体を動かす機会があればよいと思う

10. 健康寿命の延伸についての追加回答
よく学ぶこと
予防医療との連携による延伸
高齢になっても元気でいれるための予防施策の充実
高齢者だけでなく 20～50 歳が生活習慣病を予防するような取り組みをする。
集団健診等をはがきなどでお知らせ

11. 地域医療の充実についての追加回答
＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞

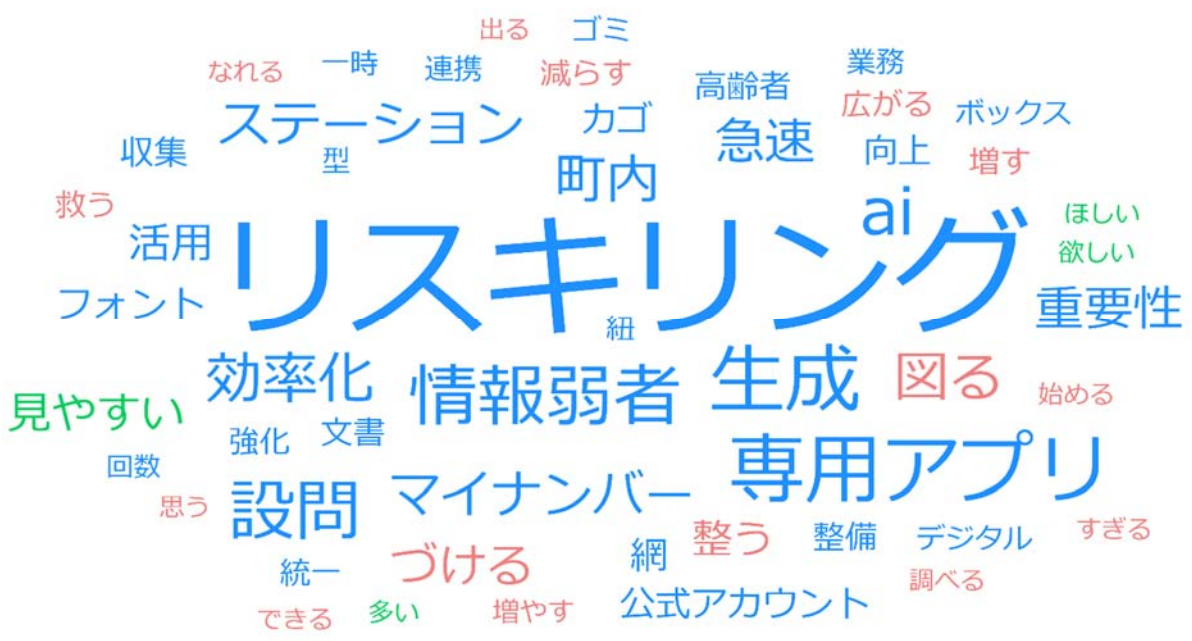
産婦人科の設置を希望する声が多い	医師の確保が課題とされる
訪問診療の充実を求める意見がある	病床不足の問題が指摘される
救急対応可能な病院の必要性	当番医や夜間診療の充実
診療所の存続を心配する声	高齢者向け医療の充実を希望
診察の待ち時間短縮を求める	障がい者に優しい医療施設の設立
医師の高齢化と後継者問題	日曜日の担当医情報の提供希望
開業医の増加を望む意見	新しい病院の早期建設を望む
医療機関の増設を希望する	公共交通や送迎サービスの充実
往診可能な医師の増加を希望	医療機関の地域分布の改善
診療科の充実を求める声	医療制度の見直しを求める声

新しい病院が計画されると聞いているが、今以上の充実を願いたいと思う。呼吸器内科の新設を要望する
新しい病院もできるので、若い先生に来てもらいたい
安心して地域で暮らすための医療機関を増やす
いざという時に安心して受診できる体制づくり
医師の確保

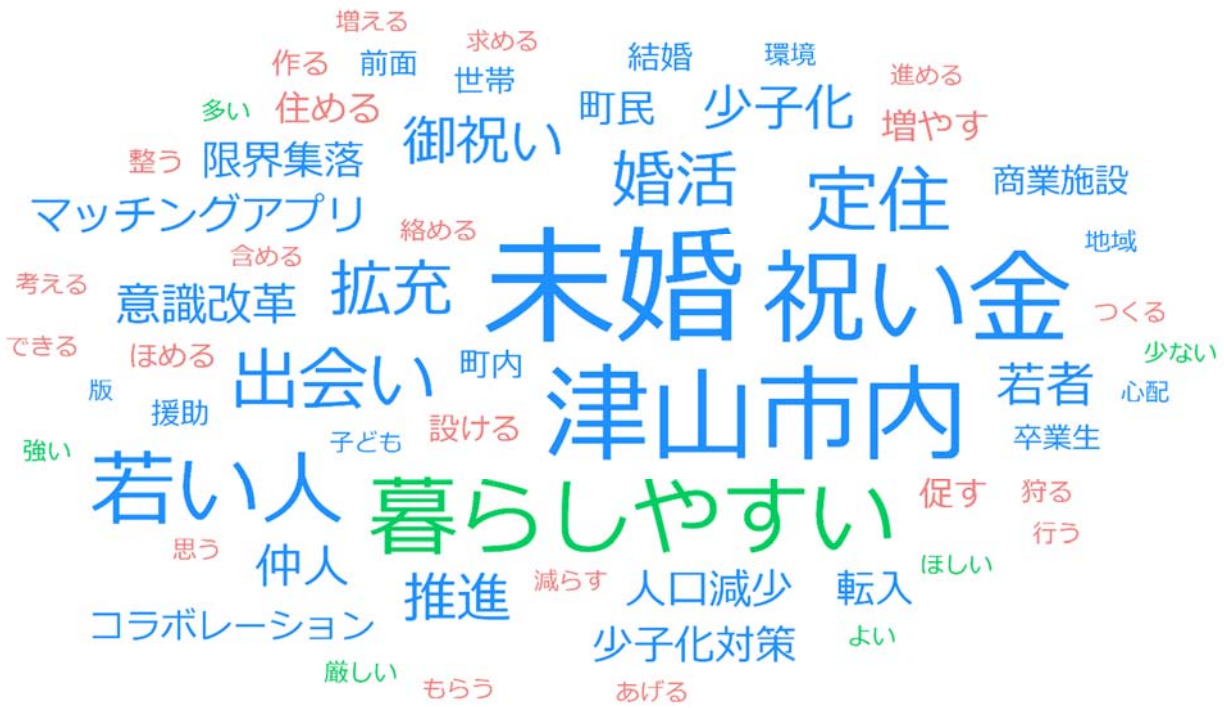
11. 地域医療の充実についての追加回答
医師の定住、診療科の充実、職員の充実、勤務時間の短縮交代、賃金を上げる
井原市などでは、脳ドックを7千円で受診できるらしい。当町も高齢者向けに充実してほしい
医療制度の見直しから
いろいろな病院や整体などもあるが、主に行くのが鏡野町病院だが、時間がいつもかかり、一日仕事になる
鏡野町に救急医療施設を作る
鏡野町病院の機能を維持してほしい
鏡野病院、小児科、耳鼻科（毎日する）の充実
鏡野病院での待ち時間が長いのでスタッフを増やしてほしい
鏡野病院は介護士を入れないのか。高齢者は困るのではないか。町立病院なのではないか
かかりつけ医、高度医療の充実で安心
各科が増えて専門の医師が常時いること
合併後旧町村の人口が減少しているが診療所の存続
救急、時間、科の充実
救急に対応してくれる病院がほしい。入院も町内なら助かる
交通の便を増やす
高齢者が多くなってきている。鏡野病院だけではなく、もう少し設備の整った病院があればよいと思う
高齢者も増えていくので、みんなが助かる近い場所に病院などが充実するとよいと思う
昨今、クラスターなどが起きやすい中、病床が足りないなど、受け入れができないケースが多い
産婦人科がほしい
産婦人科を作る
自治の先生中心に住民との意見交換してほしい
質の向上のため、先生の給料を上げる
地元鏡野病院の医師確保
常勤の耳鼻科、土曜日診療
小児科が少なすぎる、鏡野病院は耳鼻科を土曜日もしてほしい
診察の待ち時間の短縮。診療所の医師が高齢になっているが継承者はいるのだろうか
診療科の充実、人材確保（勤務体制や給与など待遇改善）
少し奥になると診療所も開いている時間が短く病気になった時、無理してでも南の鏡野病院まで行かなければいけないのは一人暮らしにはつらいと思う
住み慣れた自宅で最期を迎えたいが、医療面を支えてくれる先生がいないと困る。鏡野病院で訪問診療が受けられるとよいと思う
地域の病院の先生も高齢化しているのが気がかり。若い年代の先生が開業する支援を行う
中心となる病院の充実
町内でも適切な医療が受けられる
町立病院の充実
ちょっとした病気で診てもらう病院の先生が高齢で、病院がなくなってしまうのでは
土日祝日などの当番医の充実
富地区に診療所があることで安心している
内科、小児科とあるが、緊急時に対応してくれる病院がない

11. 地域医療の充実についての追加回答
日曜日の担当医のお知らせを町内放送してほしい（他自治体はやっている）
人が集まる病院は待ち時間が長い。近くの病院で済ませたいが、専門医、機関はない
一人暮らしの人が病院に行くのに不便な場合がある。車で行けない人が公共のタクシーのようなものがあったり、町として申し込んでおくと利用できるような送迎サービスがあればよいかと思う デイサービス、訪問介護サービスとは違い、要介護などが付いていなくても元気で日常生活はできるが免許を返納していて一人暮らしのようなひとのためにも
病院がなくなるとみんな困る
病院の早期建設
藤本診療所は地元に愛されなくてはならない病院だが、高齢のためいつなくなるか心配だ。親身になってくれる診療所の後継者がいてくれると安心
不親切なので気を遣う
不足している診療科を増やす
マスクを強要しない病院の設置
待ち時間が長いので待ち時間をなくす対策をしてほしい
待ち時間を減らしスムーズにする
もう少しいろいろな科を増やしてほしい。例えば、眼科、脳外科など
よい先生を
予防医療との連携による延伸
往診できる医師を増やす。
休診が多く、一番近い診療所がかかりつけ医院になれない。町外の病院がかかりつけになっている。現状を本気で考えないとの住みにくい地域になっている。
救急の対策
救急体制
鏡野病院の新設と待ち時間対策に今後期待しています。現在高齢者の方も含めて津山市の開業医さんへ行っている現状の為、信頼できる開業医が鏡野町に増えると良いなと思います。開業医の補助金や体制づくりがあると増えるのでしょうか…
鏡野病院を監査して、適正な運営を
緊急の場合のために当直医を診療所に
子育て支援をするなら小児科、救急医療にも力をいれる
耳鼻科の誘致
質の良い耳鼻科を用意する。
小児科　耳鼻科の解説
障がい者や支援が必要な子供が利用しやすい(医師や看護師の理解が高い、待ち時間等は車で待機できる、柔軟な診察体制)医療施設の設立または誘致
診療科の充実
診療科の充実、ネット予約
診療科目を増やしてほしい
診療所のあり方を色々な方面から考えるべきだと思う。
人口減少が著しい上齋原、富、奥津、越畑等の地域から車で 30 分圏内に医療機関を維持する。
説明が少ない　見舞い時間が少ない　自宅医療システム
総合医療及び専門医療環境の整備

11. 地域医療の充実についての追加回答
総合病院へ
町の経営の継続
当番医や夜間の病院
病院が少ない、小児科
病院の診療科を増やす
病院新設より診療所の充実
芳野又は鏡野病院で救急外来を対応できる日数を増やして欲しい
夜間.休日の緊急医療体制

12. 地域 DX の推進についての追加回答
＜ワードクラウド＞ 
活用したいと思う。専用アプリ、電話表を配布してほしい。フォントサイズは 22 以上で見やすいものを希望
高齢者、情報弱者を救うことから始める
ゴミ収集の回数を増やして欲しい。ゴミステーション(ボックス型にして、網出しやカゴだしなどの負担を減らして欲しい)
マイナンバーの紐づけ、統一化を一時は気になっていたがいまだに問題が多すぎてする気になれない
生成 AI は急速に広がっている。デジタルスキル向上のため、リスキリングの重要性が増している。文書生成型の生成 AI を活用し、業務の効率化を図る。
町公式アカウントの強化。調べたら何でも出るようにする。
町内告知放送が整っているので、整備方法でほかの設問との連携強化できると思う。

13. 婚活の推進についての追加回答
＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞	
若者の出会いの場を増やす必要がある	若者の意識改革が必要とされている
婚活イベントの推進が求められている	商業施設とのコラボが提案されている
若者の定住化を促進する施策が必要	未婚者への支援が必要とされている
少子化対策として結婚支援が重要	行政の積極的な関与が求められている
地域の人口減少が懸念されている	結婚祝い金や出産祝い金の拡充が必要

今ある出会いの場をもっと充実、回数を増やすなど、行政も前面に出るべきだと思う
家庭を作るということが一番
結婚祝い金、出産祝い金拡充
県が行っているもっと強い体制を作る
子どものいない夫婦への援助や津山市内からの転入の補助など
子どものいる世帯と若い人（結婚の年頃）との交流の場があるとよい
婚活活動は積極的にお願いしたい
商業施設とのコラボレーション（いちご狩り、あるいはガラス制作も含めて）
少子化をある程度減らす方法があれば、ある意味で厳しい、ほめる、自分で考えるなどの指導が求められる
人口が少ないので、もっと婚活の推進を多く増やすことが大事だと思う
人口減少が心配
進めてほしい
地域の若者や中年代への集まりや地域中学、小学校の卒業生の同窓会をさせてみるのも手だと思う。自身は元同級生と結婚
町内でマッチングアプリ鏡野町版を作る
町民の出会いの場の拡充

13. 婚活の推進についての追加回答
出会いの場を。
出会いの場を作ってもらいたい
出会いの場を増やす
定住化を促す
パンフレットのデザインがいまいちだと思う
まずは暮らしやすい環境づくりから
町全体での婚活イベント
未婚の人が多いので心配
未婚の人に結婚してもらい少子化対策を行う。結婚したくてもできない人に、積極的に相談できる場を作る
もっと機会がほしい
もっとみんながわかるようにしたらよいと思う
若い人がいないので増やしてほしい
若い人が多く住めるように推進する
若い人が未婚でいる。仲人を
若い人だけでなく未婚者が多いので対策が必要
若者、特に女性の意識改革
若者の出会いの場をもう少し設けてほしい
学校で一時的に町外に出ても、帰ってきて、就職や定住したくなるようなメリットをつくる。
顔面偏差値をあげる。
鏡野町版マッチングアプリを作る
結婚御祝い金
結婚組数の増加（現在の少子化の原因と考えます。）
雇用環境、子育て環境が整ってくると、若者世代も結婚していくせだいが増えると思う。そこからの婚活推進に絡めることも重要.
婚活の場を作るべきだと思う。
若者がいなければ限界集落になる。
出会いの場の提供
男女の出会いの場を作る
独身の人が多い

14. その他についての追加回答	
＜AI による要約＞	
人口減少への対策が必要	高齢者施設の充実が必要
高齢者の生活支援が求められる	税制改革を求める声
若者の都会流出を防ぎたい	地域の魅力発信が必要
地域行事への参加促進	働き場の提供が求められる
インフラ整備の重要性	生活費補助の必要性
60 歳以上で定年した人の働き場	
インターネットの整備	
インターネットの町独占をやめて下さい	

14. その他についての追加回答
鏡野地域以外の過疎化が激しく人口が減少している、奥津、上齋原、富地域の魅力を発信し、人口を呼び込む。買い物のデリバリーサービスや通学弁当などで、不便性をカバーする
鏡野町内のよいところをたくさん PR してほしい
家庭内での世代交代が行われていないので、町内での行事に参加できない。だから、地域での行事でどのようなことが行われているのかも全くわからない
現在 89 歳だが、年間1万円程度上げただけで2割はきつい。老人への差別だと思う。全員平等にするべき。働いている時は多く引かれていたので、差別だ。
高齢者の介護施設、サービスを充実させる
高齢者や交通手段のない人が生活しやすいように。各種対策は名前、名目だけでなく、内容の充実を図ってほしい
今年、学校や子ども会などで、3個役員をするのだが、仕事先から土、日、祝日をもう少し出てくれと言われた。このような時に、役員などがどちらかの負担が少なくできるようなことがあればもう少し役員をしてくれる人が増えるのではないかと思う
仕事を病気などでやむを得ずやめた場合、年金がもらえるまでの期間は不定である。予防注射など、補助にはならない。全てが 65 歳からである
職員の若返りや資質と能力の向上を図ること
人口減少社会を見据えた新たな対策を。待ったなしの状況、難しい課題だと思う
人口減少は避けることのできないものだと思う。増やすために施設を増やすのも悪いこととは思わないが、少ない人々で暮らしていけることも考えていくことが必要だと思う
水道光熱費の補助
竹田、布原、寺元などの中心地域への人口集中の解消、人口減少地域への分散
都会へのあこがれがなくならないと、若者の都会への流出は止まらないと思う
農業振興地域の除外
原の雇用促進住宅、エレベーターは必要
風力発電はやめたほうがよい。できてしまったら、この地域に住みたくない、住めない
歩道の整備が必要
祭りの氏子以外の子どもの自由参加。新規移住者、転勤族の子どもが地域の行事に参加できるように老人たちへの教育。借家、アパートへの広報配布
よそ者を馬鹿にするな
老人ホームなど高齢者が安心して生活できる施設
若者が定住できるように
私のように体調を崩したり、介護のため、働けなくなって生活費に困って誰にも頼れず困っている人もいる。みんなが幸せに暮らせる町を
奥津の議会跡などを映画館にするなど他所から人が集まる仕掛けがあるとよいと思う
学校の充実
減税
他の地域に比べて水道料金が割高？水の町なのであれば、下げて欲しい。高齢ドライバーが多い為、免許返納したら利用できる乗り合いタクシーをガソリン代くらいで利用できると助かるのかもしれません。
大幅な減税対策

【求める地方創生施策・人口減少対策　×　年齢　クロス集計】

“40 歳代以下”で、「子育て・教育環境整備」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
地域医療の充実	26.6	7.3	21.2	28.1	35.5	26.0	28.5	31.4
子育て・教育環境整備	26.0	36.4	49.4	37.5	28.9	11.5	12.4	9.8
他地域からの移住定住	23.6	23.6	22.4	26.0	25.6	24.0	22.6	19.6
観光・交流の推進	21.0	16.4	23.5	24.0	32.2	13.5	19.0	11.8
農林漁業の振興	19.3	10.9	12.9	18.8	23.1	21.9	23.4	13.7
公共交通対策	18.9	21.8	18.8	24.0	24.0	14.6	12.4	17.6
婚活の推進	14.9	9.1	10.6	10.4	12.4	12.5	21.2	25.5
商工業の振興	12.2	10.9	12.9	16.7	19.0	8.3	8.8	5.9
産業基盤の強化	11.4	7.3	7.1	5.2	11.6	16.7	17.5	15.7
災害や事故からの安全	10.0	5.5	8.2	13.5	9.1	6.3	9.5	13.7
健康寿命の延伸	7.4	7.3	2.4	7.3	9.1	4.2	9.5	13.7
ジェンダー平等・多様性の推進	3.1	3.6	5.9	2.1	4.1	2.1	1.5	2.0
地域DXの推進	1.9	3.6	2.4	2.1	2.5	1.0	1.5	2.0
その他	5.2	1.8	8.2	8.3	4.1	2.1	3.6	2.0
無回答	29.4	25.5	24.7	27.1	19.8	35.4	39.4	33.3

【求める地方創生施策・人口減少対策　×　エリア　クロス集計】

“奥津”で、「子育て・教育環境整備」が比較的高くなっています。
“富”で、「他地域からの移住定住」が比較的高くなっています。

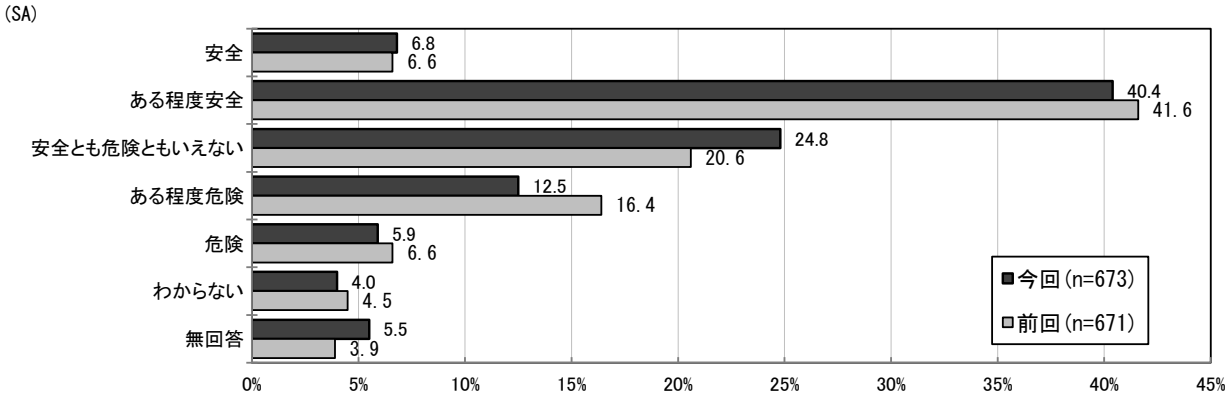
	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
地域医療の充実	26.6	28.2	10.7	29.7	26.8
子育て・教育環境整備	26.0	28.6	21.4	10.8	4.9
他地域からの移住定住	23.6	24.5	14.3	18.9	26.8
観光・交流の推進	21.0	22.1	14.3	27.0	12.2
農林漁業の振興	19.3	20.5	7.1	18.9	17.1
公共交通対策	18.9	19.0	10.7	27.0	24.4
婚活の推進	14.9	15.5	14.3	8.1	12.2
商工業の振興	12.2	13.3	10.7	5.4	7.3
産業基盤の強化	11.4	12.0	3.6	16.2	9.8
災害や事故からの安全	10.0	10.9	3.6	8.1	2.4
健康寿命の延伸	7.4	7.2	3.6	8.1	9.8
ジェンダー平等・多様性の推進	3.1	3.5	－	－	2.4
地域DXの推進	1.9	1.8	－	5.4	2.4
その他	5.2	5.0	7.1	2.7	－
無回答	29.4	27.7	53.6	21.6	41.5

8　災害及び防災・災害対策についておたずねします。

問 23　あなたは、住んでいる地域が災害に対して安全だと感じますか。(SA)

「ある程度安全」が 40.4%で最も高くなっています。次いで「安全とも危険ともいえない」が 24.8%、「ある程度危険」が 12.5%で続いています。

前回に比べて、「ある程度危険」が減少しています。



【地域の安全性　×　エリア　クロス集計】

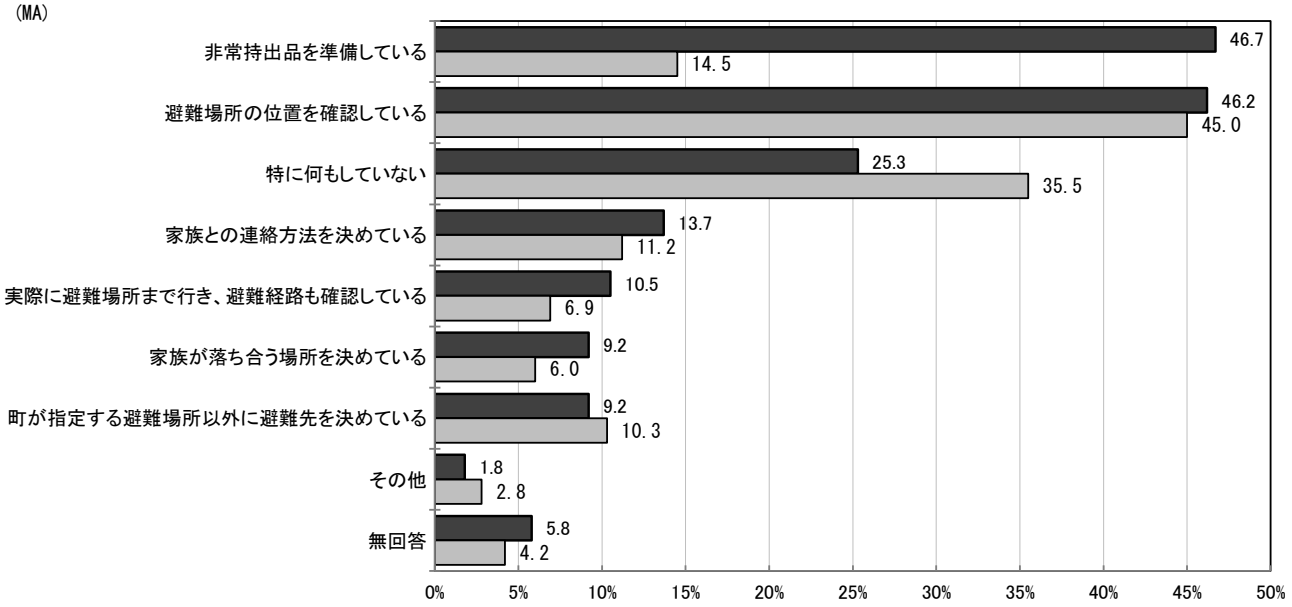
“富”で、「ある程度危険」「危険」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
安全	6.8	7.9	－	5.4	2.4
ある程度安全	40.4	40.8	32.1	45.9	36.6
安全とも危険ともいえない	24.8	24.7	35.7	24.3	19.5
ある程度危険	12.5	11.3	21.4	18.9	24.4
危険	5.9	5.5	－	5.4	9.8
わからない	4.0	4.8	－	－	－
無回答	5.5	5.0	10.7	－	7.3

問 24　あなたやご家族は、自宅以外の場所へ避難しなければならない事態に備えてどのような対策をとっていますか。(MA)

「非常持出品を準備している」が 46.7%、「避難場所の位置を確認している」が 46.2%で群を抜いて高くなっています。「特に何もしていない」が 25.3%で続いています。

前回に比べて、「非常持出品を準備している」が大きく増加しています。



その他回答
家族の中での優先順位を話している
今後、避難場所を決める
自宅の安全な場所を一応決めている
車中泊できるようにしている
そもそも人の多い所に避難しない
近くに高い山がある
非常食、非常時での日用品を3年ごとに消費する。長期保存食
ペットがいるので公の避難場所には行けない。なにか対策はあるのか
鏡野町で配布くださった非常持ち出しリュックのみ
車中泊できる大きい車の購入を検討。
防災士、防災意識向上の啓もう活動で、個々の意識向上の活動。

【避難時の対策　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「避難場所の位置を確認している」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
非常持出品を準備している	46.7	43.6	52.9	41.7	47.9	51.0	43.8	45.1
避難場所の位置を確認している	46.2	49.1	61.2	41.7	43.0	51.0	46.7	37.3
特に何もしていない	25.3	21.8	23.5	20.8	27.3	28.1	28.5	23.5
家族との連絡方法を決めている	13.7	12.7	10.6	14.6	18.2	6.3	15.3	17.6
実際に避難場所まで行き、避難経路も確認している	10.5	7.3	10.6	9.4	9.9	8.3	12.4	15.7
家族が落ち合う場所を決めている	9.2	7.3	16.5	12.5	12.4	3.1	7.3	3.9
町が指定する避難場所以外に避難先を決めている	9.2	7.3	5.9	5.2	7.4	7.3	14.6	13.7
その他	1.8	－	2.4	1.0	3.3	1.0	1.5	2.0
無回答	5.8	1.8	－	2.1	5.0	8.3	5.8	15.7

【避難時の対策　×　エリア　クロス集計】

“奥津”“上齋原”で、「避難場所の位置を確認している」が比較的高くなっています。

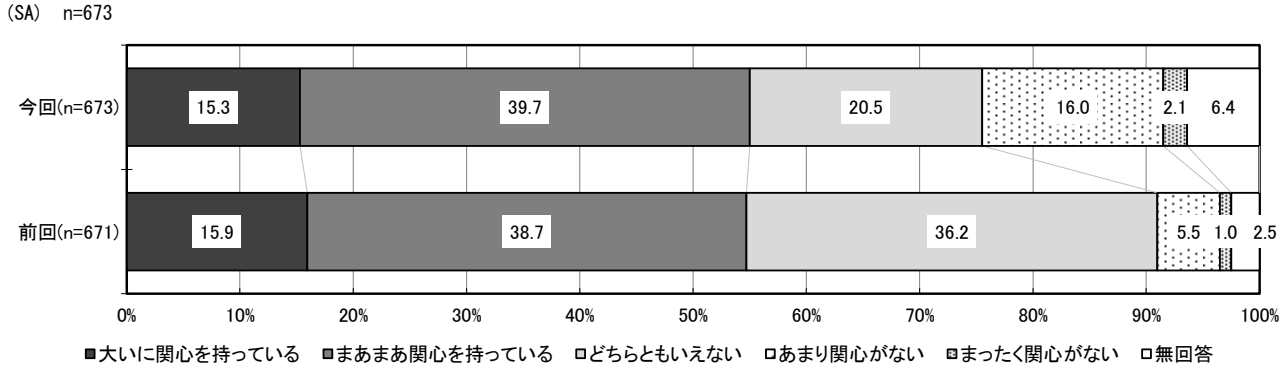
	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
非常持出品を準備している	46.7	46.1	46.4	59.5	46.3
避難場所の位置を確認している	46.2	44.8	53.6	64.9	48.8
特に何もしていない	25.3	26.8	10.7	16.2	26.8
家族との連絡方法を決めている	13.7	13.3	17.9	21.6	7.3
実際に避難場所まで行き、避難経路も確認している	10.5	10.1	14.3	24.3	2.4
家族が落ち合う場所を決めている	9.2	10.7	－	2.7	2.4
町が指定する避難場所以外に避難先を決めている	9.2	9.0	17.9	2.7	4.9
その他	1.8	1.8	3.6	－	2.4
無回答	5.8	5.5	7.1	－	4.9

９　町行政についておたずねします。

問 25　町の行政に関心を持っていますか。(SA)

「まあまあ関心を持っている」が 39.7%で突出しています。「どちらともいえない」が 20.5%、「あまり関心がない」が 16.0%で続いています。

前回に比べて、「どちらともいえない」が減少し、「あまり関心がない」が増加しています。



【行政への関心　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代以下”で、「あまり関心がない」「まったく関心がない」を合わせた割合が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
大いに関心を持っている	15.3	10.9	10.6	18.8	12.4	9.4	21.2	23.5
まあまあ関心を持っている	39.7	36.4	38.8	32.3	43.8	40.6	46.0	33.3
どちらともいえない	20.5	23.6	21.2	32.3	13.2	24.0	14.6	21.6
あまり関心がない	16.0	25.5	25.9	11.5	19.8	16.7	10.2	5.9
まったく関心がない	2.1	3.6	3.5	3.1	3.3	2.1	－	－
無回答	6.4	－	－	2.1	7.4	7.3	8.0	15.7

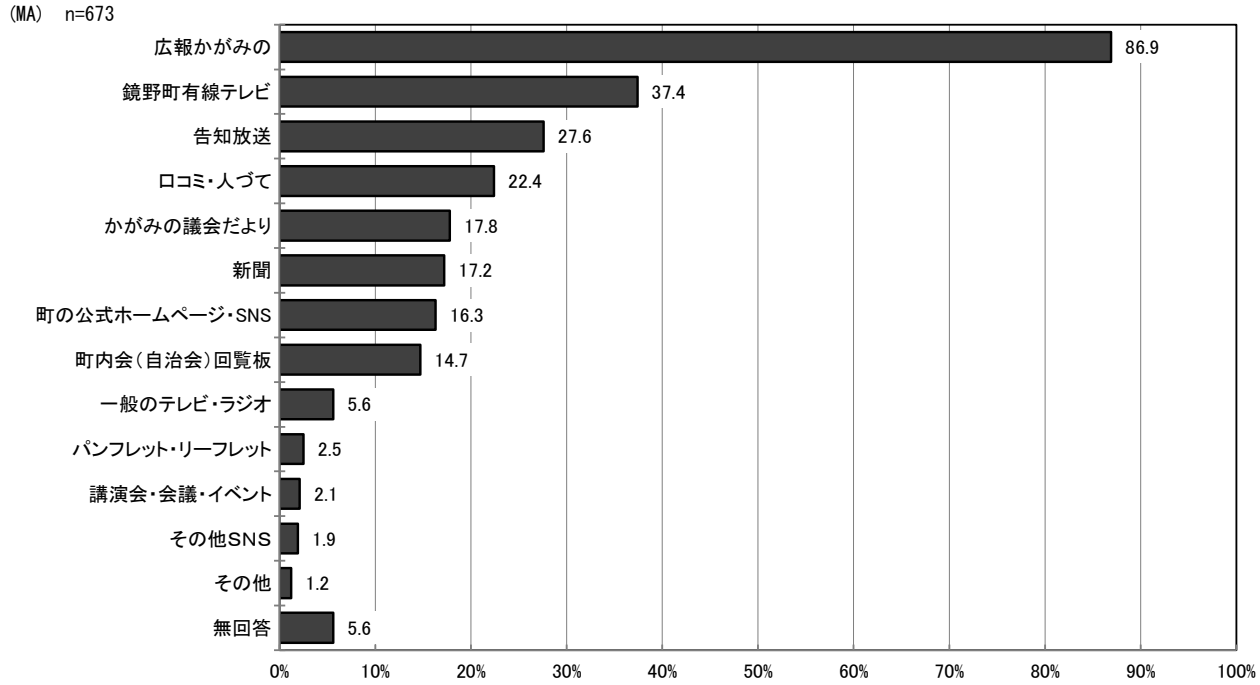
【行政への関心　×　エリア　クロス集計】

“鏡野”で、「あまり関心がない」「まったく関心がない」を合わせた割合が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
大いに関心を持っている	15.3	15.5	10.7	18.9	12.2
まあまあ関心を持っている	39.7	38.9	42.9	48.6	46.3
どちらともいえない	20.5	19.4	28.6	21.6	24.4
あまり関心がない	16.0	18.1	10.7	10.8	2.4
まったく関心がない	2.1	2.2	－	－	4.9
無回答	6.4	5.9	7.1	－	9.8

問 26　鏡野町の町政に関する情報を主にどこから入手していますか。(MA)

「広報かがみの」が 86.9%で突出しています。「鏡野町有線テレビ」が 37.4%、「告知放送」が 27.6%で続いています。



その他回答	
PC	職場
赤旗折込の議員作成のチラシ	ポスター
議会 YouTube	図書館の掲示板
職員	

【町政情報の入手　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「町の公式ホームページ・SNS」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
広報かがみの	86.9	72.7	90.6	92.7	89.3	88.5	89.1	80.4
鏡野町有線テレビ	37.4	29.1	30.6	35.4	27.3	37.5	51.8	45.1
告知放送	27.6	20.0	16.5	28.1	26.4	29.2	36.5	33.3
ロコミ・人づて	22.4	29.1	24.7	21.9	19.0	21.9	23.4	19.6
かがみの議会だより	17.8	7.3	14.1	20.8	18.2	16.7	24.1	19.6
新聞	17.2	3.6	4.7	12.5	15.7	19.8	29.2	31.4
町の公式ホームページ・SNS	16.3	20.0	30.6	20.8	20.7	14.6	5.8	2.0
町内会(自治会)回覧板	14.7	9.1	10.6	8.3	14.9	15.6	20.4	19.6
一般のテレビ・ラジオ	5.6	3.6	5.9	2.1	3.3	3.1	10.2	13.7
パンフレット・リーフレット	2.5	1.8	2.4	1.0	4.1	3.1	1.5	3.9
講演会・会議・イベント	2.1	－	1.2	2.1	1.7	4.2	2.2	3.9
その他SNS	1.9	－	5.9	2.1	2.5	1.0	0.7	2.0
その他	1.2	1.8	1.2	1.0	3.3	1.0	－	－
無回答	5.6	3.6	1.2	2.1	5.0	6.3	5.1	15.7

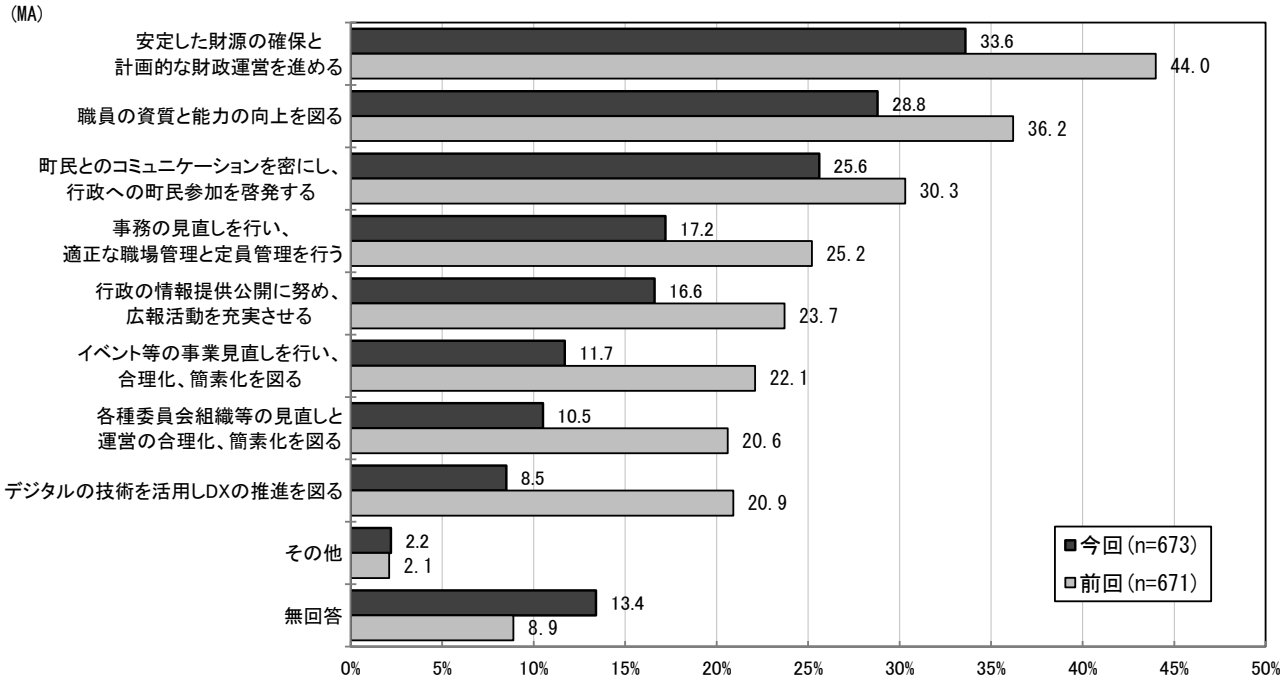
【町政情報の入手　×　エリア　クロス集計】

“奥津”で、「鏡野町有線テレビ」「町内会回覧板」が比較的高くなっています。

	全体 n=673	鏡野 n=542	奥津 n=28	上齋原 n=37	富 n=41
広報かがみの	86.9	88.2	75.0	97.3	80.5
鏡野町有線テレビ	37.4	35.8	60.7	48.6	41.5
告知放送	27.6	27.1	39.3	37.8	22.0
口コミ・人づて	22.4	23.1	17.9	24.3	14.6
かがみの議会だより	17.8	17.5	17.9	21.6	22.0
新聞	17.2	17.7	21.4	13.5	14.6
町の公式ホームページ・SNS	16.3	16.8	10.7	21.6	12.2
町内会（自治会）回覧板	14.7	14.2	35.7	16.2	4.9
一般のテレビ・ラジオ	5.6	5.2	21.4	8.1	－
パンフレット・リーフレット	2.5	2.4	3.6	8.1	－
講演会・会議・イベント	2.1	1.8	3.6	－	7.3
その他SNS	1.9	2.0	3.6	2.7	－
その他	1.2	1.1	3.6	－	2.4
無回答	5.6	5.2	7.1	－	4.9

問 27　行政の効率性を高めるために必要だと思うことはどのようなことですか。(MA)

「安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める」が 33.6%で最も高くなっています。次いで「職員の資質と能力の向上を図る」が 28.8%、「町民とのコミュニケーションを密にし、行政への町民参加を啓発する」が 25.6%で続いています。



※前回調査では「デジタルの技術を活用しDXの推進を図る」ではなく「情報通信機器を導入するなどICTの積極活用を図る」でした。また、前回調査では“○はいくつでも”でしたが、今回は“○は2つまで”としています。

その他回答
各地区のセンター長がもう少し勉強してほしい。話し合い他
課内の縦はできていると思うので、他課との横のつながり、情報共有など
現場に足を運ぶ
時代に合った組織運営
縦割り行政を状況によっては横割りもやるべきでは
適材適所
町より配布される資料、冊子の材質がよすぎる。あまり厚い紙を使用する必要はない
無駄な役人をクビにする。必要な役人を採用する。

【行政の効率性　×　年齢　クロス集計】

“30 歳代”で、「安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める」が比較的高くなっています。

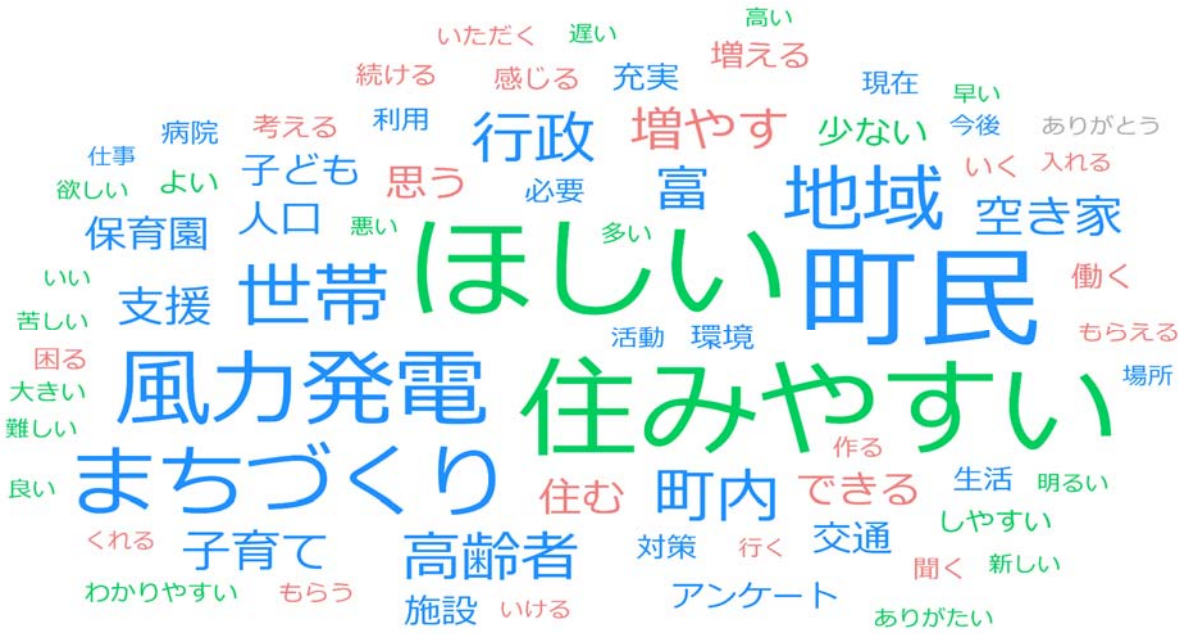
	全体 n=673	30歳未満 n=55	30歳代 n=85	40歳代 n=96	50歳代 n=121	60歳代 n=96	70歳代 n=137	80歳以上 n=51
安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める	33.6	34.5	44.7	36.5	34.7	33.3	32.1	17.6
職員の資質と能力の向上を図る	28.8	12.7	20.0	32.3	31.4	26.0	35.8	33.3
町民とのコミュニケーションを密にし、行政への町民参加を啓発する	25.6	20.0	24.7	25.0	25.6	25.0	29.9	29.4
事務の見直しを行い、適正な職場管理と定員管理を行う	17.2	20.0	12.9	13.5	20.7	20.8	16.8	9.8
行政の情報提供公開に努め、広報活動を充実させる	16.6	14.5	21.2	12.5	9.9	20.8	21.9	19.6
イベント等の事業見直しを行い、合理化、簡素化を図る	11.7	12.7	11.8	14.6	14.9	10.4	8.8	5.9
各種委員会組織等の見直しと運営の合理化、簡素化を図る	10.5	5.5	7.1	12.5	11.6	17.7	8.8	5.9
デジタルの技術を活用しDXの推進を図る	8.5	12.7	21.2	10.4	9.1	3.1	4.4	－
その他	2.2	1.8	1.2	4.2	1.7	3.1	2.2	2.0
無回答	13.4	5.5	5.9	7.3	11.6	15.6	14.6	31.4

10　その他のご意見・ご提言

問 28　最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。（自由記入）（FA）

自由回答

＜ワードクラウド＞



＜AI による要約＞

インターネット環境の改善要望
コミュニケーションの場が必要
委員会の透明性と外部化の必要性
環境管理の改善を求める声が多い
空き家の利活用を進めてほしい
空き家対策と移住促進
経済的支援や給付方法の疑問
交通便の改善を求める声が多い
公共交通の充実を求める声が多い
行政の対応に丁寧さを期待
行政の対応や透明性への不満
行政機関の横の連携を強化
高齢化に伴う地域の課題
災害対策の強化を求める声
子どもと高齢者の交流機会の増加
子育て支援の充実を望む声
子育て支援や待機児童問題
自然環境保護の重要性を訴える
自然保護と開発のバランス
若者の就職機会の拡大
住民サービスのプッシュ型対応
食料自給率向上のための取り組み
地域の魅力を活かした定住促進
地域格差の解消を望む意見
地域活動の継続を心配
地域活動や委員会の見直し
町民の健康増進のための施策
道路や交通インフラの改善要望
文化施設や娯楽の場の不足
保育園の不足と待機児童問題

自由回答
～非課税世帯への給付について 全世帯へ給付できないでしょうか。 物価高は平等に影響があります。 また、非課税世帯には、経済的に自立した早期退職世帯や、困窮していない年金世帯の方なども含まれると思いますので、現在の給付方法には疑問を感じます。 ～経済対策について 企業の倒産件数が中小企業を中心に増え、11 年ぶりの高水準だそうです。 原因は、円安や人件費上昇等による物価高や、インボイスによる消費税負担など、国の政策によるものだと思いますが、今後の地域経済や住民生活のために、町でも対策を検討されてはいかがでしょうか。
1から2年で効果が出ることばかりでなく、10 年、20 年先にはきっとよくなっているといった未来を見つめ、足元を固めるようにしていってほしいと思う
1歳以下で下水道を使わないのに料金が発生している。支払う意味がわからない モンベルを建てるお金があるなら、物価高で生活が困っているので、町民にお金を配る方がよいと思う。 モンベルを建てることによって、どのように鏡野町がよくなるのだろうか
2025 年問題に今まさに直面している。鏡野町の高齢化率は推計で 39.46%と聞くが、そのような中で、住み慣れた地域で、暮らし続けるためにはさまざまな仕組みや体制づくりが必要だと思う。私の地域には商店もない、病院も遠いことで一番困っているのは、交通の便だ。その意味からバスの便をもっと増やしてほしいと思う。便数を増やして、小回りのきく交通体系を作ってほしいと思う 若者の流出が年々増加していく中で、子育てをしやすい環境整備は大切だ。そのために子育て世帯への支援策として給食費の無償化、軽減。笠岡でも実施している町がある 放課後児童クラブの利用料の軽減、あるいは減免措置など 少子高齢化の影響や中山間地の人口流出に伴い空き家が増えている中で、鏡野町に移住してくる施策も大切で若者定住策は近々の課題であると思う
2人目が生まれて、1人目が3歳未満の場合、出生後2ヶ月後に退園するのはしんどい。ひとり親だったり、夫が育休を取れない場合、外に連れていけない乳児と、家の中で走ったりいろいろと手がかかるタイミングの時に、2人を1人で世話をするのはとても厳しい。3歳未満でも時短保育を可能にしてほしい 可燃ゴミの収集日を増やすか、収集日は一日のままで、いつでも捨ててよい対応にしてほしい。2人の子どものおむつを1週間家でためるのはとても厳しい
EV 電気自動車の高速充電器を町内に設置してほしい。例えば、夢広場や役場など
SNS の活用 情報発信を何度もしてほしい
U ターンで地元に帰ってきた。確かに街に比べれば不便ではあるものの、仕事もあるので困らない。若い人が帰らず出るのは、地域の昔からの若い人が役員をしろ、とか、消防入れ、とかやるしかない、入るしかない雰囲気、ある意味パワハラもあると思う 観光面は奥津だとやたら花美人だけ力を入れて改装するが、なぜ大釣温泉を見捨てるのだろう。上齋原や富を切り捨てるのだろう。業者との癒着がささやかれている。花美人は料金も高く営業時間が短い。開けてやったんだから、早く来いというのだろうか。交代勤務にしてでも 21 時、早くて 20 時まで営業するべきだと思う ダムの上流にある不認可の無料のキャンプ場。ダムの一部なのに大丈夫なのだろうか。他のまじめに経営しているキャンプ場は迷惑だと思う
アンケートなのに、個人を特定しようと思えばできるくらい詳細に、自分の情報を答えないといけないのは、どうかなと思う。年齢は、何十代かだけでいい気がする。以前も、職場の地域だけならまだしも、分単位で通勤時間を聞かれた。

自由回答
アンケートについて、18歳以上の鏡野町の人口は1万人程度だと思いますが、なぜ2000人にもアンケートをとるのでしょうか？統計的にはもっと少なくても大丈夫なはずです。実際に答えてくれる人数が少ないのだとすれば、その改善が必要だと思います。 保育園について、現在未就学児を2人育てていますが、鏡野町に住む知り合いには三歳未満の子で保育園に入れない人が本当に多いです。「保育園に入れず、育休延長もできず、仕事を辞職した」「実家がある津山に住民票を移して津山の保育園に申し込む（実際は鏡野町に住んでいる）」「家からは遠いが、津山の幼稚園を申し込んだ」など、多くの声を聞き、津山の人にも何度も「鏡野町は保育園難しいみたいだね」と言われましたが、異常だと感じます。今は来年度の保育園の申し込みを行い現在結果を待っているところですが、通らなければ仕事を辞めざるを得ません。周りに宅地が増えていく中で、なぜ、鏡野町で生まれ、鏡野町で育ち、鏡野町で家を構えて子育てをしている自分が目の前の保育園に通わせられないのか理解できません。過去の町民意見交換会でも同様の疑問や不満を受けていることをHPの情報で確認しましたが、その返答も要領を得ないもので、「具体的にどのような対策をして、何が効果的だったのか、これから何をしていくのか」を明らかにしてください。鏡野町の人口が増えるのはうれしいですが、実際は小さな子供は保育園に入りづらいという状況なのを知っているのだろうか、と心配をしています。保育士さんや役場の子育て支援課の方々には感謝をしています。もっと上の方々がきちんと動いてほしいです。
アンケート依頼がよく来るが、いつも同じ内容のアンケートばかり。
イベントの廃止をし、財源を確保する
インターネット契約を他社の契約も出来るようにして欲しい。
お得なサービス
ガソリン代の補助。車がないとなにもできません。
グラウンドゴルフやピックボールなど町の施設や公民館を使用させてもらって楽しい老後を送っている
このアンケートは必要だろうか。ランダムに送っているのか。毎回記入している
このままではジリ貧。しっかりとした対策を
このようなアンケートではなく、職員が現場に出向いて生の声を聞くべきと思う。買い物、医療等々本当に困っている者が多数いると思われる。 自然環境をもっとPRして、多くの人に来町してもらうような施策を望む。NHKのテレビで放送してもらうようなことも考えてはどうか！
ゴミの収集日を増やしてほしい。他県の町や郡部の知り合いに聞くと、燃えるゴミ週2回、プラゴミ週1回とのこと。ゴミ収集代も支払っているのにゴミがたまりすぎてゴミ処理場へ持って行くことも困っている 町内あちこちで草が生い茂っている場所を見ると環境管理が行き届いていないな、素敵な町と思えない。環境管理に力を入れてほしい 空き家を使った古民家カフェ、シェアハウスなどといった再利用。また、観光地をもっとアピールして県内外からの客足を増やし活気のある町に。石畳ロードや街灯で風情ある雰囲気にする。おしゃれなお土産を増やすなど。お土産ロードがあってもよいくらいだと思う。せっかく観光地があるのにもったいない
ゴミを捨てないように呼びかけてほしい。ボランティアで拾っている人がいる
これからの生活の心配をしている
これからの日本は残念ながら人口は減っていくと思う。人口減でも楽しく明るく生きていくことのできるまちづくりが大切なのではないかと思う もちろん出生率を上げていくことは大切。そしてなんといっても、第一歩は鏡野町だけでなく、県北一体となって盛り上げて若者たちに大学進学などで一度は出て行っても戻ってきてもらうまちづくりをしなければいけないのではないだろうか
これからもしっかり広め、声を聞く姿勢を持ち続けてほしい
これからもよろしくお願いしたい
これからより人口が減るので、 奥津など制限無しで気軽に住める住宅を増やしてほしい。 人口を増やすため、子育てしやすい環境を。 進学するにつれ出て行かざるをえない。 中学校まではスクールバスがあるが、高校となると公共のバスがないので不便。 風力発電を推進しているようだが、財政が苦しいので町にお金が入るのは良いがデメリットが大きすぎる。建てるまでの環境への負担が大きい。 もし建設するとなると、紅葉の時期、交通の便など観光へのデメリット。

自由回答
これからより人口が減るので、 奥津など制限無しで気軽に住める住宅を増やしてほしい。 人口を増やすため、子育てしやすい環境を。 進学するにつれ出て行かざるをえない。 中学校まではスクールバスがあるが、高校となると公共のバスがないので不便。 風力発電を推進しているようだが、財政が苦しいので町にお金が入るのは良いがデメリットが大きすぎる。建てるまでの環境への負担が大きい。 もし建設するとなると、紅葉の時期、交通の便など観光へのデメリット。
コロナ禍、ウクライナ危機などにより、物流の停止が起きたことで、食料をはじめ物資の自給率のアップが喫緊の課題であることが明確になった。鏡野町内で生産から消費まで循環するローカル自給圏を形成するため、農家と住民が一体となって取り組む。食料と農林水産業を基軸にしたまちづくりを進めることで、食品の製造、加工、流通、販売、飲食の提供に波及、地産地消・食育・有機農業の推進、食料自給率の向上、安全な食べ物の生産、安定的な食料供給体制の確立等が健康な生活、環境の保全に配慮した持続可能な地域社会の実現、協働して取り組むまちづくり、豊かで住みやすい鏡野町になる。
こんなお金のかかるアンケートをすることを止めて、もっと効率的なお金の使い方をするべき。 年寄りにこんなアンケートを送付したところで、答える人はあまりいないと思う。 年寄りが近所に増えている。役場が積極的に地域に出かけるなりして、自治会の負担を減らしていくべき。 役場は SNS を監視し、都合の悪い書き込みがあったら当事者を追い込む暇があったら、ちゃんと町民のために仕事をしてほしい。 役人は、一町民を自殺に追い込んだことは大いに反省するべき。 議会は役場の監視をしないといけない立場であるにも関わらず、全然機能していない。こんなアンケートに頼る必要のない有能な人が議員になって欲しいことを願う。一町民をいじめるような議会なんて役場の監視役として適当でない。
こ各振興センターは住人にとって重要なものであるため、今後も維持してもらいたい 診療所もぜひ、時間は短縮されても残してほしい
ショッピングモールを作る
すでに存在している施設や建物などの資源をできるだけ活用して住民の生活の質を高めてほしいと思う
スピーカーの音がうるさい。音量を落としてほしい。それのみ
スマホを利用しない高齢者はホームページ、SNS など、どのようにも利用できない。高齢者が置いてきぼりにされているように感じる
ところどころのカーブミラーが気になる。鏡野町へ移住して5年になる。子育てには手厚くしてもらっていると思うが、子どもが通う学校、保育園の近くのカーブミラーが古く汚れているので、子どもや車、自転車など確認しにくくなっている。せっかく子どもが増えているので、見通しのよい町道にしていってほしい
ニコの森のドッグランを有効に使えるようにしてほしい。トイレがわかりにくい
ひとり親に対しての支援が足りない 町のパンフレットに嘘ばかり載っている 『前例が無い』を理由に支援を断るなら載せないでほしかった もっと親身になってほしい
ふれあい公園の遊具を増やして欲しい。今現在遊具が足りないため一箇所に子どもが集中し危険な場合がある。 鏡野病院に小児科が欲しい。耳鼻科も子どもの利用回数が多いわりに現在午前中しかなく、保育園や学校を休ませたり遅刻させたりするしかなく親も同様で仕事の調整が必要なため、午後もして欲しい。
ペスタロッチ館や公民館に、ぜひ街角ピアノ（誰でも自由に弾けるピアノ）を置いてほしい。閉校や閉園になった小学校、保育園にピアノがあると思うので、きっと町内が音楽であふれかえると思う 各小学校、中学校にも休み時間になると子ども達が自由に弾けるピアノを設置してあげてほしい よろしくお願いしたい
まちづくりは人づくりと聞きます。町の行く末を他人事としてではなく、自分事として行政と一緒に考えてくれる町民が 1 人でも多くなるように願っています。
もう少しわかりやすい質問でないと老人に理解しがたい
愛育委員栄養委員など、できる方、やりたい方にしてもらいたい

自由回答
以前、和田橋上の河川の工事途中、大雨が降り、その後、類似したホースが川下の途中に引っかかりそのままになっているが、確認できているのだろうか 大野小の学校だより「断層」が休刊になっているが、地域とのつながりを大切にしたいのであれば、発行しないのはおかしい 大野公民館が改修されておりすばらしいが、以前使用されていたものは、どのように活用されているのだろうか。また、公民館がもっと地域のいろいろな年代の人に活用されるよう働きかけてほしい。大金をかけもったいない。開かれた公民館であるように、公民館が地域の人の居場所となってもよいのではないだろうか アンケートが届いて投函までの間が短すぎると思う
移住て来た時、インターネットサービスが一種類しか選べれないような環境に驚きました。鏡野放送一択の地域もあるようなので、この時代にありえないと感じております。どうして、そうなっているかよくわからないですが、地方創生を語るなら、早急に現状変更をされた方がいいと感じます。
移民反対の考えだ。今鏡野町は安心して子育てができると思っている。一概に悪くなるとは限らないが治安が悪くなったりするのが心配だ 学校の給食費が無料になると大変ありがたい 車を返納したり、高齢者が買い物に行ったりする時に、交通の便が利用しやすく、利用手段がもっと増えたらよいと思う。同居の母の不安なこと
一昨年前に両親を亡くし、自分の病気と介護、通院のため、仕事ができず、弟に全財産自分がもらう、と怒鳴ってこられ、それまでも両親の通院のガソリン代に困ってやっと父に出してもらっていたので、癌になった今、知人の家に身を寄せているが、その人のお母さんも亡くなり、年金が少なく、食費が全くなく、本当に困っている。誰にも言えず、どう相談したら自分たちに寄り添って聞いてもらえるか、と悩んでいる
飲食店や大型施設を増やしてほしい
羽出、富地区に大型風力発電が建てれらる計画があると聞いた。鏡野町は森林 88%を誇る自然豊かな土地にも関わらず、土地を切り崩し、動植物も追い出してしまうのだろうか。次の世代につけが回るのではないだろうか。近年考えられない災害も起きている。想像してほしい、誰が得をするのだろうか。町が親なら町民は子どもだ。子どもが苦労する未来を作らないでほしい
雨の日など天気の悪い日でも乳幼児が屋内で思う存分体を動かして遊べる場所がほしい。例えばボールプールや滑り台、ブランコなど 歩道の脇の用水路に子どもが落ちないように柵があるとよいと思う
奥津温泉という素晴らしい場所があるので、観光で奥津温泉まで足を運んでもらえるように工夫をしてもらいたいし、良いものを活かしきれていないのはもったいないです。 町が投資し盛り上げないとますます衰退すると思います。
奥津湖のサップやカヤック、ロードバイク、沢登り、登山、スノーハイクなどの SNS 発信をみている。去年サップを利用した。愛犬を連れてのサップだったが、犬を連れて行けることは、知人が受付に話を聞きに行って初めてわかった。ネットで検索してもっとわかりやすくしてほしい ニコの森のドッグランも有効活用してほしい。トイレがわかりにくい。ペットブームの今、ペットと一緒に旅行や観光地を訪れる家族が増えている。自然一杯の鏡野町、たくさんのアクティビティ、活かしてほしい
温泉やスキーシーズン券の町民割引はとても助かるし、魅力的だと思うので、もっと大々的に宣伝して町民を増やす材料にしてもいいと思います。 Ｂ＆G温水プールも町民割引があったら嬉しい。町民の健康増進にも繋がると思います。
温泉地の復活や観光地の PR や鏡野町産ブランドの商品を開発してほしい。
夏だけでも可燃ゴミの収集を週2回にしてほしい
花のある公園の整備を希望 昔のお殿様は領民のための政策をしていた。それが評判になりよそから人が来て観光地になった。今は、はなから外に向けて作っている。中にいる人々が幸せになるための政策が先決だと思う 富から箱に出る道沿いには季節ごとにきれいな花が咲く。もう少し手を入れたらと思う。真庭の川沿いの桜並木のようにできないのかと思う
過去から下水道の設置について町にお願いしているが一向に前進が見られない。 回答はいつも同じ文章のみで出来ないとの事である。
過疎を超える限界集落になりつつあり、空き家、山林、田畑などの放置により、生活環境が悪化し、野生の動物にも脅かされるような状況で生活しなければならなくなっている。行政において、空き家、山林、田畑などの放置に対する指導、助言など、また、得策があれば持ち主、管理者などに対し、情報提供するなど、住人の生活環境を守っていけるようにしてほしい
過疎地域の空き家対策 高齢者に対する行政介入 地協など地元だけに任せずに、もっと過疎地域に目を向けてほしい

自由回答
過疎地域の民生委員、栄養委員、愛育委員の人数の見直し。人口の少ない中、いろいろな役員を出さないといけないので個人にかかる負担が大きい。
過度な森林伐採の禁止 ツキノワグマ対策 自然保護の重視 絶滅危惧生物、希少生物などの保護、生育活動の強化
我が家には天寿を全うするまで、自宅での生活を望んでいる父がいる。今は自分のことはできるが、今後、病院などで治療が落ち着いたら自宅で生活できるようにと考えているが、私たち子どもも仕事を持っている。今後、介護サービスの充実と医療の往診体制の充実を希望する
各個人宅に訪問し、意見など、悩みなどを聞いてほしい。その時にアンケートなどを行えばよいと思う
各種委員会組織などの見直し 自治会長（区長）民生委員の資質と能力の向上を図る必要が大いにある
確実に高齢化が進むため、高齢者が住みにくい町にならないように様々な政策を頑張ってほしい。（高齢者の活気がなくならないように、高齢者が寄り合う施設を作ったり、予算を増やして少しでも生きがいが持てるようなイベントや集まりを開催する。） 子どもと高齢者が触れ合える機会をもっと増やしたほうが良いと思う。
学校教育課に福祉係を作ってほしい。 支援が必要な子の早期発見や、必要な支援の提供、支援員に対する正しい知識と支援のあり方の指導、教育現場との定期的な会議または状況の共有、気になる事象が発生した際に、電話での対応、または現場に出向き、適切な指示が出せる人員を配置する。 教員の不安の緩和や、間違った支援への助言、保護者とのやりとりや支援に対する情報提供、個人計画を作る上での留意点なども伝え、支援の質を高める目的がある。保育(こども)園入園から高校卒業まで、一貫して支援できる体制も確保できると考える。
気軽に外に出かけられる環境整備
鏡野といえど、旧鏡野町と他地域では違いがありすぎる。平等に
鏡野の保育園で小学校、中学校で、7人の孫を育て見守り、子ども達に親の後ろ姿を見せるために、頑張り、地域の人に力いっぱい。自分の勉強だと見習い、人のためになること、みんなが笑顔になれることに取り組み、それを協力してくれる友が次々と 家族にしらみの死骸がついて勉強しすぎてうつになり2、3ヶ月は毎日その子に関わり、すっかり治すことができ、大学病院の先生に褒められたこともあった 子ども達も親の因子を受け継ぎ、両親より少し毛が生えたくらいだが、どの子もすばらしい子に育ってくれた。そんな孫は一流の先生のもとで、鏡野町の 20 周年記念に鏡まつりを盛り上げようと計画してくれている。ぜひ、一コマをあけておいてほしい。まちづくり、行政の大勢でアイデアと力で築いてくれ感謝している
鏡野町のまちづくりについて、直接話せる機会があったらよいと思う
鏡野町の山に大規模な風力発電はいりません
鏡野町は就職先として選択される機会が少ない、結果、人が流出してしまう。子育て支援がそれなりに整っているだけに、勿体ない結果となっているように感じる。子育て世代を獲得できれば、人口の減少は防ぐ事が出来ると考え、もっと子育て支援(医療、補助、園等)を充実させるとと共に、世の中にアピールしていただき、人口の減少を食い止めて下さい。 役場について、可能な限り自動化するなどの活動を推進、職員の削減を行い。税金を町民のために使用して欲しい。
鏡野町は住みやすい町だと思うが、それは中心部だけで、中心から離れればお店や病院も少ないし、交通の便も悪いし、不便な面も多いかと思う 観光に関しては、自然が魅力なので、もっともっとアピールしてもよいかと思う。自然と一緒に体験型の施設などの整備などが必要では。働く場所も少ないのでは 鏡野病院をもう少し改善してほしい 町としての特産物をアピール 道路に街灯を増やしてあげてほしい。学生が暗い中自転車で帰っているのを見るとかわいそうに思う
鏡野町は住みやすく安心していられるよい町だと思う。町外の人からもそう言われる。これからも美しくきれいなまちづくりを願っている 道路にゴミを捨てる人がいるのでそれが困ることだ。ひどい時には針金、瓶や缶、針金の衣類かけなどを置いて行かれるのでどうしたらよいかと思って悩む

自由回答
鏡野町南部、北部地域それぞれの特徴をお互いが知り、くらべ合いで隔たりが起きない鏡野町になることが大切。 グループや地域との隔たりのない交流機会が少なく、参加し難い場合もある。 企業団体、高齢者、働き世代、若者間の交流も重要でおたがいを認め合い、格差を作らない明るい笑顔の鏡野町になると、さらに心も元気、そうなると体も健やかで健康な鏡野町になると思います。 できることを協力していくので、これからも頑張ってください、期待しています。
鏡野病院が新築されるようだが、小児科を設けてほしい。町には小児科の病院が一つしかないのは困る 最近は町内も物騒なので防犯対策をしてほしい
鏡野病院の新築移転が言われているが医師・看護師などの確保はどうなっているのか 今の鏡野病院を見ていると心配である 時間外診療など町民に対する医療体制はどうなるのか 今の鏡野病院を見ているとお役所仕事のようで患者の事を見てないように感じる
鏡野病院の内情が酷いらしい。特に役所から出向している系の方々。現在働いている方や、他部署等へ配置転換された方から話を聞いて、しっかり調査、監査して体制の建て直しを行うべし。
近い将来、日本は普通の国になる。特に安全面、治安。安全確保に対しての意識向上、教育が必要だ 安全な町、治安のよい町、町内または周辺地域だけで食の安全が確保できる町となることを望む 特色ある町、他と差別化できる町でないと定住者は増えないと思う
決められたことを手伝うのではなくて、企画から参画できるような事業をして欲しい。
健康のためにしたいが、病院代が2割なので、医者に行けない老人は早く？
県道 56 号線（湯原奥津線）富東谷重定地内の道路改良工事（2車線化）を行い通勤、通学など利便を図る 県道 65 合繊（久世中和線）の道路改良工事（2 車線化）を真庭市と連携の上、実施してほしい 富地区は道路事情が悪くカーブなどが多いので都会の人は来てくれない 冬期間（12 月から3月）は富地区の中心地で生活できるように、冬季限定の宿泊可能な施設がほしい。 特に一人暮らしの人を対象に
県南から移住してきた為、あまり鏡野町のことを知らずに、今の生活実感だけ書かせて頂き、申し訳ありません。 家を建てる際、オムツ代の補助など子育て支援に力を入れられていると感じて鏡野町に決めました。しかし、こども園が近所に一つしかなく、待機児が 70 人も居て、3 歳でも入れないと聞いたり、近所の歯科医以外は皆さん津山市の小児科や耳鼻科、外科などの病院に行かれていたり… 買い物は、鏡野町のザグザグは無くなってしまいましたが、夢広場やプラントはとても助かっていて、それ以外は津山市へ。鳥取島根まで比較的近いのに、新鮮な魚が手に入りにくいと長年住まれてる人から聞くと、少し残念です。総社に新しく出来た『晴ればれ』のような市場があれば、街が活性化するのでしょうか… 夢広場やプラントがあったり、夫の実家近くでは特に水が綺麗でカニや魚、野菜の収穫など貴重で豊かな経験ができること、魅力的な花火大会、一昨年パスタラッチ会館で行われたクリスマス会（今年は図書館の雰囲気もクリスマス会の内容も少し変わってしまい、残念でした）など、この街に住んで良かったと思えることも沢山あります。 下記のことを提案させてください。 ①自宅保育の充実。待機児童をフォローする体制（雨天や真夏真冬でも安心して室内粗大運動もできる吉備中央町キッズパークやおもちゃ大使館のような屋内施設。農家さんと連携して収穫体験できる機会の提供。子育て広場　すまいるの無償化。待機児童世帯への手当て（手当で一時預かりを利用できるかも）、育休延長の補助、兄弟児出産してもこども園に通い続けられる） ②働く保護者への支援 （時短で検索しても、食堂調理しか求人が出て来ず。働く場と環境のサポートと、預け先やこども園が必要な人が通えるための環境や人材確保） ③高齢ドライバーを減らす （自動運転の車の補助、免許返納で格安で乗合タクシーなどを利用できる、宅配の整備など） 今後の行政に期待しています。 意見を聞いてくださり、ありがとうございました

自由回答
現在、子育て中だが、働きに出たくても幼稚園に預けるまでは保育料や延長料金、預り料金などがかかり、結局、プラスマイナス0くらいになってしまうので働けない。もっと助成をしたり、仕組みづくりをしてほしい 小学生になると、放課後児童クラブに入れないといけなく、またお金がかかる上、長期休業中は昼食も必要。その対策をして働きやすくしてほしい。子育て支援センターはもう利用できなくなるので、大きくなっても利用できる児童館も新たに作ってもらいたい 自転車の練習をしたり、信号や交流ルールが遊びながらできる交通公園を作ってほしい 図書館周辺や文化センター周辺の場所を、これらの施設で集め、消防署から役場までの場所をもっと鏡野の子育ての中心の場にしてほしい
現在、私たちの住んでいるところは、空き家、取り壊しの家が多く、約半分くらいになっている。これからも、老人の二人暮らし、一人暮らしの家が多く、ぽつんと一軒家になりそうだ 運転免許を持っていれば田舎暮らしもできるが、返納したら(もう少しだと思う)どうしようか心配
現在、他の市町村で行っている行政をまねることなく、他の市町村がやっていないことに目を向け検討してほしい マイナス効果がやり方によってはプラスになることがあると思うので長い視点で検討
現在、第二子の育休中です。上の子が保育園を退園しないといけない制度が納得できません。これでは子どもを何人も生もうと思えません。町内の子どもを優先に育休中でも(下の子が一歳になるまででいいので)預けれるように施設と保育士の確保をよろしくお願いします。
現在、風力発電の件が進められているが中止してほしい。ここで安心して生活していくためにも建設してほしくない
現在の生活にはほぼ満足している 今後車の運転ができなくなると、買い物など自由に行けなくなるので、もう少し交通の便をよくしてほしいと思う 空き家も年々増えていき、いろいろな問題が出てくるので早期に空き家対策を行ってほしい 子育ても充実していると思うが、小中学校の子どもが遊べるアスレチック施設をお願いしたい
現在週1回のゴミ回収の日にちを増やしてほしい。赤ちゃんや小さい子どものいる家庭はおむつのゴミがたくさんある。冬はまだしも夏は衛生環境が最悪だ
現場に足を運び、現地の人と対話し、現実的な解決策を取る。そういった態度を公僕として町職員に希望する また、地域住民が自由闊達な意見を述べる場を設定することも必要と考える
現状維持でお世話になる
後期高齢者のため、いつ運転ができなくなるか不安。通院、買い物にも行くことができなくなる。交通の便など見直しをお願いしたい
光回線の導入
公共交通機関の充実
広い町内における地域格差。 将来、消滅するであろう地域でも町の財産としての活用を考える。地域が耕作放棄地のようになっていないか。それもやむなしと考えていないか。行政が前向きに考え行動しているとは思えない。 こちらから北部地域を中長期的にどうしていこうと考えているのかお聞きしたい。
行政の仕事感謝している。今後ともよろしくお願いしたい
行政職員として、町の税の上で働いているのであれば、もう少し住民に対し丁寧な対応を期待したい 接遇をきちんとしてほしい 特に総合福祉科(障がい者、子育て、高齢者)の職員をしっかり、住民に対して対話を丁寧にしてほしい いろいろな委員会があると思うが、長年同じあて職にしている。もっと外部、見える化できるようにシステム化してほしい。どの会でも同じメンバーであれば、同じような結論、結果になると思う 税を支払っている町民として、とても腹立たしく思っている また町政を見える化、民営化して行政赤字をもう少し考えてほしい。中立公平性のある行政を期待したい
高校生や大学生が通学している姿(自転車や徒歩など)を見て、もっと交通の便が(通学の手段だけでも)よくなることを願う 津山、岡山方面が多数いると思うが、駅まで、または、学校まで行くのが本当に大変だと思う 犬の散歩中、フンを持ち帰らない人が多すぎる。役場、竹田、中学校周辺。しっかりルールを守っている人がとても迷惑だ。看板など多く立てたり、気を付けてもらえるような取り組みや工夫をしてほしい
高校通学支援をもっと考えてほしい。バスもあるが、地域によっては非常に利用しづらく一部の人しか使えない。津山行のバスの本数、時間が少ない。高校生に限らず、一般の人も不便なのではないだろうか 全体的に街灯が少なく暗くて夜は危険。みんなが安心して安全に暮らせる町になればよいと思う

自由回答
高年齢化、過疎化が進む。他県からの移住者を呼び込む活動を主に、インフラ整備、私有に頼らない交通手段、地域的に住みにくい場所が増えていく中、集落を作る、環境づくりの推進に期待する
高齢なので若い人たちにお世話になることが増えてくると思うが、なるべく心配をかけないように健康でいたいと心掛けている。その一つはウォーキングとがんばランドへの参加だ
高齢になっても米づくりをしているのに、それを毎年確認するかのような電話が町からあるが、田んぼが作れなくなった時の対応などきちんと説明してほしい。家も空き家になったらどうする方法があるの聞きたいが、仕事をしているとその時間がない
高齢化、過疎化により、将来的に今の地域の在り方（医療や行事など全てにおいて）の存続は難しいと感じるので、この地が好きで住み続けたいと望んではいても、将来が不安 せめて、鏡野町内で誰もが安心して住むことができる体制を整えてほしい。富で診療できる体制（休みが多い）。鏡野病院新設により診療してもらえる科の増設 伝統を残していける人材の確保など
高齢化で地域の祭り、行事などが負担になる。町が地区の負担を軽くなるよう手助けがほしい
高齢者が住みやすい町に力を注いでほしい。地域づくりや人づくりが基本だと思う 町長、長い間、感謝している
高齢者で元気で働ける人は多いと思う。働ける場所があれば詳しい条件など簡単に見られるようなポスターなど目につきやすい場所に貼ってみてはどうだろうか
高齢者も楽しめる場所、遊歩道や公園、軽い食事ができる場所 栄養委員、愛育委員などで、１回だけでなく、２回、３回と役員をすることになるので廃止してほしい。必要とは思えない
高齢者や年少者が楽しめるようなイベントなどを企画、運営してほしい
豪雨災害が気になっており、河川の草刈りや堆積物除去、堤防の拡充などの検討をしていただきたいです。 休耕田が荒れており、農業従事者への補助金や肥料の支給などの援助を”簡単な”手続きでできるようにしてほしい。 (兼業農家でなければほぼ生活が成り立たなく、休日も農業に追われているため厳しい、農業だけで生活できれば一番よいが) 豊かな森林を活かしたバイオマス発電所(真庭市のような)を作って雇用を増やせないか？ ウラン鉱石やその他の地下資源があるのか、またはそれを商用利用できる方策はあるのか？ 小さい水路を利用したマイクロ発電の導入や開発はできないか？風力も同様に。 空地や住宅屋上の太陽光パネルはよいが田畑や山林を切り開いてまで行う必要はないと考える、条例で禁止できないか？ (熊本県の阿蘇地域のように景観が悪くなり土砂災害の危険も増えそう) 消防団の操法大会は無くしてほしい、大会のための練習期間が長く夜遅く、負担が大きい。 町には直接関係ないかもしれないが消防団が一軒一軒訪問して回る農済の建物共済は自動更新にできないか？団員が減っており訪問する負担が大きい。（自動車保険や生命保険は自動更新が多い） 奥津の温泉むすめはもっと積極的に PR した方がよい。
告知機から放送されるのが、ほぼ診療所の休診ばかりで休診が多すぎると感じる。休診の時受付の人はいるのか。それよりは看護師に来てもらい、緊急時などの対応をするほうがよいと思う。基本は救急車だと思うが来るまでの間でも看護師がいると心強いと思う 鏡野病院も新しくなると聞いているので、総合病院にしてほしい。透析患者も増えているので、透析ができるようにしてほしい仕事をしながらの人が増えているので、夜間透析も
国道は鏡野町には関係ないのかもしれないが、中央の白線、オレンジ線など、北部の方もはっきり線を引いてほしい。少し薄暗くなるとはっきりわからなくて困る
今の時代、イベントなど地区の人がなかなか出てこない時代だと思う。強制とかするとまた問題になる。なかなか難しいが何か変化があればと思う 町役場、中学校付近の道路、朝送ってくる人、通勤の人、スピードの出しすぎや、道の真ん中を走るなど見られる。時間がなく急いでいるのだろうか 町役場の公務員も破天荒な人がいる
今の自分たちとしては、住みやすくありがたいと感じています。ただ、仕事が忙しく、またアパート暮らしなのもあり、中々地域や町の情報を得られていないように感じます。 将来の自分、そして何より子どもたちが、これから先も本当に幸せに暮らしていくためには、もっとちゃんと町や地域のことを知って、一緒に考えていきたいと思いました。中々全てのアンケートに協力できませんが、今後もできるだけ協力していきたいです。
今は各地区での活動、はつらつ体操や公民館活動が行われているが、現在の指導者ができなくなった時に、今の活動が継続できるだろうか。自然に終わってしまうのではないだろうか。地域活動の継続を望む

自由回答
今までのやり方で、良い事は続けていき、必要のないことは辞め、ある程度、時代に沿ったことをしていくべきではないかと思います。働く場がなければ離れていき、住み続けるメリットがなければ定住しないのではないでしょうか。町の良いところ、悪いところは人や年代によっても異なると思います。色々な人から意見を聞き、きちんと向き合っていただくことを希望します。町の為に色々とお世話をしていただいていることに感謝し、お互いを思いやり、優しさに溢れる町になればいいな、と思っています。
今羽出地区では、風力発電の問題が有ります。 静かな地区に作ってほしくない。 綺麗な自然を壊さないまちづくりをしてほしい。
今月１月末を持ってバオバブの木が閉鎖となりました。入居者も少なくなり、従業員の方も確保するが困難だとかで。地域のボランティアの会も年一度程度ですが、環境整備に協力していました。残念ですが、利益と利用者の方がいなければ仕方のないことですが～富が不便と言うイメージをどうにかして欲しいと思います。木育施設が出来ると言うことでですが、それを軸？として発展できることを希望し期待しています。 どなたか起業して人口が増加すると活気が出るのかな？ 入所の費用も高額なので補助金等を考えていただければありがたいです。
今後の人口減を見据えて対策に取り組んでいってほしい 鏡野町独自の何か、がないと魅力を感じないと思う
困った時に手を差し伸べてくれ、寄り添ってくれる人材育成に力を注いでほしい 気軽に相談できるような雰囲気ではないと、表情からも伝わってくるため、コミュニケーション力アップの取り組みや、相談援助職者の配置を望む
婚活を推進し人口を増やす（地域の人口減少があるため） 各種にわたっての地域の活動が困難になる状態である
最近、元気な比較的若めの高齢者がしょっちゅう亡くなったり、血栓になって障害者になっているので、マスクの危険性を広報したり、コロワクやコロナ対策の検証をして欲しい。
歳を重ねていくだけになり、若い人の助けが必要な時、子どもや親せきなど頼れる存在がない可能性を予想し、どう生きていくかをしっかり考えないとと思う 行政に頼ってというよりも、一人ひとりが自身の生活をしっかり成り立てていくことが大切だと年を取ってきてさらに思うようになった
財源がない中でハードを増やさないで欲しい。 観光局については業界の動向等勉強が必要
昨今の物価高により生活がどんどん大変になっている 車社会のため、必要不可欠なガソリンの高騰の対策など考えてもらえるとありがたい
昨年の台風での被害。川沿いの被害がすごくて次の台風がきたらどうなるのかと心配していた。すぐに被害地に手を加えて直さなければまた大変なことになるのにと思っていたが、雪が降る少し前にしか動いてもらえず、今は機械類は雪の中でどうすることもできない状態。これでは二次被害になる。話し合いで何が解決するのか。早く動いてほしいばかりだ
子どもが BMX をしているが、鏡野町にはパークがないので遠方まで行かなくてはいけない。他県や町外に乗りに行くこともあるので、鏡野町にも設備が整えば他県や町外の人が集まるのではないだろうか
子どもを育てていくには、病院の診療時間などを見直してもらいたい。急なけがや熱が出た時の緊急対応をしてほしい 高校生になると交通の補助が出るが、遠方の人だと全く補助の金額が少なく家計に響くので、何かよい案があれば対応してほしい 富や奥津、上齋原と奥の住民でも住みやすく利用しやすい生活をできたらと思う。仕事や子育て、生活していくうえでどんどん不便に感じることが増える
子育てとみんな言うが、不妊治療を受けている若い夫婦にもっと支援しないと子どもは増えない。子どもができて当たり前なのではない。子育て世帯ばかりを支援するのではなく、子を作る治療を支援しなければいけないと思う。シングルマザーを支援しても変わらない。津山より不妊のための支援は少ない
子育ての充実を図ることを最優先に取り組んでほしい 現金給付の制度を作り、定住化へ繋げる（条件を設けて）
子育て支援の充実（事故やけがなどを防ぐ方法など） 共働きはよいが、スケジュールの確保など（週５日、土曜日、日曜日休みなど）
子育て世帯に対し、現金給付などの支援を望んでいる
子育て世帯への十分な援助 低所得以外の人にも物価高に対する援助

自由回答
子育て制度も結構厚くしてもらい、町長の努力が伺える。今後もより住みやすい町にしてもらえることを願っている。こちらも何かできることがあれば、何かの形で活動などに参加したいと思う
子育て政策を充実してほしい 今も子育てを行っているが、将来その子どもが大きくなっても、鏡野に住み続けたい、住み続けられるような取り組みを考えてほしい 子育て世代のサポートを充実してくれたら、働きながら子育て（複数人）しようと思える。奈義町の子育て支援がよいと思う
子育て中は町外に出ていたので便利なのか不便なのか分かりませんが現在どんどん人口減少が進んでいて消滅する町が多いと耳にします。自然が豊かで景色もとてもキレイな故郷、鏡野町が豊かに発展していきますように祈ります。
子供たちが屋内で遊べる施設があったら助かります。 御年寄や学生のためにも、他方面の行き帰りができるよう、公共交通機関の充実が必要だと思う。
子供の急な熱や怪我に夜中でも対応してもらえる救急外来を充実させてほしいです。近くの病院でもやってはいますが、日数が少なく結局津山まで行くことになってしまいます。 ゴミ収集法について、それぞれの場所でゴミの集め方が違いますが、今の地域は当番が網やカゴを前日の夜又わ朝に準備し、片付けは水かけなどしています。今は周りの方がフォローしてくださり、できないところを協力してもらってなんとかやってますが、ずっとお願いしておくわけにも行かず、、、小さい子がいてなおかつ、大人ひとりで子供を見ながら過ごす際のこういった作業はとても大変です。 そして週 1 回のみの燃えるゴミ回収は、ゴミが溜まり、夏場は匂いがひどくなります。（外に出すと猫やイタチ、ゴキブリが来てしまいます。）また、朝一度に多くのゴミを捨てに行かないと行けなくなるため、とても大変な作業になります。収集回数を週 2 に増やして欲しいです。それか、網を大きいゴミボックスに変え、いつでも入れてもいいようにしてほしいです。 町内会費について、それぞれの町内で額が違うのを見直して欲しい。また世帯数の差がありすぎて、掃除等が他のところより時間がかかり、とても大変です。昔の区切り方も大切かもしれませんが、今に合わせて変化していかないといけないところもあると思います。
私の実家は町内、高齢者がほとんどの不便な奥の方だ。だから下水工事も来ないのだと思っていた。（今現在住んでいるところはすでに終わっている。）今は徐々に下水工事をしているんだなと感じている。 また、去年、実家の前のガタガタだった道路が修繕した。感謝している 大雨、台風などで川の中に大量の土砂が長年のうちに堆積し、流れを阻んでいるところがある。費用がかかるとは思うが、考察願う。川幅の狭い上流の方では多くの箇所あると思う
私は看護師です。鏡野町は入院患者の介護保険申請の認定調査の依頼時、他の地域に比べて訪問がかなり遅い印象があります。超高齢化社会で鏡野町も高齢者が大変多い地域です。介護の面ではかなり負担が多いとは思いますが、介護度で今後の方向や、施設入所を待っていたり、介護サービスがどれくらい受けられるのか待っていたりしているのに、認定調査が遅いと大変困ります。そのため退院が遅くなり、ベットが空かず、入院しないといけない患者が入院できない現状があります。介護度が高いと町の負担も大きくなるのはわかりますが、全てのサイクルをスムーズにするために、協力していただきたいです。今は長期入院の時代ではありません。入院した段階で退院支援が始まっているという医療の現状をしっかり理解していただきたいです
資質の向上に向けて、一般企業に出向して視点を広げてはどうだろう。一つの建物のなかに 60 歳までいてはだめだ
自治会が昔のまま（組織や活動）で時代に対応できていないと感じている。昔と違い今では、農家は激減し、非農家の若い世帯が多数転入して来ており、地区を取り巻く環境は大きく変化している 自治会も転入者にわかりやすく、時代に合った形に改革しないと、入会はもちろん、役員のなりてもいなくなると大変心配している
自治体と議会。互いに独立した対等な関係で、協力しあい、けん制し合いながらも、明るく住みよいまちづくりを行ってほしい
自然環境を活かした、農林業の振興及び観光事業の振興を進めていただきたい。 また、商工業施設の誘致等にも注力して、町の財政基盤を盤石なものにしていただけると幸いです。
車に乗れなくなった時の交通手段。お店が近くにあったらよいと思う
若い人がもう少し活発に活動をしてほしい
若い人が帰ってきたくなるまちづくりが必要かと思う。私なら、どうしても帰りたいとは、今の状況は思えない。現に我が家の子ども達は、近くにはいるが、鏡野町内ではない。農業でもよいし産業でもよい。ここに来ないとできないようなことを持ってくるのも一つの手ではないかと思う。新しいものはみんな好きだと思う

自由回答
若い人の就職できる鏡野町になればと思う。大きな会社が少ないので、都会に出てしまう。土地があるのでそこに誘致してほしい ドラマや映画などで鏡野町を盛り上げて知名度が上がると観光でも来てくれるかもしれない。美しい鏡野町を全国の人に知ってほしい
若者が住み続けられる環境を作る 企業の誘致 子育てや教育費の援助
若者が地域に減っていき、今までできたことができず、荒れていくこと
若者に優しいまちづくりをして欲しい。普段意見を言わない若者の意見を聞いて欲しい。
若者離れ、少子高齢化、過疎化が深刻なので、子育て支援の拡充や医療、福祉の充実はもちろん、働く場所が必要だと思う 高齢者でわざわざ移動にタクシーを呼んで利用する人もいるので、利用者が少なく採算が取れないなど問題はあると思うが、バスの便数を増やしたほうが暮らしが便利になる人もいると思う 若者が住み続けたい、ここで子育てをしたい、と思えるような魅力的な地域づくり、環境整備をしてほしい
周辺市町に比べ、子育て世代に理解があるように思うが、具体的な支援を増やすべきだと感じる 新築住宅も増え、子育て世代も増えいていると思うので、わかりやすい支援金の施策を町内外に示すことで人口減少に役立つのではないかと思う 小売店、飲食店の誘致も必要と感じる
集落の奥にも、週に曜日を決めるなどして、買い物に行く車を出してほしい
住民サービスに対して、待ちの姿勢を強く感じます。行政に町民参加を促す意味でも、待ちではなくプッシュ型の働きかけを期待します。
十分魅力的な環境だと思うので、他地域から移住定住がスムーズにできるような仕組みを考えたらよいと思う。また、せっかく移住した人が根付かないのは、この地域に問題があるからだと思うので、そこを洗い出し、改善していけたらよい。もしくは、根付かないことを逆手に、他地域からの出入りが激しくても流動的という意味では先々、よい町になっていくかもしれない 風力発電は全てにおいてこの地域を壊して取り返しのつかないことになる。やめてほしい
縦割りの関係ではなく、横のつながりが密にでき、連携が取れやすい行政機関であってほしい 民間委託が増えている。その後任せきりになっていないか、行政の立場として、時には町民のために、委託後の声も聞き取り、よいサービス向上を目指してほしい
小規模単位で防災についての話し合いをし、準備をするように指導、支援をしてほしい（マニュアルづくりなど） 公民館、公会堂などの居場所づくり。自由に利用でき、お茶、囲碁など楽しめ、コミュニケーションが取れる場を作る。居場所がほしい。現在は敷居が高いような気がする。そのためには、財源、人も必要となる。健康な人（高齢者）のデイサービスのような事業を公民館でしてはどうだろうか
小児科の先生を増やして安心させてほしい 耳鼻科が少なすぎる。働いている親が多く、平日の朝はなかなか行けないので、土曜日に耳鼻科をしてほしい ひとり親世帯が増え住むところも少ないので町営住宅を作ってほしい 高校へ通う手段が少なすぎるので何か考えてほしい ひとり親世帯にもインフルエンザ予防接種を無料か半額にしてほしい。働かないと家族を養えない。困っている
少しでも人口増につながるよう、10 年、20 年先を見据えて施策などを策定していってもらいたい
少ない人口での役が多いことが不満である。一人で何役もしなくてはならない。これからもっと若者の地域離れが進むと、もっと住みづらくなり、中心だけで外側はだめになるので、難しい問題だが、人口が増える何かをもっと考えなければいけないと思う
少子化が心配。少子化是正で成功している市町村を見習うべき。多子化が基本になるのは何かと考えて施策を考えること（多子化） 思い切った住居のあり方を実施すること
少子高齢化・人口減少は進んで行きます。現在も行ってもらっていますが、さらに子育て支援や働く場所（環境）や空き家対策等をしていただきＩターン・Ｕターンの方に鏡野町に住んでよかった働いてよかったと思える鏡野町にしていただきたいです。
消防団改革として、消防操法の廃止、団員手当の個人口座振り込み、各部の活動、装備費の増額、町による消防活動、災害対応教育、式典の簡略化、団員アンケートの実施、若い人が入りやすくなるような体制、町民との消防団活動、フェスティバル実施、親子連れ対象
上齋原駐在所の巡査を変えてほしい

自由回答
職員の資質の向上は大切であり、明るい職場が望ましいが、職員にさわやかなあいさつなどが少なく、人間性の豊かさを感じない。行政において大切なことだと思う
親戚のいない一人暮らしは少々気分が滅入るが、今はまあまあの暮らしだ。これからもよろしくお願いしたい。高齢の中の高齢になった。ヘルパーにお世話になっている
親切で丁寧な対応をお願いしたい。若い人は事務的だと思う
人口が減ってくることは止めようのないこと。受け入れて高齢者が住みよいまちづくりを中心に考えてもよいのかと思う まだまだ動ける高齢者をうまく利用すればよいかと思う 三世代交流など、いろいろな人と交われるような仕掛けがよい。スポーツなどはよいのかもしれない
人材確保が最大の課題だと思う。どの産業においてもだが、特に、保育、福祉、医療分野に力を入れてほしいと思う。上記の分野が充実していると、鏡野町や近隣で働きながら安心して生活できると思う。30 から 40 代まで鏡野町で生活すれば、その後はあまり出ていく（移住）しないのではないかと思う。ぜひ、40 代までの人が生活しやすい環境づくりをお願いしたい また、高校、大学（専門など）卒業後、鏡野町や近隣で就職してもらえるように、学生への働きかけや何らかの補助制度の充実が必要だと思う。町に学校を作ることは難しいため、地元愛を深めてもらう取り組みも必要だが、特典も必要だと思う 以降、鏡野町に住んで税金が入れば元は取れると思う
成長した子ども達が学業で外に出たとしても、鏡野町に戻ってきて働いたり、子育てができるところになるとよいと思う 他の地域から来た人の意見を受け入れ、よい部分はうまく活用できるとよい。古くからあることを続けることも大切だが、新しいことを取り入れる環境ができればよいと思う
生きがい、人生の楽しみが大切 他者から必要とされる喜びもあるか ペットとの安心して暮らせる
生活が苦しいのは片親世帯など非課税の人だけではない。低所得で非課税に近いラインの家庭、夫婦のうちどちらかが精神、身体障がい者のいる世帯、わずかな年金での暮らしを余儀なくされている高齢者など、多くの人が困窮している。しっかり助成金の幅を広げてほしい
生活保護者もできる就労を進めたらよいと思う
雪がたくさん降るため、各家庭では高額な除雪機（80 万から 100 万円）が必要となっているが、購入の際には、補助金が受けられるようにしてほしい。また交付金が7億5千万円あるので、少しは上齋原地域に使ってほしい
全ては人づくりから
相談者に対してできないではなく、どうしたらできるか、親身になって聞いてほしい
走行しやすい道路などでのスピード超過の車やバイクの危険運転や、マフラー改造などによる騒音。何度も町への意見を出しているが、全く改善されていない
待機児童のない保育環境の提供。 インターネットの速度向上。今時 max100 メガは時代遅れもいいところ。プロバイダー契約も自由にして欲しい。
誰もが住みやすい街になってほしい
誰もが住みやすい地域になるように、行政職員も積極的に地域に出て声を聞いたり、サポートする必要がある。 社会福祉協議会と一緒になり、ケア会議の充実を図ってほしい。進まないでいるのではないか。 現実味のある計画としてほしい。
地域医療の充実（無医村状態にしないように） 買い物難民にならないように 保健師、看護師の高齢者家庭への訪問 県道久世中和線の大地区から楠地区の早期道路改良 上杉峠の改良 早急に手を打たないと地区の消滅になる
地区内での行事などある時は、無理矢理に誘わないでほしい 老人会など強引に入れている。入りたくない人の声も多く耳にする。今の区長はそのようなことはない。前区長が強引でやめたくてもやめられない人もいる。やめさせてくれないと嘆いている。人間自由に生きたい
中学生の部活動の今後が心配です。

自由回答
中学生までは教育施設も充実していて住みやすいと思うが、高校の通学となるととても不便になるので、高校生が通学するための手段(バス停やバスの便を増やすなど)が増えたら嬉しいです。 自然にも景観にも恵まれているのでそれを活かした施設がもっと整備されたらいいと思う。
中谷地区は公共交通の便が悪く、車を運転できなくなると生活できなくなるに直結する。乗り合いタクシーが今後導入されるようで、とてもよい事業だと思う。私自身、もっと町政について興味、関心を持っていきたいと思う。不十分で申し訳ない
町の行政に望むことは、食料品（米など）やガソリンなど物価の上昇で生活が苦しいので、物価高騰対策として、町から給付金を給付したり、町内のお店やガソリンスタンドなどで使える商品券を配付してほしいです。給付金と商品券は、住民税非課税世帯を中心に、金額は家計に助かるぐらいにしてほしいです。まちづくりに関しては、アンケートの継続や町と民間と町民が参加の会議の開催など色々やってほしいです。
町の行政は今もしっかり頑張っているのでこれからも応援している
町の中心部に公園があるが、地方にも小さくてよいので公園のようなものを作ってほしい。子どもと年寄りも遊べる場所
町の発展の基は人を育てることにあると思う。そのために教育に力を注いでほしい もう一つは、自然の保護と開発のバランスをしっかり考えてほしい。自然を壊すと元には戻りにくいので
町会議員の教育
町外の人がたくさん家を建てて住んでよいことだと思う。しかし、交通が奥津にしても今シーズンの奥原スキー場にしても車がないと行けない。土日だけ送迎バスを出すとかすれば、もっと人が増えるのではないだろうか 津山からの便が悪すぎる
町議会の放送を見るが、言葉だけでなく映像（資料）なども見たい。わかりやすいようにしてほしい アウトレット店や体験型施設を作り、他地域から鏡野へ行きたくなるようにアピール
町職員はしっかり地域に出向いてコミュニケーションを取り、声を行政に上げてほしい。事務仕事はなるべく省力して、住民の力になってほしい
町水道の民営化には反対。老朽化した上水道を早く整備してほしい 富の風力発電もメリットはないと考える 道路環境の整備は拡大してほしい 大雨でも決壊しない河川の整備を進めてほしい
町村合併して 20 年。旧鏡野町を中心に動いている。人口も集中してきた。やはり人数の少ないところは疎外されるのだろうか
町村合併後 20 年で、周辺人口は半分になった。自治会組織が成り立たなくなっている 運転ができなくなると病院への通院と買い物が難しくなる。一日も早い交流宿泊施設の再開を望む 学校施設の空き家は若い人の活動の場として地域外から呼び込みを行い町で支援をする
町内、町外の人も安心で自己実現できるまちづくりを
町内の遠隔地に住む人が便利な場所を求めて津山市に出る例が多いように思う。そのような人が町内にとどまるような魅力的な中心エリアを持つまちづくりが必要だと思う。津山市の東一宮周辺に匹敵するような住宅街がないと、中心エリアは寂れ、遠隔地も必然的に廃墟化が進むと思う 人口減少対策がＩターンの促進に偏っている印象がある。わずかなＩターン移住者の増加では、人口減少を補うことは到底不可能なので、中心エリアの活性化に活路を求めるべきかと思う
町北エリアで子育て世代が増えるようになってほしい 空き家が利活用できるようになってほしい
町民に奉仕の精神と協調を忘れてほしくない
町民の小さな意見にも聞く耳を持ってほしい
町立病院の医師の確保 高齢化する農家への支援 空き家の解消 安心して働きながら子育て、介護ができる町
津山中央病院に直接行けるように交通機関の充実
働く場が無いと住みたくても住めない
同じ町内でも中心部だけがいろいろな環境がよく、人が集まり、周りの地域から若い人がいなくなり、公共施設も減らされ、ますます便利が悪くなり、そしてまた人がいなくなる。悪循環だ

自由回答
道や歩道を平らにしてほしい 子どもがいる家の生活費（電気、ガス、ガソリン代などの高騰）対策を何かしらしてもらえると助かる 持ち家だけでなく、賃貸に住んでいる人にも何か助成や対策があるとすごく助かる 鏡野や近辺の保育園もそんなに先生の人数がおらず、人数が十分な状態で見てもらえていない気がするので、今行っている、津山のしっかり人数もいて見守ってもらえるところで新年度の保育園の通園届けを出している
道路の安全性、子ども、老人が安全に歩きやすい道づくり 子どもに関しては、地下道、陸橋も含め整備してもらいたい
道路の消えた白線を引いてほしい 自転車に乗っている全ての人に、安全に走行できるよう、道の確保と拡大 ポイ捨てが多いので、看板だけでは効果がない。犬のフンについても同様
特性がある子どもを早い段階から関係機関に繋げ、支援方法を一緒に考えてくださると聞いています。今後もその体制を維持していただきたいです。
年を取って年金暮らしになったら、仕事もできなくなり、年金だけで生活ができるか心配
年金生活者の支援と減税
農業をしたいが、資金集めが必要である。そんな人の応援をしてほしい 作り手がいなくなるのは困る。害獣も料理すればおいしい。猪、鹿、そんなルートやレストランを作ってほしい
非課税世帯ばかり補助金を出して優遇しすぎている。住民税や税金を払いたくない。
病院での待ち時間の短縮を望む
富、羽出地域での大規模風力発電の計画は、得るものより失うものが多いため、中止をしていただきたいです。 小学校の統廃合が計画されていますが、人口減少が著しい上齋原、富、奥津、越畑等の地域に住むと移住定住促進補助金が出る等の施策により、地域の小学校を残していっていただきたいです。学校の存在は地域の活力になります。
富に移住して 20 年。80 歳を元気で迎えている。住民が健康で健やかに過ごせるよう、尽力、サポートをお願いしたい 日本一生活しやすい町村を目指して、町民、行政ともに前に進んでいきたいと思う お世話感謝している
富地域の大規模風力発電の設置に関して、町民への理解が進んでいない状況で計画が進行しているのは非常に残念です。 国が進めている事業だからという理由だけで、町の貴重な自然環境や景観を壊す必要があるのかと思います。 また近隣住民の健康への問題も不安視されており、周辺自治体（真庭市）からも懸念の声が上がっていると聞いています。 反対の声が多いこの計画は町としてきちんと断りの表明をしていただきたいと切に願います。
富地域の大規模風力発電の設置に関して、町民への理解が進んでいない状況で計画が進行しているのは非常に残念です。 国が進めている事業だからという理由だけで、町の貴重な自然環境や景観を壊す必要があるのかと思います。 また近隣住民の健康への問題も不安視されており、周辺自治体（真庭市）からも懸念の声が上がっていると聞いています。 反対の声が多いこの計画は町としてきちんと断りの表明をしていただきたいと切に願います。
風力発電は我が町に必要だろうか。鏡野町の自然、人を大切にしてほしい。守ってほしい。風力発電計画に対して、中止を求めた首長が何人もいる。中止にもなっている。なぜ鏡野町長は、その判断が下せないのか理解に苦しむ。住みやすい町にとこのようなアンケートをしても、一番大切なことが守られていない。また、議会の質が問われる。人としてどうあるべきか考えたら答えは出るはずなのに
風力発電は反対。環境破壊につながる 広葉樹の木、栗、どんぐりなどの木を植え動物が人里に来ないようにする 温泉の地熱発電、ダムの再利用で CO2 の削減 監視カメラの取り付け
風力発電は反対。町独自でお金を生み出す手段なのかもしれないが、緑を破壊せずにできることを模索してほしい 保育士不足を耳にする。保育士の賃金を大きく上げることはできないのだろうか。他よりも高い賃金にすると集まるのではと思う

自由回答
風力発電反対 朝市やマルシェ、おいしいものが買えて活気のある場所がほしい 文化発信の場がほしい。映画を見たり、演劇を見たり、音楽を聴いたり ゴミが資源になるような仕組みを考えてほしい 緑豊かな大きい公園がほしい 子どもが地元に住めるように住む場所、働く場所が必要
物価高騰の対策を早急に願いたい。
保育園、こども園の職員が足りず、子供を受け入れてもらえないという話を聞いたので対策をして欲しいです。大きな公園ができて遊びやすくなったが、室内で遊べる場所があれば尚嬉しいです。
保育園、幼稚園の選択肢が少ない 真夏や真冬に子供を連れて遊べるところがない 買い物をするところが限られている、津山に出ないと何もない 就学前までの子育て支援はありがたく、助かっている
保育園に入りやすくし雇用先の増加を目指すとよりよいと思う。 商業施設を増やし話題と人の流れを確保する。
保育園に入れず、生活が困っているのでなんとかしてほしい 子どもが2人目以降生まれたら、補助金が出るようにしてほしい 子どもが高校生になった時や自分が高齢者になった時など、交通手段が少ないと思うのでバスの本数やバス停をもう少し増やしてほしい スーパーやドラッグストアを増やしてほしい
保育料が高い、保育士が少ない為入園できず待機児童が多い
母は 88 歳なので、本人に聞きつつ代筆した。本人のわからないところは私の感想も少し入っているが、母が日頃言っていることを参考に記入している
防災の重要性 今後も冬期の生活道路の除雪、ゴミ回収などは続けてほしい 鏡野町や地域のコミュニケーションの大切さを知り、もっと話す場は必要かと思う いつもお世話になり感謝している
本当に町民のことを考えているのだろうか。ERE の開発事業に対して住民の健康と安全が不安視されるような開発を地元住民の反対署名があるにもかかわらず、町として中立だと言いながら、開発ありき、という姿勢を崩さないことに疑問を感じる。自然の豊かさ、また登山などアピールして、モンベルの店も作っているのに、全く統一性を感じない。もっと住民の安全安心、求めていることに向き合って考えてほしい
民生委員、愛育委員の活動が全く見えてこない。特に民生委員に関して、一人世帯に訪問も連絡もなく、全く機能していないと思う。ボランティアでない限り、訪問は必要不可欠だと思う
免許を返納したときの、移動手段が不安 荒れる土地、道沿いの木や草、環境（見栄え）の悪化
免許を返納したときの、移動手段が不安 荒れる土地、道沿いの木や草、環境（見栄え）の悪化
免許証の返納した際、交通の便が不安。町営バスも家から遠くて利用できない
役場職員の皆さん、いつも親切に対応してくださり、ありがとうございます。
融通がきかない病院の改善 交通の便 子供が交通事故にあわないようにする取り組み （あいにくいでは無く、事故 0。 絶対目標が事故 0）
幼稚園や保育園で希望した所に入れず説明を求めたが有耶無耶にされた。 鏡野町民を優先して入れなければ誰の為の施設なのかと疑問に思う。 消防団の活動殆どが時間の無駄であり税金が勿体無い。 組織、活動内容を改めた方が良いと感じる。
林業の質を人、モノを含め高める
老老介護の対策を望む 車に乗ることができない人への対応として、交通手段の充実